

官報 號外

大正十年一月二十六日 水曜日

印刷局

第四十四回衆議院議事速記録第五號

大正十年一月二十五日(火曜日)午後一時十四分開議

議事日程 第四號 大正十年一月二十五日

午後一時開議

一 國務大臣ノ演說ニ對スル質疑 (前會ノ續)

第一 國有財産法案(政府提出) 第一讀會

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第三 少年法案(政府提出) 第一讀會

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第五 矯正院法案(政府提出) 第一讀會

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

○議長(奧繁三郎君) 諸君、諸般ノ報告ヲ致シマス

(原田書記官朗讀)

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

無盡業法中改正法律案

借地法案

借家法案

函館控訴院ノ移轉ニ關スル法律案

大正二年法律第九號中改正法律案

船舶滿載吃水線法案

(以上一月二十四日提出)

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

植民省設置ニ關スル建議案

提出者 押川 方義君

航空事業ノ擴張及其ノ行政機關ノ統一ニ關スル建議案

提出者 三善 清之君

津野田是重君

海原 清平君

河上 哲太君

決議案(議長ノ黨籍ニ關スル件)

提出者 中野 正剛君

(以上一月二十四日提出)

樞密院官制改正ニ關スル建議案

提出者 副島 義一君

(以上一月二十五日提出)

一 議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

義勇奉公ノ精神衰退ニ關スル質問主意書

提出者 田中 萬逸君

山東牛檢疫制度ニ關スル質問主意書

提出者 小橋藻三衛君

滿洲ニ於ケル土地商租ニ關スル質問主意書

提出者 古賀三千人君

(以上一月二十五日提出)

○議長(奧繁三郎君) 會議ヲ開キマス、諮問致シマス事ガ

アリマス、第四部選出決算委員山口熊野君、第九部選出

請願委員平出喜三郎君、右兩君ヨリ常任委員辭任ノ申

出ガアリマシタ、之ヲ許可致シマスニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(奧繁三郎君) 異議ナシト認メマス、仍テ各、其

部ノ諸君ハ速ニ補關選舉ヲ行ウテ、其結果ヲ御届出アラシ

コトヲ望ミマス、國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ハ、其通告

者ガ二十餘名モアリマスカラ、随分時間ヲ要スルコト、思ヒ

マス、就デハ此際日程ヲ繰上ゲマシテ、先ヅ政府提出案ヲ

院議ニ付シテ、然ル後質疑ニ移リタイト思ヒマス、御異議ア

リマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(奧繁三郎君) 異議ナシト認メマス、仍テ唯今宣

言致シマシタ通り計ヒマス、日程第一 國有財産法案ノ第

一讀會ヲ開キマス——高橋大藏大臣

第一 國有財産法案(政府提出) 第一讀會

國有財産法案

第一條 本法ニ於テ國有財産ト稱スルハ國有ノ不動

產並勅令ヲ以テ定ムル國有ノ動產及權利ヲ謂フ

第二條 國有財産ヲ分テテ左ノ四種トス

一 公共用財産 國ニ於テ直接公共ノ用ニ供シ又

ハ供スルモノト決定シタルモノ

二 公用財産 國ニ於テ神社ノ用又ハ國ノ事務、事

業若ハ官吏其ノ他ノ職員ノ住居ノ用ニ供シ又ハ供

第三條 國有財産ニ關スル事務ハ各省大臣之ヲ管理

シ國有財産ニ關スル總轄事務ハ大藏大臣之ヲ管理ス

ヘシ

第四條 國有財産ハ雜種財産ヲ除クノ外之ヲ讓渡シ

又ハ之ニ私權ヲ設定スルコトヲ得ス但シ其ノ用途又

ハ目的ヲ妨ケサル限度ニ於テ其ノ使用又ハ收益ヲ爲

サシムルハ此ノ限ニ在ラス

第五條 雜種財産ハ左ニ掲クル場合ニ限り之ヲ讓與ス

ルコトヲ得

一 帝室用又ハ公共團體ニ於テ公共用若ハ公用ニ

供スル爲必要アルトキ

二 公共用財産又ハ公用財産ノ用途ヲ廢止シタル

場合ニ於テ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ其ノ維持保

存ノ費用ヲ負擔シタル者、其ノ用途ニ代ルヘキ他ノ

施設ヲ爲シタル者其ノ他ノ緣故者又ハ關係者ニ讓

與スルトキ

三 神社、寺院又ハ佛堂ノ合併シタル場合ニ於テ之

ニ因リ其ノ供用ヲ止メタル國有財産ヲ其ノ合併シ

タル神社、寺院又ハ佛堂ニ讓與スルトキ

第六條 雜種財産ハ法律ヲ以テ特別ノ定メ爲シタル場

合ニ限り之ヲ出資ノ目的ト爲スコトヲ得

第七條 雜種財産ハ土地及建物以外ノ土地ノ定着物

ニ限リ帝室用又ハ國、公共團體若ハ私人ニ於テ公共

用、公用若ハ公益事業ニ供スル爲必要アルトキハ勅

令ニ依リ之ヲ讓與スルコトヲ得

第五 國有財産法案 第一讀會

大正十年一月二十六日(明治三十五年三月三十一日第三種郵便物認可)

衆議院議事速記録第五號 議長ノ報告

國有財産法案 第一讀會

五

官報號外

大正十年一月二十六日

明治三十五年三月三十一日第三種郵便物認可

衆議院議事速記録第五號

議長ノ報告

令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ他ノ土地及建物以外ノ土地ノ定著物ト交換ヲ爲スコトヲ得

前項ト交換ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ價格均シカラサルトキハ金銭ヲ以テ補足スヘシ

第八條 用途及期間ヲ指定シテ國有財産ノ賣拂、讓與又ハ交換ヲ爲シタル場合ニ於テ指定期間内ニ之ヲ其ノ用途ニ供セス又ハ之ヲ其ノ用途ニ供シタル後指定期間内ニ其ノ用途ヲ廢止シタルトキハ政府ハ其ノ契約ヲ解除スルコトヲ得

第九條 國有財産ノ賣拂代金又ハ交換差金ハ財産引渡前之ヲ納付セシムヘシ但シ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ延納ノ特約ヲ爲スコトヲ得

第十條 國有財産ニ付境界査定ヲ施行セムトスルトキハ豫メ期日ヲ定メテ隣接地所有者ニ之ヲ通知シ其ノ立會ヲ求ムヘシ

隣接地所有者者期日ニ於テ立會ハサルコトアルモ境界査定ヲ施行スルコトヲ得

第十一條 境界査定ヲ了シタルトキハ隣接地所有者ニ之ヲ通知スヘシ

第十二條 前二條ノ規定ニ依リ通知ヲ受クヘキ者ノ住所居所共ニ不明ナルトキハ通知ノ要旨ヲ公告スヘシ

前項ノ規定ニ依リ公告シタル場合ニ於テ公告ノ初日より起算シ三十日ヲ經過シタルトキハ通知ヲ受ケタルモノト看做ス

第十三條 隣接地所有者境界査定ニ對シ不服アルトキハ其ノ通知ヲ受ケタル日より六十日以内ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十四條 國有財産ニ付境界査定又ハ測量ヲ爲ス爲政府ニ於テ他人ノ土地ニ立入り、目標ヲ設置シ又ハ障害物ヲ除却スルノ必要アルトキハ當該土地又ハ物件ノ所有者及占有者ハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得但シ之ニ因リテ生シタル損害ニ付賠償ヲ求ムルコトヲ得

第十五條 國有財産ノ貸付ハ左ノ期間ヲ超ユルコトヲ得ス

一 植物ヲ目的トシテ土地及建物以外ノ土地ノ定著物ヲ貸付スル場合ニ在リテハ八十年

二 前號ノ場合ヲ除クノ外土地及建物以外ノ土地ノ定著物ヲ貸付スル場合ニ在リテハ三十年

三 建物其ノ他ノ物件ヲ貸付スル場合ニ在リテハ十年

貸付期間ハ之ヲ更新スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ更新ノ時ヨリ前項ノ期間ヲ超ユルコトヲ得ス

第十六條 國有財産ハ帝室用又ハ公共團體若ハ私人ニ於テ公共用、公用若ハ公益事業ニ供スル爲必要ナル場合及勅令ニ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外無償ニテ之ヲ貸付スルコトヲ得ス

第十七條 國有財産ノ貸付料ハ毎年定期ニ之ヲ納付セシムヘシ但シ數年分ヲ前納セシムルコトヲ妨ケス

第十八條 國有財産ヲ貸付シタル場合ニ於テ其ノ貸付期間中帝室用又ハ國、公共團體若ハ私人ニ於テ公共用、公用若ハ公益事業ニ供スル爲必要ナルシタルトキハ政府ハ其ノ契約ヲ解除スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ契約ヲ解除シタル場合ニ於テハ借受人ハ之ニ因リテ生シタル損害ニ付賠償ヲ求ムルコトヲ得

第十九條 貸付期間ノ終了又ハ貸付契約ノ解除ニ當リ政府ニ於テ時價ヲ提供シ其ノ國有財産ノ上ニ存スル建物其ノ他ノ物件ヲ買取ルヘキ旨通知シタルトキハ其ノ所有者ハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第二十條 前五條ノ規定ハ貸付ニ依ラスシテ國有財産ノ使用又ハ收益ヲ爲サシムル契約ニ付之ヲ準用ス

第二十一條 雜種則產ニ付土地ノ開拓又ハ水面ノ埋立若ハ干拓ヲ爲サシムル者アル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ事業者ニ對シ事業ノ成功ヲ條件トシテ其ノ財産ノ賣拂、讓與又ハ貸付ノ豫約ヲ爲シ其ノ事業ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ事業ヲ爲サシムル契約ヲ爲シタル場合ニ於テハ事業ノ成功ニ要スル豫定期間事業者ヲシテ其ノ成功シタル部分ニ付無償ニテ使用又ハ收益ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十二條 前條第一項ノ規定ニ依リ事業ヲ爲サシムル契約ヲ爲シタル場合ニ於テ指定期間内ニ事業者其ノ事業ニ著手セサルトキハ政府ハ其ノ契約ヲ解除スルコトヲ得

第二十三條 第二十一條第一項ノ規定ニ依リ事業ヲ爲サシムル契約ヲ爲シタル場合ニ於テ豫定期間内ニ

事業成功セサルトキト雖土地又ハ水面ノ狀況ニ依リ支障ナシト認ムルトキハ事業者ニ對シ其ノ成功シタル部分ノ賣拂、讓與又ハ貸付ヲ爲スコトヲ得

第二十四條 從前ヨリ引續キ寺院又ハ佛堂ノ用ニ供スル雜種財產ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ用ニ供スル間無償ニテ之ヲ當該寺院又ハ佛堂ニ貸付シタルモノト看做ス

寺院又ハ佛堂ノ土地ニ係ル雜種財產ハ其ノ用ニ供スル爲必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ無償ニテ第十五條ノ規定ニ拘ラス之ヲ當該寺院又ハ佛堂ニ貸付スルコトヲ得

第二十五條 政府ハ國有財産ノ種類ニ從ヒ其ノ臺帳ヲ備フヘシ

臺帳ニ記載スヘキ事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十六條 政府ハ毎會計年度間ニ於ケル國有財産増減總計算書及毎五年三月三十一日現在ノ國有財産現在額總計算書ヲ調製シ會計検査院ノ検査ヲ經テ之ヲ帝國議會ニ報告スヘシ

前項ノ國有財産増減總計算書ニハ各省ノ國有財産増減報告書ヲ、國有財産現在額總計算書ニハ各省ノ國有財産現在額報告書ヲ添附スヘシ

附則

第二十七條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十八條 第二十五條及第二十六條ノ規定ハ當分ノ内公共用財産ニ付之ヲ適用セス

第二十九條 第二十六條ノ規定ニ依ル國有財産増減總計算書ハ本法施行ノ日ノ屬スル年度分ヨリ、國有財産現在額總計算書ノ第一回分ハ本法施行ノ日ノ現在ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第三十條 北海道國有未開地處分法中ノ規定ハ本法ノ規定ニ牴觸スルモノト雖當分ノ内仍其ノ效力ヲ有ス

第三十一條 國有林野法第二條、第四條乃至第七條、第九條、第十二條乃至第十四條、第十六條、第二十四條及第二十五條ノ規定ハ其ノ效力ヲ失フ但シ本法施行前ニ係ル國有林野ノ増減異動報告ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第三十二條 從前ノ法令ニ依リテ爲シタル處分、契約其ノ他ノ行爲ハ本法中ニ之ニ相當スル規定アル場合ニ

於テハ本法ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス
第三十三條 本法ヲ朝鮮臺灣又ハ樺太ニ施行スル場
合ニ於テ必要アルトキハ勅令ヲ以テ特別ノ定メ爲スコ
トヲ得

(國務大臣子爵高橋是清君登壇、拍手起ル)

○國務大臣子爵高橋是清君(唯今議題トナリマシタル
所ノ國有財産法案ニ就キマシテ、大體ノ説明ヲ致シタ
存ジマス、國有財産ニ關スル現行ノ法規ハ、何レモ久シ
前ニ制定セラレタルモノデ、時勢ノ推移ニ伴ヒマシテ、改正
ヲ加ヘネバナラヌ點ガ少カラズアルノデゴザイマス、殊ニ其統
一的管理ノ點ニ關シマシテ、頗ル不備デアリマスノデ、本院
ニ於キマシテモ、第一議會以來之ニ關スル法案ガ屢、提案セ
ラレマシテ、政府部内ニ於テモ、亦屢、之ガ改正ニ就テ調査ヲ
致シタノデゴザイマス、然レモ本院ノ建議ニ基キマシ
テ設置セラレタル官有財産調査會ニ於キマシテハ、國有財
産ノ整理ニ當リテハ、之ガ管理ノ根本法ヲ作ルノ必要アリ
ト認メラレマシテ、之ニ關スル法案ヲ立案議決致シタ次第
デアリマス、政府ニ於キマシテハ洵ニ至當ノ事ト見マシテ、之
ヲ成案ト爲シマシテ、第四十二議會ニ提出致シタノデゴザ
イマス、衆議院解散ノ爲メニ議了ニ至ラナカッタノデアリ
マス、仍テ茲ニ再ビ諸君ノ御審議ニ俟ツコト、ナッタノデア
リマス、今此法案ニ就テ申上グベキ重要ナル點ハ五點アリ
マス、其第一點ハ、立法ノ形式ヲ執タルコトデアリマス、國
有財産ニ關スル現行ノ法規ハ、國有林野法ト一ニ例外
ヲ除キマス、多クハ勅令ノ形式ニ依ッテ居ルノデアリマス
ガ、元來國有財産ノ管理ハ、國家財政上ノ重要事項デアリ
マシテ、歲計豫算ト密接ナル關係ヲ有スルノミナラズ、其管
理ニ就キマシテハ、一般ノ施行ニ對シテ、特別ノ規程ヲ置ク
必要アルノデゴザイマス、隨テ其根本法規ハ、特ニ法律ノ形
式ニ依ルコト、致シタ次第デアリマス、第二點ハ國有財産
ノ管理上ニ關スル事デアリマシテ、國有財産管理ノ事務ハ、
從來ハ各省大臣ノ主管ニナッテ居リマシテ、特ニ之ガ統一
總轄ニ關スル規程ヲ缺イテ居ルノデゴザイマス、ソレデ各省
ノ取扱ガ自ラ區々ニナッテ居マシテ、議會ニ報告致シマス
官有財産目録、及其増減異動ノ報告書等ノ如キモ、各省
各別デアリマシテ、總括的ニ之ヲ見ルコトガ出來ナイト云フ
狀態デアルハ、是ハ即チ現行法ノ著シキ缺點デアリマス、仍
テ本法案ニ於キマシテハ、此國有財産ニ關シマスル事務モ、

亦會計事務ト同ジク、國ノ事務ノ一部トシテ、大藏大臣ニ
其總轄事務ヲ管理セシムルコト、致シタノデゴザイマス、第
三點ハ、國有財産ノ處分ニ關スル事デアリマス、國有財産
ノ處分ハ、一般ニ其取扱ヲ嚴正ニスルノ必要ガアリマス、
其讓與交換ノ場合ヲ限リ、限定致シマシテ、又國有財産
ヲ以テ出資ニ充テル場合ニ於テハ、總テ法律ノ規定ニ依ラ
ネバナラヌコト、致シタノデゴザイマス、第四點ハ帝國議會
ニ對シマスル諸報告ニ關スル事柄デアリマシテ、此報告ノ仕
方ニ就テ改正ヲ加ヘタル主ナル原ハ三ツアルノデ、現行法ニ
於キマシテハ、十年毎ニ各省ニ於テ官有財産ノ目録ヲ作リ
マシタ、又年々其増減異動ノ報告書ヲ作ッテ、帝國議會ニ報
告致スコト、ナッテ居リマス、之ヲ此點ニ就テ三ツノ重
要ナル改正ヲシタノデ、第一ハ是等ノ書類ハ、何レモ舊時ノ
目録式デ(大體ニ願ヒマス)聞エナイ演說デヤ何モナリハ
シナイ(ト呼フ者アリ)各省々々舊時ノ目録式デ各省各個
ニ分レテ之ヲ統合整理スル方法ガナカッタ爲メニ、之ヲ通覽
シテ財産全體ノ狀況ヲ知ルコトガ出來ナイト云フ遺憾ガア
タノデアリマス、本法案ニ於キマシテハ、總テ之ヲ計算書ニ
改メマシテ且ツ、各省ノ分ヲ取纏メテ、總計算書ヲ調製スル
コトニ致シタノデアリマス、第二ハ從來財産目録ノ調製ヲ
十年ニ一回トシテアリマシタ、是ハ餘リニ長キニ失スルヤ
ウデアリマス、之ニ相當ナ現在額總計算書、是ハ十年ヲ
改メマシテ、五年毎ニ調製スルコト、致シタノデ、第三ハ、從
來其財産價格ハ常ニ不動ノ臺帳價格ニ依ッテ作ッタモノデ
アリマス、是ハ財産全體ノ狀況ヲ窺フ上ニ於キマシテ、
甚ダ遺憾ガアリマス、土地其他重要ナルモノニ就キマシテ
ハ、現在額總計算書調製ノ都度、出來得ル限り其價格ヲ
改訂スル見込ヲ立テタノデアリマス、第五點ハ會計検査院
ノ検査ニ關スル事デアリマス、會計検査院法ニ依リマス、
官有財産ニ關スル事項モ、亦會計検査院ニ於テ検査スル
コト、ナッテ居ルノデアリマス、從來之ニ關スル手續ガ不十
分デアリマス、其検査モ亦十分ナルヲ得ナカッタノデア
リマス、本法案ニ於テハ、政府ヨリ帝國議會ニ報告スル現
在額總計算書、及其増減計算書ハ、總テ之ヲ會計検査院
ノ検査ヲ經ベキコト、致シタノデゴザイマス、要スルニ本
案ハ、國有財産ニ關スル現行諸法規ヲ統一シテ、其不備缺
點ヲ補正シマシタノデ、國有財産管理ノ根本成規ヲ確立ス
ルノ趣旨ニ出タモノデアリマス、何卒御審議ノ上、御協賛
アランコトヲ希望シマス

○議長(奧繁三郎君) 日程第二、右議案ノ審查ヲ付託ス
ヘキ委員ノ選舉ヲ議題ニ致シマス

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ
選舉

○岩崎勳君 委員ノ數ハ十八名トシ、議長ニ於テ指名ア
ランコトヲ望ミマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(奧繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニハ御異議アリマセ
ヌカ

(異議ナシ異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(奧繁三郎君) 異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ
如ク決定致シマス、日程第三、第五ノ議案ハ、同種類關聯
シテ居リマス、議案デアリマス、一括シテ議題ニ供スニ異
議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(奧繁三郎君) 異議ナシト認メマス、仍テ一括シテ
議題ニ供シマス、日程第三、少年法案、第五矯正院法案ヲ
一括シテ議題ニ致シマス、其第一議會ヲ開キマス

第三 少年法案(政府提出) 第一議會

少年法案

第一章 通則

第一條 本法ニ於テ少年ト稱スルハ十八歳ニ滿タサル
者ヲ謂フ

第二條 少年ノ刑事處分ニ關スル事項ハ本法ニ定ム
ルモノノ外一般ノ例ニ依ル

第三條 本法ハ第七條、第八條、第十條乃至第十四
條ノ規定ヲ除クノ外陸軍刑法第八條、第九條及海
軍刑法第八條、第九條ニ掲ケタル者ニ之ヲ適用セス

第二章 保護處分

第四條 刑罰法令ニ觸ルル行為ヲ爲シ又ハ刑罰法令
ニ觸ル、行為ヲ爲ス虞アル少年ニ對シテハ左ノ處分
ヲ爲スコトヲ得

一 訓誡ヲ加フルコト

二 學校長ノ訓誡ニ委スルコト

三 書面ヲ以テ改心ノ誓約ヲ爲サシムルコト

四 條件ヲ附シテ保護者ニ引渡スコト

五 寺院、教會、保護團體又ハ適當ナル者ニ委託スルコト

六 少年保護司ノ觀察ニ付スルコト

七 感化院ニ送致スルコト

八 矯正院ニ送致スルコト

九 病院ニ送致又ハ委託スルコト

前項各號ノ處分ハ適當併セテ之ヲ爲スコトヲ得

第五條 前條第一項第五號乃至第九號ノ處分ハ二

十三歳ニ至ル迄其ノ執行ヲ繼續シ又ハ其ノ執行ノ繼

續中何時ニテモ之ヲ取消シ若ハ變更スルコトヲ得

第六條 少年ニシテ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケ又ハ假

出獄ヲ許サレタル者ハ猶豫又ハ假出獄ノ期間内少年

保護司ノ觀察ニ付ス

前項ノ場合ニ於テ必要アルトキハ第四條第一項第

四號第五號第七號乃至第九號ノ處分ヲ爲スコト

ヲ得

前項ノ規定ニ依リ第四條第一項第七號又ハ第八號

ノ處分ヲ爲シタルトキハ其ノ執行ノ繼續中少年保護

司ノ觀察ヲ停止ス

第三章 刑事處分

第七條 罪ヲ犯ス時十六歳ニ滿タル者ニハ死刑及無

期刑ヲ科セス死刑又ハ無期刑ヲ以テ處斷スヘキトキ

ハ十年以上十五年以下ニ於テ懲役又ハ禁錮ヲ科ス

刑法第七十三條第七十五條又ハ第二百條ノ罪ヲ

犯シタル者ニハ前項ノ規定ヲ適用セス

第八條 少年ニ對シ長期三年以上ノ有期ノ懲役又ハ

禁錮ヲ以テ處斷スヘキトキハ其ノ刑ノ範圍内ニ於テ

短期ト長期トヲ定メ之ヲ言渡ス但シ短期五年ヲ超ユ

ル刑ヲ以テ處斷スヘキトキハ短期ヲ五年ニ短縮ス

前項ノ規定ニ依リ言渡スヘキ刑ノ短期ハ五年長期ハ

十年ヲ超ユルコトヲ得ス

刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ爲スヘキ場合ニハ前二項ノ規

定ヲ適用セス

第九條 懲役又ハ禁錮ノ言渡ヲ受ケタル少年ニ對シテ

ハ特ニ設ケタル監獄又ハ監獄内ノ特ニ分界ヲ設ケタ

ル場所ニ於テ其ノ刑ヲ執行ス

本人十八歳ニ達シタル後ト雖二十三歳ニ至ル迄ハ前

項ノ規定ニ依リ執行ヲ繼續スルコトヲ得

第十條 少年ニシテ懲役又ハ禁錮ノ言渡ヲ受ケタル者

ニハ左ノ期間ヲ經過シタル後假出獄ヲ許スコトヲ得

一 無期刑ニ付テハ七年

二 第七條第一項ノ規定ニ依リ言渡シタル刑ニ付テ

ハ三年

三 第八條第一項及第二項ノ規定ニ依リ言渡シタ

ル刑ニ付テハ其ノ刑ノ短期ノ三分ノ一

第十一條 少年ニシテ無期刑ノ言渡ヲ受ケタル者假出

獄ヲ許サレタル後其ノ處分ヲ取消サルコトナクシテ

十年ヲ經過シタルトキハ刑ノ執行ヲ終リタルモノトス

少年ニシテ第七條第一項又ハ第八條第一項及第二

項ノ規定ニ依リ刑ノ言渡ヲ受ケタル者假出獄ヲ許サレ

タル後其ノ處分ヲ取消サルコトナクシテ假出獄前ニ

刑ノ執行ヲ爲シタルト同一ノ期間ヲ經過シタルトキ亦

前項ニ同シ

第十二條 少年ノ假出獄ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ

之ヲ定ム

第十三條 少年ニ對シテハ勞務場留置ノ言渡ヲ爲サス

第十四條 少年ノ時犯シタル罪ニ因リ死刑又ハ無期

刑ニ非サル刑ニ處セラレタル者ニシテ其ノ執行ヲ終ヘ

又ハ執行免除ヲ受ケタルモノハ人ノ資格ニ關スル法

令ノ適用ニ付テハ將來ニ向テ刑ノ言渡ヲ受ケサリシモ

ノト看做ス

少年ノ時犯シタル罪ニ付刑ニ處セラレタル者ニシテ刑

ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタルモノハ其ノ猶豫期間中

刑ノ執行ヲ終ヘタルモノト看做シ前項ノ規定ニ適用

ス

前項ノ場合ニ於テ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ取消サレタ

ルトキハ人ノ資格ニ關スル法令ノ適用ニ付テハ其ノ取

消サレタル時刑ノ言渡アリタルモノト看做ス

第四章 少年審判所ノ組織

第十五條 少年ニ對シ保護處分ヲ爲ス爲少年審判所

ヲ置ク

第十六條 少年審判所ノ設立、廢止及管轄ニ關スル規

程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條 少年審判所ハ司法大臣ノ監督ニ屬ス

司法大臣ハ控訴院長及地方裁判所長ニ少年審判

所ノ監督ヲ命スルコトヲ得

第十八條 少年審判所ニ少年審判官、少年保護司及

書記ヲ置ク

第十九條 少年審判官ハ單獨ニテ審判ヲ爲ス

第二十條 少年審判官ハ少年審判所ノ事務ヲ管理シ

所部ノ職員ヲ監督ス

二人以上ノ少年審判官ヲ置キタル少年審判所ニ於

テハ上席者前項ノ規定ニ依リ職務ヲ行フ

第二十一條 少年審判官ハ判事ヲシテ之ヲ兼ネシムル

コトヲ得

判事タル資格ヲ有スル少年審判官ハ判事ヲ兼ヌルコ

トヲ得

第二十二條 少年審判官審判ノ公平ニ付嫌疑ヲ生ス

ヘキ事由アリト思料スルトキハ職務ノ執行ヲ避ケヘシ

第二十三條 少年保護司ハ少年審判官ヲ輔佐シテ審

判ノ資料ヲ供シ觀察事務ヲ掌ル

少年保護司ハ少年保護事業ニ經驗ヲ有スル者其ノ

他適當ナル者ニ對シ司法大臣之ヲ囑託スルコトヲ得

第二十四條 書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ審判ニ關スル書

類ノ調製ヲ掌リ庶務ニ從事ス

第二十五條 少年審判所及少年保護司ハ其ノ職務ヲ

行フニ付公務所又ハ公務員ニ對シ屬託ヲ爲シ其ノ

他必要ナル補助ヲ求ムルコトヲ得

第五章 少年審判所ノ手續

第二十六條 大審院ノ特別權限ニ屬スル罪ヲ犯シタル

者ハ少年審判所ノ審判ニ付セス

第二十七條 左ニ記載シタル者ハ裁判所又ハ檢事ヨリ

送致ヲ受ケタル場合ヲ除ク外少年審判所ノ審判ニ

付セス

一 死刑、無期又ハ短期三年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ

該ルヘキ罪ヲ犯シタル者

二 十六歳以上ニシテ罪ヲ犯シタル者

第二十八條 刑事手續ニ依リ審理中ノ者ハ少年審判

所ノ審判ニ付セス

第二十九條 少年審判所ニ於テ保護處分ヲ爲スヘキ

少年アルコトヲ認知シタル者ハ之ヲ少年審判所又ハ

其ノ職員ニ通告スヘシ

第三十條 通告ヲ爲スニハ其ノ事由ヲ開示シ成ルヘク

本人及其ノ保護者ノ氏名、住所、年齡、職業、性行等

ヲ申立テ且參考ト爲スヘキ資料ヲ差出スヘシ

通告ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得口頭ノ

通告アリタル場合ニ於テハ少年審判所ノ職員其ノ申

第三十一條 少年審判所審判ニ付スヘキ少年アリト
思料シタルトキハ事件ノ關係及本人ノ性行、境遇、經
歴、心身ノ狀況、教育ノ程度等ヲ調査スヘシ
心身ノ狀況ニ付テハ成ルヘク醫師ヲシテ診察ヲ爲サシ
ムヘシ

第三十二條 少年審判所ハ少年保護司ニ命シテ必要
ナル調査ヲ爲サシムヘシ

第三十三條 少年審判所ハ事實ノ取調ヲ保護者ニ命
シ又ハ之ヲ保護團體ニ委託スルコトヲ得

保護者及保護團體ハ參考ト爲ルヘキ資料ヲ差出スコ
トヲ得

第三十四條 少年審判所ハ參考人ニ出頭ヲ命シ調査
ノ爲必要ナル事實ノ供述又ハ鑑定ヲ爲サシムルコトヲ
得

前項ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ供述又ハ鑑定
ノ要領ヲ錄取スヘシ

第三十五條 參考人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ費用ヲ
請求スルコトヲ得

第三十六條 少年審判所ハ必要ニ依リ何時ニテモ少
年保護司ヲシテ本人ヲ同行セシムルコトヲ得

第三十七條 少年審判所ハ事情ニ從ヒ本人ニ對シ假
ニ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 條件ヲ附シ又ハ附セスシテ保護者ニ預クルコト
二 寺院、教會、保護團體又ハ適當ナル者ニ委託ス
ルコト

三 病院ニ委託スルコト

四 少年保護司ノ觀察ニ付スルコト
已ムコトヲ得サル場合ニ於テハ本人ヲ假ニ感化院又
ハ矯正院ニ委託スルコトヲ得

第一項第一章乃至第三號ノ處分アリタルトキハ本人
ヲ少年保護司ノ觀察ニ付ス

第三十八條 前條ノ處分ハ何時ニテモ之ヲ取消シ又ハ
變更スルコトヲ得

第三十九條 前三條ノ場合ニ於テハ速ニ其ノ旨ヲ保
護者ニ通知スヘシ

第四十條 少年審判所調査ノ結果ニ因リ審判ヲ開
始スヘキモノト思料シタルトキハ審判期日ヲ定ムヘシ

第四十一條 審判ヲ開始セサル場合ニ於テハ第三十
七條ノ處分ハ之ヲ取消スヘシ

第三十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十二條 少年審判所審判ヲ開始スル場合ニ於テ
必要アルトキハ本人ノ爲附添人ヲ附スルコトヲ得

本人ノ保護者又ハ保護團體ハ少年審判所ノ許可ヲ
受ケ附添人ヲ選任スルコトヲ得

附添人ハ辯護士保護事業ニ従事スル者又ハ少年審
判所ノ許可ヲ受ケタル者ヲ以テ之ニ充ツヘシ

第四十三條 審判期日ニハ少年審判官及書記出席ス
ヘシ

少年保護司ハ審判期日ニ出席スルコトヲ得

審判期日ニハ本人、保護者及附添人ヲ呼出スヘシ但
シ實益ナシト認ムルトキハ保護者ハ之ヲ呼出ササルコ
トヲ得

第四十四條 少年保護司、保護者及附添人ハ審判ノ
席ニ於テ意見ヲ陳述スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ本人ヲ退席セシムヘシ但シ相當
ノ事由アルトキハ本人ヲ在席セシムルコトヲ得

第四十五條 審判官之ヲ公行セス但シ少年審判所ハ
本人ノ親族、保護事業ニ従事スル者其ノ他相當ト認
ムル者ニ在席ヲ許スコトヲ得

第四十六條 少年審判所審判ヲ終ヘタルトキハ第四
十七條乃至第五十四條ノ規定ニ依リ終結處分ヲ爲
スヘシ

第四十七條 刑事訴追ノ必要アリト認メタルトキハ事
件ヲ管轄裁判所ノ檢事ニ送致スヘシ

裁判所又ハ檢事ヨリ送致ヲ受ケタル事件ニ付新ナル
事實ノ發見ニ因リ刑事訴追ノ必要アリト認メタルト
キハ管轄裁判所ノ檢事ノ意見ヲ聽キ前項ノ手續ヲ爲
スヘシ

前二項ノ處分ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ本人及保護
者ニ通知スヘシ

檢事ハ第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ送致ヲ受ケタ
ル事件ニ付爲シタル處分ヲ少年審判所ニ通知スヘシ

第四十八條 訓誡ヲ加フヘキモノト認メタルトキハ本人
ニ對シ其ノ非行ヲ指摘シ將來遵守スヘキ事項ヲ諭告
スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ成ルヘク保護者及附添人ヲシテ
立會ハシムヘシ

第四十九條 學校長ノ訓誡ニ委スヘキモノト認メタル
トキハ學校長ニ對シ必要ナル事項ヲ指示シ本人ニ訓
誡ヲ加フヘキ旨ヲ告知スヘシ

トキハ學校長ニ對シ必要ナル事項ヲ指示シ本人ニ訓
誡ヲ加フヘキ旨ヲ告知スヘシ

第五十條 改心ノ誓約ヲ爲サシムヘキモノト認メタル
トキハ本人ヲシテ誓約書ヲ差出サシムヘシ

前項ノ場合ニ於テハ成ルヘク保護者ヲシテ立會ハシメ
且誓約書ニ連署セシムヘシ

第五十一條 條件ヲ附シテ保護者ニ引渡スヘキモノト
認メタルトキハ保護者ニ對シ本人ノ保護監督ニ付必
要ナル條件ヲ指示シ本人ヲ引渡スヘシ

第五十二條 寺院、教會、保護團體又ハ適當ナル者ニ
委託スヘキモノト認メタルトキハ委託ヲ受クヘキ者ニ
對シ本人ノ處遇ニ付參考ト爲ルヘキ事項ヲ指示シ保
護監督ノ任務ヲ委嘱スヘシ

第五十三條 少年保護司ノ觀察ニ付スヘキモノト認メ
タルトキハ少年保護司ニ對シ本人ノ保護監督ニ付必
要ナル事項ヲ指示シ觀察ニ付スヘシ

第五十四條 感化院、矯正院又ハ病院ニ送致又ハ委託
スヘキモノト認メタルトキハ其ノ長ニ對シ本人ノ處遇
ニ付參考ト爲ルヘキ事項ヲ指示シ本人ヲ引渡スヘシ

第五十五條 刑罰法令ニ觸ルル行爲ヲ爲ス虞アル少
年ニ對シ前三條ノ處分ヲ爲ス場合ニ於テ適當ナル親
權者、後見人、戶主其ノ他ノ保護者アルトキハ其ノ承
諾ヲ經ヘシ

第五十六條 少年審判所ノ審判ニ付テハ始末書ヲ作
リ審判ヲ經タル事件及終結處分ヲ明確ニシ其ノ他必
要ト認メタル事項ヲ記載スヘシ

第五十七條 少年審判所第四十八條乃至第五十二
條及第五十四條ノ處分ヲ爲シタルトキハ保護者、學
校長、受託者又ハ感化院、矯正院若ハ病院ノ長ニ對
シ成績報告ヲ求ムルコトヲ得

第五十八條 少年審判所第五十一條及第五十二條
ノ處分ヲ爲シタルトキハ少年保護司ヲシテ其ノ成績ヲ
觀察シ適當ナル指示ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十九條 少年審判所第四十八條乃至第五十四
條ノ處分ヲ爲シタル後審判ヲ經タル事件第二十六條
又ハ第二十七條第一號ニ記載シタルモノナルコトヲ
發見シタルトキハ裁判所又ハ檢事ヨリ送致ヲ受ケタル
場合ト雖管轄裁判所ノ檢事ノ意見ヲ聽キ處分ヲ取
消シ事件ヲ檢事ニ送致スヘシ

禁錮以上ノ刑ニ該ル罪ヲ犯シタル者ニ付第四條第一項第七號又ハ第八號ノ處分ヲ繼續スルニ適セサル事情アリト認メタルトキ亦前項ニ同シ

第六十條 少年審判所本人ヲ寺院、教會、保護團體若ハ適當ナル者ニ委託シ又ハ病院ニ送致若ハ委託シタルトキハ委託又ハ送致ヲ受ケタル者ニ對シ之ニ因リ生シタル費用ノ全部又ハ一部ヲ給付スルコトヲ得

第六十一條 第三十五條及前條ノ費用並矯正院ニ於テ生シタル費用ハ少年審判所ノ命令ニ依リ本人又ハ本人ヲ扶養スル義務アル者ヨリ全部又ハ一部ヲ徵收スルコトヲ得

前項費用ノ徵收ニ付テハ非訟事件手續法第二百八條ノ規定ヲ準用ス

第六章 裁判所ノ刑事手續

第六十二條 檢事少年ニ對スル刑事事件ニ付第四條ノ處分ヲ爲スヲ相當ト思料シタルトキハ事件ヲ少年審判所ニ送致スヘシ

第六十三條 第四條ノ處分ヲ受ケタル少年ニ對シテハ審判ヲ經タル事件又ハ之ヨリ輕キ刑ニ該ルヘキ事件ニシテ處分前ニ犯シタルモノニ付刑事追迫ヲ爲スコトヲ得但シ第五十九條ノ規定ニ依リ處分ヲ取消シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條 少年ニ對スル刑事事件ニ付テハ第三十一條ノ調査ヲ爲スヘシ

少年ノ身上ニ關スル事項ノ調査ハ少年保護司ニ囑託シテ之ヲ爲サシムルコトヲ得

第六十五條 裁判所ハ公判期日前前條ノ調査ヲ爲シ又ハ受命判事ヲシテ之ヲ爲サシムルコトヲ得

第六十六條 裁判所又ハ豫審判事ハ職權ヲ以テ又ハ檢事ノ申立ニ因リ第三十七條ノ規定ニ依リ處分ヲ爲スコトヲ得

第三十八條及第三十九條ノ規定、前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十七條 勾留狀ハ已ムコトヲ得サル場合ニ非サレハ少年ニ對シテ之ヲ發スルコトヲ得ス

拘留監ニ於テハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外少年ヲ獨居セシムヘシ

第六十八條 少年ノ被告人ハ他ノ被告人ト分離シ其ノ接觸ヲ避ケシムヘシ

第六十九條 少年ニ對スル被告事件ハ他ノ被告事件ト牽連スル場合ト雖審理ニ妨ナキ限り其ノ手續ヲ分離スヘシ

第七十條 裁判所ハ事情ニ依リ公判中一時少年ノ被告人ヲ退廷セシムルコトヲ得

第七十一條 第一審裁判所又ハ控訴裁判所審理ノ結果ニ因リ被告人ニ對シ第四條ノ處分ヲ爲スヲ相當ト認メタルトキハ少年審判所ニ送致スル旨ノ決定ヲ爲スヘシ

檢事ハ前項ノ決定ニ對シ三日内ニ抗告ヲ爲スコトヲ得

第七十二條 第六十六條ノ處分ハ事件ヲ終局セシムル裁判ノ確定ニ因リ其ノ效力ヲ失フ

第七十三條 第四十二條、第四十三條第二項第三項及第四十四條ノ規定ハ公判ノ手續ニ第六十條及第六十一條ノ規定ハ豫審又ハ公判ノ手續ニ之ヲ準用ス

第七章 罰則

第七十四條 少年審判所ノ審判ニ付セラレタル事項又ハ少年ニ對スル刑事事件ニ付豫審又ハ公判ニ付セラレタル事項ハ之ヲ新聞紙其ノ他ノ出版物ニ掲載スルコトヲ得ス

前項ノ規定ニ違反シタルトキハ新聞紙ニ在リテハ編輯人及發行人、其ノ他ノ出版物ニ在リテハ著作者及發行者ヲ一年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五 矯正院法案(政府提出) 第一讀會

矯正院法案

第一條 矯正院法

第一條 矯正院ハ刑罰法令ニ觸ルル行為ヲ爲シ又ハ刑罰法令ニ觸ルル行為ヲ爲ス虞アル十二歳以上ノ性狀特ニ不良ナル者ヲ收容スル所トス

第二條 矯正院ニ收容スヘキ者ハ少年審判所ヨリ送致シタルモノ及民法第八百八十二條ノ規定ニ依リ入院ノ許可アリタルモノニ限ル

第三條 矯正院ニ收容シタル者ノ在院ハ二十三歳ヲ超ユルコトヲ得ス

第四條 矯正院ニハ特ニ區劃シタル場所ヲ設ケ少年審判所、裁判所又ハ豫審判事ヨリ假ニ委託シタル者ヲ置ク

第五條 矯正院ハ收容スヘキ者ノ男女ノ別ニ從ヒ之ヲ設ク

第六條 十六歳ニ滿タサル者ト十六歳以上ノ者トハ分界ヲ設ケタル場所ニ各別ニ之ヲ收容ス

第七條 矯正院ハ之ヲ國立トス

第八條 矯正院ハ司法大臣ノ管理ニ屬ス

第九條 司法大臣ハ少クトモ六月毎ニ一回官吏ヲシテ矯正院ヲ巡察セシムヘシ

第十條 少年審判官ハ隨時矯正院ヲ巡視スヘシ

第十一條 在院者ニハ其ノ性格ヲ矯正スル爲メ嚴格ナル紀律ノ下ニ教養ヲ施シ其ノ生活ニ必要ナル實業ヲ練習セシム

第十二條 矯正院ノ長ハ勅令ヲ得サル事由アル場合ニ於テハ少年審判所ノ許可ヲ受ケ未成年ノ在院者及假退院者ノ爲メ親權者又ハ後見人ノ職務ニ屬スル行為ヲ爲スコトヲ得

第十三條 矯正院ノ長ハ少年審判所ヨリ送致シタル在院者ニ對シ執行ノ目的ヲ達シタルト認ムルトキハ少年審判所ノ許可ヲ受ケ之ヲシテ退院セシムヘシ

第十四條 矯正院ノ長ハ少年審判所ヨリ送致シタル在院者ニシテ收容後六月ヲ經過シタルモノニ對シ少年審判所ノ許可ヲ受ケ條件ヲ指定シテ假ニ退院ヲ許スコトヲ得

假退院ヲ許サレタル者ハ假退院ノ期間内少年保護司ノ觀察ニ付ス

第十五條 假退院者指定ノ條件ニ違背シタルトキハ矯正院ノ長ハ少年審判所ノ許可ヲ受ケ假退院ヲ取消スコトヲ得

第十六條 在院者又ハ假退院者逃走シタルトキハ少年審判所及矯正院ノ職員ハ之ヲ逮捕スルコトヲ得

第十七條 本法ニ規定スルモノヲ除クノ外在院者ノ處遇ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

矯正院ノ長ハ司法大臣ノ認可ヲ受ケ在院者ノ處遇ニ關スル細則ヲ定ムヘシ

第十八條 前二條ノ規定ハ少年審判所ノ裁判所又ハ豫審判事ヨリ假ニ委託シタル者ニ付之ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(國務大臣伯爵大木遠吉君登壇、拍手起ル)

○國務大臣(伯爵大木遠吉君) 唯今上程セラレマシタル所ノ少年法、及矯正院法、兩案提出ノ理由ニ就テ、聊カ茲ニ説明ヲ申上ゲマス、不良ノ性質ヲ帶ブル所ノ少年、年ヲ逐ウテ増加ノ傾向ニ在ルト云フコトハ、洵ニ遺憾デアリマスルガ、事實逐年増加ノ傾向デアリマス、其由テ來ル所ノモノハ、固ヨリ多岐多端、種々ノ原因モアリマセウナレドモ、之ヲ要スルニ教養ノ缺陷ニ在ルト云フコトハ、掩フベカラザル事實デアリマス、故ニ之ヲ防遏シ、之ヲ保護シ、從來ノ犯罪禍根ヲ未然ニ防グコトニ就テハ、刑事政策ノ見地ヨリ、固ヨリ樞要ナル事柄デアリマスルト同時ニ、斯様ナ境遇ニ在ル所ノ憐ムベキ不幸ノ少年ヲ救済スルコトハ、社會政策ノ上ニ於キマシテモ、喫緊ノ事ト存ズルデアリマス、此制度ノ確立ハ、刻下ノ急務デアルト深ク信スルデアリマス、少年法案並矯正院法案ハ、此必要ニ應ズル爲メニ制定セラレマシタルモノデアリマシテ、其少年法案ニ於キマシテハ、刑罰法令ニ觸ル、行爲ヲナシ、又ハ刑罰法令ニ觸ル、行爲ヲナス虞アル、十八歳未満ノ少年ニ對シマシテ、少年審判所ノ保護處分、及少年犯罪者ニ對シマスル所ノ科刑並刑事手續ニ就キマシテ、特別ナル規定ヲ設ケタルモノデアリマス、矯正院法案ニ於キマシテハ、十二歳以上ノ少年デ、不良性ガ極メテ強ク、現在ノ感化院ニハ不適當ナル者ヲ收容スル、設備ニ關スル規定ヲ設ケタルモノデアリマス、少年ノ不良性ヲ感化矯正スルコトノ比較ノ容易ナル時期ニ於キマシテ、必要ナル措置ヲ執ツテ、之ヲ純良ナル國民ニ導クコトハ、獨リ公益ノ上ニ於テ必要ナルモノナラズ、又本人ノ前途ヲ啓發スル點ニ於キマシテモ、最モ喫緊ノ事ニ屬スルデアリマス、是ガ即チ本案ヲ提出シタル理由デアリマス、且ツ本案ハ四十二議會ニ於キマシテ、特別委員會ニ於キマシテハ、之ヲ是認セラレタデアリマス、併シ不幸ニシテ解散ノ爲メニ、遂ニ本議會ノ御協賛ヲ得ルニ至ラナカッタデアリマス、續イテ昨年ノ特別議會ニ於キマシテハ、委員會ニ於テハ固ヨリ、本會議ニ於キマシテモ、斯ノ如キ案ハ政黨政派ノ争フ所ノ

モノニアラズ、所謂政黨政派ヲ超越セル案デアルト云フ廉ヲ以テ全會——全員一致ノ御協賛ヲ得タ所ノ歴史ヲ有シテ居ル所ノモノデアリマス、然ルニ特別議會デアリマシタガ爲メニ、貴族院ニ於キマシテハ審查未了ノ儘——甚ダ遺憾ナガラ審查未了ノ儘、昨年ノ特別議會ニハ遂ニ協賛ヲ得ズ成立ヲシナカッタデアリマス、斯様ナ歴史ヲ有シテ居ル所ノ案デアリマスカラ、何卒今回モ政黨政派ヲ超越セル本案ノ如キハ、宜シク皆サシノ全員一致ノ御協賛ヲ得タイト、心寄ニ之ヲ期待シテ居ルデアリマス、何卒本案ニ就キマシテ十分ナル御審查ヲ仰ギ、而シテ本會議ニ於テ全會一致ノ御協賛ヲ得ルコトヲ偏ニ希望シマス(拍手起ル)

○議長(奧繁三郎君) 右兩案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ニ供シマス

第四、第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 日程第三及第五ノ兩案ヲ一括シテ、委員ノ數ハ特ニ二十八名トシ、議長ニ於テ御指名アラシコトヲ望ミマス

(贊成々々「ト呼フ者アリ」)

○議長(奧繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如クニ決シマス、是ヨリ昨日ノ會議ニ引續キマシテ、質疑ヲ繼續シマス

一 國務大臣ノ演說ニ對スル質疑 (前會ノ續)

○議長(奧繁三郎君) 南鼎三君

(望月小太郎君議長「ト呼フ」)

○議長(奧繁三郎君) 望月君——一寸望月君ノ質問ガ殘シテ居ルサウデアリマスカラ……

○望月小太郎君 昨日本員ノ質疑中、浦潮斯德ニ於ケル歩哨事件ニ關シマシテハ、帝國軍隊ノ士氣並外交上重大ナル關係アルヲ以テ、特ニ是ガ監督長官タル陸軍大臣ノ説明ヲ要求シテ置キマシタ、唯今同大臣ノ出席ヲ見マシタニ就テハ、此場合右事件ノ經過ヲ爰ニ報告的デモ宜シイ、説明アランコトヲ要求致シマス

○議長(奧繁三郎君) 田中陸軍大臣

(「國務大臣男爵田中義一君登壇、拍手起ル」)

○國務大臣(男爵田中義一君) 昨日望月君ノ浦潮斯德ニ於ケル帝國軍隊ノ不幸ナル事件ニ就テノ御尋ガアリマシタ、私ハ此所デ此經過ノ概略ヲ申シテ置キマス、過グル一月八日ノ午前四時頃デアリマス、第十一師團司令部ノ門ノ歩哨ノ前ヲ、制服ヲ著タ將校ガ携帶電燈ヲ持ッテ通過セラレタ時ニ發生シタ事件デアリマス、此事ニ就キマシテハ、事實ノ調査カラ、又其結了ニ至ルマデノ事柄ハ、極メテ公明正大ニ是ガ始末ヲシナクチャナラヌト思ウテ居ルデアリマス、其出來事ノ概略ハデス、歩哨ガ之ヲ誰何致シタノデアアル、而シテ其誰何ノ言葉ハ、亞米利加人カト云フコトヲ訊イタノデアリマス、是ハ歩哨ガ簡單ナル露西亞語ヲ教ッテ居リマスカラ、サウ云フ言葉デ訊イタノデアリマス、又亞米利加ノ將校ハサウデアアルト斯ウ言ッタ云フ、歩哨ノ方ハ知ラナイト斯ウ云フ言葉ニ聽イタト云フコトハ、一ツノ行掛リガアルデアアル、ソレカラ射撃ヲ致シタノハ相互デアリマス、日本ノ歩哨ハ二發受ケテ居リマスルガ、ソレハ幸ニ外套ヲ縫ウテ居ルダケデアリマス、身體ニハ傷ガ付イテ居ラヌデアリマス、亞米利加ノ將校ノ方ハ肺部ヲ貫通致シタ爲メニ、遂ニ落命ノ不幸ヲ來シタト云フ次第デアリマス、此ニ於テ然ラバ孰レカラ先ニ發射シタカ、斯ウ云フ事ガ又當面ノ研究スベキ重要事件デアリマス、サリナガラ亞米利加ノ將校ノ傷ハ後傷デアルト云フコトハ、傷所ノ點檢デ明瞭デアアルヤウデアリマス、併ナガラ何方カラ先ニ發射シタカト云フコトニ就テハ明瞭ハ致シマセヌガ、今日ノ所ハ發射ハ日本ノ兵ガ早クハナカッタカト云フ疑ガアルデアリマス、サリナガラ此所デ研究スベキ事柄ハ、歩哨ガ大道ヲ通過シテ居ル者ヲ、常ニ誰何シテ宜イカドウカト云フコトノ問題ガアルデアリマス、歩哨ハ全體ニ於テハ、歩哨自身ニ對シテ、乃至ハ歩哨ガ保護スベキ責任ヲ有ッテ居ル物件ニ對シテ、危害ヲ與ヘ、乃至危害ヲ加ヘントスル虞アルモノニ對スルノ外、兵器ノ使用ト云フモノハ許シテナイノデアリマスガ、其當時ニ於ケル狀況ハ午前四時、而モ携帶電燈ヲ照シテ來ラレタノデアリマスカラ、或ハ其間ニ於テ何等カノ錯誤ヲ生ジタ原因デアアルマイカト思ハレル、ソレナラバ日本ノ軍隊ガ外國ノ領土タル浦潮斯德ニ於テ、恰モ何方カ地方ノ警察權ヲ行使スルモノデアアルカドウカト云フコトノ問題モ、多ク人ノ疑ヲ起スコトデアリマス、是ハ會テ浦潮斯德ノ領事團長カラ、各國ヲ代表シテ、浦潮斯德ニ

於テハ外國人ノ生命ハ頗ル危險ナル、浦潮斯德ノ如キ所
デアリマシテ、夜中屢々、左様ナ殺傷事件ガ起ルデアリマス、
ソレ故ニ領事團長カラ外國臣民ノ危險ヲ防止スル保護手
段ヲ、日本軍ニ講ジテ貰ヒタイト云フ請求ガアツタデアリマ
ス、此請求ニ依ツテ日本軍ハ、浦潮斯德ノ治安ヲ維持スル
云フコトノ手段ヲ執リテ居ルデアリマス、又其旨ハ露西亞
ノ其當時ニ於ケル浦潮斯德ノ政治機關ニモ通報シテアル
デアリマス、又之ガ爲メニ日本軍ハ少カラズ犧牲ヲ拂
テ居ルデアリマス、此歩哨ノ問題ハ、歩哨ニ危害ヲ加ヘラ
レル虞ガアツタカドウカト云フコトガ闡明スレバ宜イノデアラ
ウト思ヒマス、又ソレニ依ツテ問題ノ解決ガ著クデアアル、ソレ
故ニ今日ハ此事件ハ唯ダ一片ノ外交的相談ニ依ツテ物ヲ
決メル、或ハ兩方ノ人ミガ寄テ決メルト云フヤウナコトデハ
ナイノデアリマス、是ハ國交ニモ重大ナ關係ヲ持ツノデ、又
事件ハ免ニ角向フヲ射殺シタノデ、其真相ヲ公明正大ニス
ルト云フコトハ最モ必要ナ事ト考ヘマスノデ、當該官憲ハ茲
ニ相當ノ手續ヲシマシテ、今日ハ軍法會議ニ於テ審理ヲ致
シテ居リマス、此審理ノ結果ハ、亞米利加ノ方デモ唯今待
テ居ル次第デアリマス、又其軍法會議ニ於テ審理ノ上其事
態ヲ闡明スルコト云フコトヲ以テ、亞米利加ノ方ニ於テモ其
處置ニ對シテ満足致シテ居リマス、又日本ノ軍憲ノ方ニ於
テモ、之ニ依ツテ其當時ノ理非曲直ハ明瞭ニナルト考ヘテ
居ルデアリマス、其結果ハ未ダ私ハ報告ヲ得メセヌ、何レ
報告ヲ得マシタナラ、其要旨ダケハ更メテ皆様ニ御報告申
スコトガ出來ヤウト思ヒマス、今日ハ其經過ノ概要ダケ申
シテ置キマス

○議長(與繁三郎君) 南君

(南鼎三君登壇)

○南鼎三君 諸君、本員ハ前寺内内閣ガ倒レテ、御大命
ガ原氏ニ降下スルノ時、我國最初ノ政黨内閣組織者デア
ル所カラ、國家國民ノ爲メニ、將又憲政ノ爲メニ祝盃ヲ舉
ゲタ一人デアアル、然ルニ其後現内閣ノ施政方針ナルモ、
見ルニ、却テ吾人ノ期待ニ反シ、超然内閣、官僚内閣ノ方
ハ國民ニ對シ或ハ地方的ニ比較的公平デアルト云フコトヲ
感ジタ、ソレデ其後議會ヲ累ヌルコト數回、殊ニ本議會ニ於
ケル原總理大臣ノ施政方針ナルモノヲ拜聴致シマスルニ、
政友會大會席上ニ於ケル抱負經綸ヨリモ、國政ニ對スル所
ノ抱負經綸ノ方ハ、簡單、粗略、無味、乾燥、殆ド貧弱デ、國
政ヨリモ黨員ヲ率ユル爲メノ宣言ノ方ガ、甚ダ内容ガ充實

シテ居ル感ガアル、是ハ申スマデモナク我ガ帝國議會ハ一種
ノ資本家階級ノ寄合デアツテ、未ダ幾千萬多數ノ國民ノ爲
メニ、善政ヲ施ク議會デアリト云フコトヲ證據立テ、居ル
デアアル、殊ニ昨日西村君ノ質疑ニ對スル大藏大臣ノ御答
辯中ニ、三千五百萬人ノ農民ガ資本家デアアル、水呑百姓ヲ
捉ヘテ資本家ダト云フコトハ、丁度山本農商務大臣ガ小
作人ヲ捉ヘテ、企業家ト云フコトハ、一對ダ(拍手起ル)總テ
ノ勞働、或機關ヲ又或仕事ヲコマ取リトシテ、請負ウテ居ル
者ノ勞働ニ對シテ、企業家ト云フ名稱ヲ附ケテ居ル、國家
ノ補助、政府ノ後援ヲ得ントスルナラバ、其内容ノ計畫ノ詳
細ヲ政府ニ申出デ、政府ハ之ヲ吟味シテ救済シ、援助スベ
キモノハ之ヲ爲シ、スベカラザルモノハ之ヲ爲サナイト云フ御
議論デアツタ、ソレハ一會社或ハ一組合ガ政府ノ援助ヲ求
ムル場合デアルケレドモ、國民ノ多數ガ困難ヲシテ居ルカ、今
如何ナル狀態ニ在ルカト云フコトハ、國務大臣タル者ハ常
ニソレダケノ考ヲ有タナケレバナラス、人類ハ集團ヲ造リ、國
家ヲ形成シテ、團體國情ヲ異ニスル、社會主義デモ、帝國主
義デモ、共產主義デモ、共和主義デモ、皆ナ大臣ト云フモノ
ヲ設ケテ居ルコトハ、國民ハ日夜孜々汲々其稼業ニ勵ンデ
居デ、サウ云フコトヲ陳情シタリ、運動スル間ガ無い、ソレデ
國務大臣ト云フモノハ、今如何ナル狀態ニ國民ノ或階級ガ
ナリツ、アルカト云フコトヲ、又研究セサケレバナラス、運動
ヲ待ツテ始メテ之ヲ吟味スルト云フガ如キハ、何タル言葉デ
アルカ、我國ニ於キマシテハ、陛下ノ輔導ヲ大責任ヲ有シテ
居ルト云フコトハ、下萬民ニ對シ指導誘掖スル國務大臣ト
云フモノハ牧民者デアアル、唯ダ待遇ノ手前、給料ノ手前ニ
其職務ヲ執ツテ居ル者デハナイ、斯ノ如キ事ハ即チ現在ノ議
會ハ申スマデモナク、此各大臣ハ皆特權階級、即チ貴族、富
豪、資本家、大地主、軍閥、官權或ハ政黨ヤラノ爲メノ議會
デアツテ、ソレノ爲メノ大臣デアアル(簡單々々)「ノウ」(簡
單デナク言ヘ)「シカリヤレ」(默)「ト呼フ者アリ」(簡單ト言
ヘ)「バ言フ程私ハ六時間程ヤリマス」(「ヒヤ」)「ト呼フ者ア
リ」(溫和シク聽イタラバ早ク濟ム)「後援者ガ附イテ居ルジ、
シカリヤレ」ト呼フ者アリ)「ソコデ斯ノ加キ性質ヲ帶ビテ居
ル所ノ——特權階級のノ性質ヲ帶ビテ居ル所ノ議會ニ於
テ、將又斯ノ如キ性質ヲ最モ完全ニ具備スル所ノ國務大
臣ニ對シテ、民衆的ノ意見ヲ吐クト云フコトハ、或ハ間違
居ルカモ判ラヌケレドモ、總理大臣ニ御尋致シタイノハ、普
通選舉ノ事ヲ尋ネタイノデアアル、我國ノ普通選舉ハ醜穢極

マル歴史ヲ有ツテ居ル、丁度明治四十一年本會ニ提出サレ
タガ、其時ニ握潰サレタ、四十二年三年ハ否決サレ、四十四
年第二十七議會ニ於キマシテ、各政黨ガ之ニ協力致シマシ
テ、我ガ衆議院ヲ通過シタ、其時ノ提出者並ニ贊成人ハ政
友會ノ人ミガ主デアツタ、殊ニ政友會ノ人ミハ通過後控室ヘ
行デ、普選成功ノ萬歲ヲ唱ヘタ、其晩市内ノ各所ニ於テ祝
賀成功ノ(笑聲起ル)通過、成功シタル祝賀會ヲ開イタコト
モアル、是ガ貴族院ニ廻サレタ時ニ、時ノ議員穂積八束博
士ニ依リテ、丁度原總理大臣ガ第四十二議會ニ言ウタヤ
ウナコトヲ言ウテ居ル、團體破壞論、或ハ危險論ヲ言ツタ、所
ガ我國ニ普通選舉ヲ施クト云フコトハ、全部一致シタニ拘
ラズソレカラ十年ノ後ニ於キマシテ、第四十一議會ニ於テ、
國民ノ參政權ニ料金ヲ取ルヤウニシテ居ル、十圓ヲ三圓
ニ低下シタルニ對シテ、私ノ甚ダ意ニ滿タヌノハ、國民黨並
ニ憲政會——憲政會ハ其三圓ニ對シテ一圓值切ツテ二圓ニ
シロト云フ、矢張其二圓ニ值切ツタ御連中モ、其二十七議
會ニ於テ御贊成ノ中、或ハ提出者ノ一人ニナツテ居ル、斯ウ
云フ醜穢極マルコトニナツテ居ル、殊ニ第四十一議會ニ於ケル
國民黨ノ如キハ、大會ノ宣言ニ普選——選舉權ノ普及ト
云フコトヲ申サレテ居テ、黨員ノ六名ガ普選ヲ唱ヘタ時ニ、
黨議ニ反スト云フ理由ノ下ニ除名シテシマツタ、家ノ子郎
黨、彼ハ皆ナ譜代ノ黨員、斯ウ云フヤウコトニナツテ居ル、憲
政會ノ如キハドウデアアルカト云フト、其四十一議會ノ時ニ
默デ居タ(質問ノ要旨ヲ言ヘ)「ト呼フ者アリ」
○議長(與繁三郎君) 南君成ベク質問ノ要旨ヲ御言ヒ
ナサイ(「ヒヤ」)「ヤレ」ト呼フ者アリ

○南鼎三君(續) 普選ヲ質問スル、普選ヲ質問スルニ、我
國ニ於ケル普選ノ醜穢ナル歴史ヲ吐イテ居ル(拍手起ル)
四十二議會ニ於キマシテ、憲政會ハ黨員ノ或人ミガ普選ヲ
唱ヘ出シタデ、幹部連中ハ反對ナサレタ、肯カナイ時ニハ脫
黨スルト云フノニ脅カサレテ、遂ニ「ヤ」ナガラ附イテ普選
ヲ謳ヒ出シタ(質問ノ要旨ヲ言フベシ)「簡單々々」ト呼フ
者アリ

○議長(與繁三郎君) 諸君、靜肅ニ——南君、政府ニ對
スル質問デスヨ

○南鼎三君(續) 判ツテ居ル——判ツテ居ル、丁度其時(議
長干涉スベカラズ)「ユックリヤレユックリ」ト呼フ者アリ)政友
會ノ方デハ、黨勢擴張ノ機ヲ祖ウテ居ル折柄デアアルカラ、丁
度其機會ヲ捉ヘタノハ原總理大臣 普選ノ是非ヲ國民ニ問

フト云フ、解散ノ口實ヲ與ヘタノデアル、ソレカラ原總理大臣ノ普選ニ反對サル、理由ガ、事々刻々變化シテ居ル、最初ハ恆産恆心説デアル、十圓ヲ三圓ニ低下スル時ニハ無產者ニ與ヘラレタ、恆産有ル者デナケレバ恆心ガ無い、ソレカラ第四十二議會ニ於キマシテハ危險説ヲ言フ、普選ヲ唱フル者ハ危險思想ノ包藏者デアル、此頃デハ何ト云ウテ居ルカト云ヘバ、抽象的ニ早尙デアル、本員ハ此早尙デアルト云フ事ニ就テ、御意見ヲ承リタイ、早イトカ、遅イトカ、丁度宜イトカ、云フコトハ、較ベタ言葉デアリマス、(ヒヤ)「ト呼フモノアリ」暑イ寒イモ、重イ輕イモ、較ベタ言葉、我國ニ普選ヲ實施スルノガ尙ホ早イト云フノハ、如何ナルモノニ較ベタノデアルカ、申スマデモナク世界ニ較ベタニ違ヒナイ、然ラバ世界ニ今如何ナル狀態ニナレ居ルカト云フコトヲ申上タイ、戰前マデハ國ラシイ國ガ二十四箇國アツテ、其中十八箇國ハ普選ヲ行ウテ居ル、行ウテ居ラヌ國ハ六箇國デ、露國ト支那ト、勃牙利ト、土耳其ト、塞爾維ト、サウシテ我日本タケデアル、戰爭中ニ勃牙利、土耳其、塞爾維ノ如キハ、殆ド亡國ノ狀態ニナッタ、支那ハ依然トシテ斯ノ如キモノデアル、世界廣シト雖モ——斯ウ云フ時ニ斯ウ云フ言葉ヲ使フノデアル、——世界廣シト雖モ、普通選舉ヲ行ウテ居ラヌノハ日本タケデアル、拍手、勃牙利ハ制限選舉デアリマスルガ、露國ハ異種異族ガ寄テ其國ノ純粹ノ人ハ甚ダ少イ、約六分位ヨリ無イノデ、國ヲ維持スル上ニ於テ、安寧ヲ保ツ上ニ於キマシテ、制限選舉ヲ置イテアルガデアリマス、一、二等國デ國民千人ノ中デ凡ソドレ程アルカト云ヘバ——參政權ヲ持テ居ルカト云ヘバ、諸歐ハ人口千人ノ中デ三百三十二人ノ參政權ヲ得テ居ル、亞米利加ハ二百九十三人五分、佛西國ガ二百七十六人、白耳義ガ二百三十八人、伊太利ガ二百二十三人、獨逸——軍國主義、帝國主義ノ獨逸ガ二百二十二人、和蘭ガ百三十一人四分、英國ガ百七十七人デアリマシタガ、戰爭中婦人ニ參政權ヲ與ヘテ、一躍三百五十人ニナッタ、此八國ハ一二等國、之ヲ平均致シマスト、二百五十七人ノ參政權ヲ得テ居ル、日本ハドレ程デアルカト云フト、五十四人デアリマス——千人ノ中デ五十四人、斯ウ云フ少數ノ國民ガ參政權ヲ有シテ居ルノデアル、勃牙利ノ如キ、最モ制限選舉ヲ置カナレバナラヌヤウナ國デモ六十五人デ、我國ヨリハ十一人マダ多イ位デアル、英國ハ此度印度ニ對シテ、彼ヲ支配スルニ結婚政策ガ駄目ニナッテ來タノデ、此頃參政權ヲ土人ニ與ヘルト云フコトニナッテ、印

度人二十一歳以上ノ者、ソレカラ住居ト財產ニ多少ノ制限ヲ加ヘテ居リマスゲレドモ、免ニ角印度ノ十一人ガ此二十一歳ノ者ハ、參政權ヲ得ルヤウニナッテ來タノデアリマス、原總理大臣ノ昨年ノ新年ノ所感ハ、所々種々ノ新聞紙ニ依テ紹介サレマシタガ、我國民ハ今マデト違ヒ、是カラ世界ニ順應シナケレバナラヌト云フコトヲ申サレテ居ル、國民ガ世界ニ順應スル爲メニ普選ヲ要求シテ居ルノデアリマス、(ヒヤ)「ト呼ビ、拍手スル者アリ」然ルニ政府者等ガ、政友會ノ多數ノ人々ハ、之ニ反對シテ居ルト云フコトハ、宣言或ハ其精神ト相反シテ居ル、本年ノ新年ノ年頭所感、或ハ又政友會ノ大會ノ宣言書、或ハ去ル二十二年大會議ニ於ケル所ノ原總理大臣ノ施政方針、所謂貧弱ニシテ無味乾燥ナル其中デ、吾人ノ耳ニ留タモノハ、國力ノ充實、ソレハ國民ノ努力ニ俟タナケレバナラヌト云フコトヲ言ッテ居ル、國力ノ充實ヲ國民ノ努力ニ俟ツト云フコトデアルナラバ、第一ニ普選ヲ施行シテ、サウシテ總テノ制度組織ハ民衆ノニ依ッテ、初メテ國力充實ヲ期スルコトガ出來ルノデアリマス、ソレデ尙ホ早イトセラレル上カラ私ハ論ジマシテ、世界ト較ベレバ斯ウダケゲレドモ、日本ハ五大強國ニナッタ、五大強國ニナッタト云フコトハ、國民ガ五大強國ニナッタノデアル、我政府、又軍閥者之ガ五大強國ニナッタト斯ウ思ッテ居ル、國民ガナッタ、國民ガ之ヲ然ラシメタ、國家ガ五大強國ニナッタケレドモ、國民ガマダ低能デアル、低級デアル、參政權ヲ與フル資格ガナイト申サレルノデアリマス(拍手起ル)之ヲ御尋シタイ、多分或ハ我國民一般、民衆、所謂國民ノ中デ特權階級ヲ引去タ後ニ殘テ居ル所ノ民衆ニ、參政權ヲ與フルコトガ出來ナイト云フコトデアルナラバ、ソレデ宜シイ、次ニ三圓以上ノ納稅者ノミニ參政權ヲ與ヘルト云フコトハ、國民ヲ選ヘルニ一方ヲ優遇シ、一方ヲ冷遇シテ居ルト云フコト、此區別ヲシテ居ルコトヲ御尋シタイ、本年御提出ニナリマシタ豫算ハ、十五億六千二百萬圓、一昨日来御質問ヲ、憲政會或ハ國民黨等ノ人々ニ依ッテヒラレテ居リマスルガ、主トシテ其使途ノ事ニ依ッテ御質問シテ居ラレルヤウデアリマスガ、私ハ其歲出ヨリモ先ツ歲入我ガ國家我ガ政府者ハ、國民ノ懷ロヨリ、如何ニシテ國費ヲ絞リ取リツ、アルカト云フコトヲ、御尋シタイ(笑聲起ル)税金ト云フ名ニ依ッテ國民カラ徴發シテ居ルモノハ七億五千萬圓此中デ地租——田地、畑、宅地、山林、原野、雜種地、國土ヲ分割私有シテ居ル所ノ、サウシテ法律ノ力ヲ以テ其私

有ヲ認メ、之ヲ保護シテ居ル、其保護料ハ地租デアル此地租、是等ハ僅ニ七千三百萬圓デアル、所得稅ハ二億六千八百萬圓、是モ一種、二種三種アリマシテ、此中ニハ莫大ナル無產階級デ、自己ノ勤勞ニ依テ納メテ居ル者モアル、營業稅——商工業者ヨリ取ル所ノ税金ハ四千八百萬圓、工業稅ハ僅ニ八百萬圓、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、此中デ酒ノ税金ハ如何程デアルカト云ヘバ、非常ニ驚キベキ數字ヲ示シテ居ル、勞働者ガ終日ノ勞ヲ慰スル爲メニ飲ム所ノ晚酌ノ一合ニ、三錢三厘ノ税金ガ課シテ居ル、一晚ニ三錢三厘月ニ一圓、年ニ十二圓ノ國費ヲ負擔シテ居ル、是ガ積リ積リテ一億七千萬圓ノ多額ニナッテ居ル、有產階級者モ飲ムデハナイカト申サレマセウガ、統計ノ示ス所ニ依レバ、有產者トスベキ者ガ百人中デ十八人ハ酒ヲ飲ム、無產者ハ百人中デ七十九人マデハ飲ム、此七十九人ト云フモノハ、全部勞働者デアッタト云フ統計ヲ示シテ居ルノヲ見マシテモ、一億七千萬圓ノ此大ナル國費ヲ負擔シテ居ルト云フコトハ、主トシテ勞働者階級デアルノデアリマス、通行稅ノ如キニ至リマシテモ、約一千万圓ニ及バンシテ居ル、是モ都市ノ勞働者ノ如キニ於テハ、半賃電車ニ乘ツテモ、一年ニ三圓六十五錢ノ國費ヲ負擔シテ居ルノデアル、織物稅ノ如キハ如何、貧乏人ガ一家族デ五人、年ニ百圓ノ衣服代ヲ拂フト云ヘバ、一人ニ對シテ約二十圓位ノ當リニナル、サウスルト貧乏人ノ一家族ガ、年ニ十五圓ノ國費ヲ亦此衣服ニ依テ負擔シテ居ルト云フコトニナッテ居ルノデアル、是ガ三千三百萬圓ノ多額デアル、又國民ノ榮養品タル所ノ砂糖、斯ノ如キモノモ四千二百萬圓、醬油、是モ六百萬圓、石油一百万圓、相續稅五百萬圓、關稅七千五百萬圓、是モ諸外國ニ於キマシテハ、一般消費稅ノ中ニ加ヘテ居ルノデアリマス、印紙ノ利益ハ九千万圓、是モ僅カナ二百万人ヤ三百万人ノ有權者ノミニ依ッテ、斯ウ云フ國費ヲ負擔シテ居ラナイ、其他專賣益金、鹽、殊ニ彼ノ勞働者ノ如キモノハ鹹イ物ヲ食ハナケレバナラヌ、貴族、富豪、體ヲ餘リニ勞働セナイ者ハ水臭イ甘タルイ物ヲ食ッテ居テ、ソレデ宜イノデスケレドモ、勞働者ハドウシテモ鹹イ物ヲ食ハナケレバナラヌ(笑聲起ル)此鹽、是等ノ益金、或ハ煙草ノ如キ、是ガ九千四百萬圓ノ多額ニナッテ居ルノデアル、郵便、電信、電話ノ收入ガ一億八千七百萬圓、斯ウ云フ工合ニ歲入ノ方ノ數字ヲ示サレテ居リマスルガ、日本ハ丁度間接ニ國費ヲ負擔シテ居ル者ハ、國費ノ約七割デアリマス、一般國民ノ負擔シテ居ル額

ハ——直接所謂俺ハ財産家デアル、俺ハ富豪デアル資本家デアル、大地主デアルト云フ者ヨリ、全部出シテ居ルモノハドレタデアルカト云ヘバ、僅ニ國費ノ三割デアル、七三ノ割合デアリマス、是ハ世界中デ一番差額ノ多いデアル、英國ハ最モヒドイ時デアッテモ四分六分デアッテ、六分マデ間接稅ヲ拂テ直接稅ハ四分デアッテタレドモ、「ロイドジョージ」氏ガ内閣ヲ組織シテカラ、間接稅ノ方ヲ三割、直接稅ノ方ヲ七割ニシタノデアリマス、世界中デ一番間接稅ノ低い國ハ英國デアル、一番高い國ハ日本デアリマス、戰前マデハ露西亞ハ一番高カッタ、國民一般ノ生活ヲ壓迫スルモノハ、間接稅、消費稅デアリマス、ソレデ露國ノ農民等ハ何等ノ保護ヲ受ケズシテ、大變高い消費稅ノヒツ付イテ居ル品物ニ依ッテ生活ヲシテ居ル、ソレ故ニ露國ノ農民ハ年中泣キ通シテ居、タ、勞働者ハ又同ジ境遇ニ置カレテ、此勞働者ハ聊カ知識ガアルノデ、泣カズシテ大ニ怒タノデアル、サウシテ「ザー」ヲ取捲ク所ノ總テノ特權階級者ハ晏如トシテ居ッテ、遂ニ國民ノ中ノ泣ク者ト怒ル者ト握手シテ、彼ノ恐ルベキ勞農政府ガ出來タノデアリマス（拍手）世界中デ一番一般民衆ノ生活ヲ壓迫スル所ノ此間接稅ノ高いト云フノハ、我が日本ガ其第一位デアリマス、殆ト露國ガ崩壞セントスル其五六年前ノ率ト、殆ト彷彿シテ居ルト云フコトハ、最モ注意ニ値スルト思フデアアル、彼ノ獨逸ノ如キ、千九百十一年丁度今ヨリ十年前ニ於テモ、間接稅ハ國費ノ五割七分デアリマス、直接稅ハ四割三分ノ比ヲ示シテ居リマス、今日ノ獨逸ハ斯ノ如クアリマセヌ、佛蘭西ノ如キト雖モ間接稅ハ五割三步、直接稅ハ四割七步、僅ニ三步ダケ間接稅ノ方ガ多イノデアリマス、日本ノ如ク七三ノ例ヲ示シテ居ルト云フガ加キハ、何レノ國ヲ搜シテモアリマセヌ、國費ヲ負擔スル上ニ於キマシテ、我總理大臣並ニ政友會ノ人々ハ、直接ト間接トニ區別シテ國民ノ一方ヲ優遇シ、一方ヲ冷遇シテ居ル、ハ八艦隊ヲ拵ヘルニシテモ、此ハ八艦隊ハ間接稅デ造ッタ、此ハ八艦隊ハ直接稅デ造ッタト云フ理由ガナシ、一般會計ニ繰入レテ、甲乙アル筈ハナシ、ソレヲ斯ウ云フ莫大ナル國費ヲ一般民衆カラ絞取りナガラ、サウシテ參政權ヲ與ヘズ、普通選舉ハ尙ホ早イト云フコトガ言ヘマスカ、直接稅ノ三圓ノ方ハ國家ニ取リテ必要デアッテ、間接稅ノ方ハ餘リ重ク視テ居ラスト云フ、其理由ヲ承リタイノデアル、而モ直接稅ト云フモノハ、昨日ノ有產者デ、今日無產者ニナッタナラバ、一厘デモ國費ヲ負擔スル所ノ義務ガナシノ

デアアル、是ハ唯タ國家ガ國法ニ依ッテ、其私有權ヲ認メ、サウシテ之ヲ保護スル所ノ保護稅ト云フモノガ、即チ直接國稅デアアル、間接國稅消費稅ト云フモノハ、恰モ空氣日光ニ税金ヲ課ケルヤウナ具合ニ、其日ノ必要品ニ先ツ前納シナケレバ、其物品ヲ得ラナイト云フノガ、即チ消費稅間接國稅デアアル、斯ウ云フ直接ト間接トヲ見マシタナラバ、法制ヲ設ケテ國家ヲ形成シテ居ル以上ハ、確ニ直接國稅ヨリモ間接ノ方ハ其量ニ於キマシテ、其質ニ於キマシテ、其手段ニ於キマシテ、遙ニ間接稅ノ方ガ價值ガアル、今日所得稅、營業稅、地租、是等皆ナ集メマシテモ、僅ニ三億九千萬圓、約四億圓デアアル、之ヲ皆ナ免稅ヲシテ上ゲテモ、間接稅タケデモ國ノ世帯ガ出來テ行クノデアアル、ケレドモ一般消費稅ヲ免稅スルト言ッタナラバ、我が國家ハ一日モ其世帯ヲ安全ニヤッテ行クコトガ出來ナイ斯ウ云フコトニナッテ居リマス、是程間接國稅ノ方ハ非常ニ苛酷誅求ナル性質ヲ帶ビタル徵收法デアリマス、我總理大臣ハ如何ナル理由ニ依ッテ、此國費負擔ヲサセテ居ル國民ヲ直接稅ト間接稅トニ依ッテ、區別シテ、其待遇ヲ異ニスル理由如何、是ガ第二ノ質問デアリマス、ソレカラ現内閣ハ思想問題ノ善導及社會政策的施設ニ關シテハ、各相當ノ計畫ヲ定メ、是ガ費額ヲ計上シテ居ルト云フコトヲ申サレテ居リマス、私ハ此思想善導ノ上カラ觀シテ、普通選舉ヲ主張スルモノデアリマス、我政府者ノ國民思想ノ善導ト云ヘバ、警官ヲ殖スト、サウシテ總テニ壓迫スルト云フコト、或ハ神社ヲ參拜セヨ、或ハ浪花節ニ依ッテ善導セントシテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ思想善導ニ就テノ費額ヲ搜シテ見マシタ所ガ、内務省ノ計畫ノ中ニ社會事業調査及獎勵費ノ増加トシテ五十萬圓程アリマスガ、其他ニ餘リ見付カリマセヌ、此頃全國ノ各小學校長等ニ對シ、旅費宿泊料ヲ與ヘテ諸所ノ神社ヲ參拜ヲ獎勵シテ居リマスガ、是ハ多分我が政府ノ思想善導ノ積リデアアルノデアリマセウ、ドウシテモ國民思想ヲ緩和スルト云フコトハ、思想善導ノ第一歩デアリマス、是カラハ各人類ノ集團ハ到處ニ於テ、階級爭鬭ヲスルノガ當前デアアル、階級爭鬭、是ハ如何ナルモノデモ生物デアアル以上、人間以外ノ物デモ行ヒツ、アルノデアアル殊ニ我國ノ如キハ地主デッタナラバ小作人ニ資本家デッタナラバ勞働者ニ、貴族デッタナラバ平民ニ、官僚デッタナラバ民衆ニ皆ナ挑戰的態度ヲ以テ壓迫シテ居ルノデアアル、現在我國ノ總テノ法制規則、國家ノ組織ハ、全然一方ノ特權階級ハ、一方ノ庶民階級ヲ壓迫シテ居

ル、即チ法律制度ノカラ以テ、サウシテ特權階級者ガ利益ヲ圖リツ、庶民階級者ハ非常ニ壓迫ヲ受ケツ、アルノハ、現今我國ノ狀態デアリマス、所デ原總理大臣ハ外來ノ思想、是許リヲ申サレ居リマスガ、外來ノ思想ガナクテモ、屹度内面カラデモ斯ウ云フ思想ガ起テ來ルノデアアル、思想ニ國境ナシト云フノガ定義デアリマス、殊ニ我國ノ新聞紙ハ長足ノ進歩ヲシテ、世界ノ出來事ガ其翌日ニ依ッテ報ゼラレテ居ル、今日ノ車夫馬丁ノ如キデモ、堂々ト論說ヲ讀ム時代ガ來タ、外國電報ヲ讀ム、有ユル日本ノ新聞ハ、殆ト日本ノ新聞デハナクシテ、世界ノ新聞ノ觀ガアルデハナシカ、之ヲ讀ム者ハ外國ノ何處其處ガ、比較的生活ガ樂デアアル、或ハ比較的自由デアリ、平等デアリ、其主張ガ通ル、然ルニ我國ノ制度ハ斯ノ如キモノデアアル、斯ウ云フコトヲ彼我對照スル、彼我對照シタ場合ニ於テ我國ノ特權階級者ト、サウシテ自己ト云フ者ヲ較ベテ來ル、何人モ自分ノ脚下ニ火ガ點キマスト、人カラ教ヘラレナクとも、自ら覺醒シテ來ルノデアリマス、是レ國民ノ自覺、茲ニ國民ガ自覺致シマスレバ、屹度動搖スルト云フコトハ理ノ當然デアアル、動搖シタナラバ、其國民思想ガ分裂スルト云フコトモ亦普通デアリマス、彼ノ露國ノ慘禍ハ、壓迫シタレタル其事ヲ自覺シテ、思想ガ動搖シ、遂ニ分裂シテ彼ノ恐ルベキ、吾人ノ最も排斥スベキ共產無政府主義ノ國トナッタノデアリマス、故ニ無線電信、或ハ海底電信ニ依ッテ、外來ノ思想デヤナイ、外國ノ出來事ヲ國民ノ前ニ展開シツ、アルノデアリマス、政友會ハ嘗テ國民思想問題ニ就テ、井上何ヤラ云フ博士ヲ招ジテ、我國ノ國民思想ノ程度如何ト云フコトニ就テ、其教ヲ乞ウタコトハ新聞ニ吾々ハ散見シタ（笑聲起ル）所謂最も眼界ノ狭イ、常ニ机ヲ前ニシテ居ル、而モ高天原式ノ博士、何ト言ウタカト云フト、我が國民思想ハ動搖シテ居ラナイ、サウシテ甚ダ安泰デアアル——政友會ノ人々ハ之ニ満足シタト云フコトハ、新聞ニ依ッテ紹介サレテ居リマス、我國ノ一大政黨デアアル所ノ政友會ガ、而モ學者モ、或ハ爲政家モ、隨分手腕ノ御立派ナ御方ガ揃ウテ居ル政友會ガ、一博士ニ依ッテ國民思想ノ程度如何ト云フコトヲ聽カナケレバナラスノデアリマスカ

○議長（奧繁三郎君） 南君ニ再ビ注意致シマス成ルベク質問ノ要旨ヲ御述ナサイ

○南君三君（續） 我國ノ——我國民ノ思想ハ、今如何ナル程度ニ在ルコト云フコトハ、是ハ何人モ斷言スルコトハ出來マセヌ、思想ハ暗流セリト云フコトハ、是亦定義デアリマ

スカラ、ケレドモ(笑聲起ル)ケレドモ動搖シツ、アリト云フコトダケハ確カダ、今迄ノ國民ハ金、モールヲ眺メレバ之ニ憧レ、富豪貴族ノ堂々タル邸宅ヲ眺メテハ、羨望ノ的トナタノデアリマスケレドモ、今日デハ怨嗟ノ的トナルデアリマス、殊ニ近來金、モールヲ纏ウテ、市中等ヲ徘徊シテ居リマスルト云フト、丁度五月人形ヲ見ルノ觀ガアリト國民ハ言ウテ居ルデアリマス、(拍手起ル)斯ウ云フヤウナ工合ニ、思想ハ民衆化シテ來ル、サウシテ要求スベキモノハ、即チ自己ノ比較的の自由平等、又ハ自己ノ主張ヲ徹サントスルコトデアル、此階級爭鬭ト云フモノハ、屹度起ル、現在ニ於テモ我國ニ起リツ、アルデアリマス、此階級爭鬭ヨリ、起ル所ノ思想ノ惡化ハ最も甚シイデアル、此思想ノ惡化ヲ善導ナラシムルト云フコトハ(笑聲起ル)一般ニ參政權ヲ與フルト云フコトヨリ外ニ手段ガ無イデアル(拍手起ル)印度ノ如キ—英國ノ如キハ、印度ニ對シテ最初ハ、彼ノ印度ノ王族ニ對シマシテ、印度ノ美人ヲ提供シテ結婚政策ニ依テ治メテ居ツタ、今日デハ之ニ満足スルコトハ出來ヌ、印度人ニ對シテ參政權ヲ與フルヤウナコトニナリテ來タ今日デアル、而我ガ五十六萬萬人ノ國民ハ、印度人ノ如キデハナイ、朝鮮人ヤ臺灣ノ土人ガ、吾ニ參政權ヲ與ヘヨト叫ンデ居ルデアリマス、萬世一系何等混血シナイ異種族ハ一人モ混テ居ラナイ帝國ノ臣民、陛下ノ赤子ガ即チ吾ニ參政權ヲ與ヘヨト望ンデ居ルデアリマス、最も世界ノ列國ノ中デ半數位シテ居テ、マダ日本ガ其仲間ニ至ラヌト云フノナラバマダシモ、先程申上ゲタ如ク世界中デ、而モ五大強國ノ我國ガ、國民ニ對シテ參政權ヲ與ヘテ居ラナイト云フコトハ、如何ナル理由デアルカト云フコトヲ御尋シタイデアリマス、搔擽ンデ申シマスレバ、第一ハ世界ニ比較シテマダ早イト申サレノハ、世界ニ比較シテアルカ、或ハ臺灣ヤ朝鮮人ニ比較シテ居ルデアルカ、比較ノ言葉、早イト云フ—第二ニハ直接納稅者三圓ノ者ニ參政權ヲ與ヘテ、間接ノ國費負擔者デアル所ノ多數ノ民衆、無產者ニ何故參政權ヲ與ヘナイデアルカ、第二ノ問デアリマス、第三ハ所謂思想ヲ善導スルト云フコトハ、何等ノ設備ヨリモ先ヅ參政權ヲ與ヘテ、我ガ立法部ヲシテ民衆化ナラシムルト云フコトガ第三デアル間ク所ニ依レバ此度陪審制度ヲ設ケルト云フコトデアル、誠ニ結構ナ事デアルカ、陪審制度ハ要スル司法權ノ民衆化デアリマス、司法行政ノ如キハ後天的デ、立法ハ先天的デアル、其先天的ノ立法ヲ民衆化セズシテ、後天的ノ司法權ヲ

民衆化スルト云フコトハ、我ガ政府者ハ本末ヲ顛倒シテ居ルデアアル、(其通り)ト呼フ者アリ(拍手起ル)民衆化セザル所ノ此議會ニ於テ(ノウ—)馬鹿言ヘ—懲罰ダジト呼フ者アリ)民衆化セザル所ノ特權階級者等ノ此議會ニ於テ(馬鹿言ヘ)ト呼フ者アリ)司法權ノミヲ民衆化セヨト言フガ如キハ大ナル誤リデアリマス、(拍手起ル)又勞働立法總デノ事ハ、吾ニハ常ニ勞働問題ヲ研究シテ居リマスルガ故ニ、勞働立法ノ一日モ早カラントヲ希望スルデアルケレドモ、立法部ヲ民衆化セザル所ノ勞働立法ハ、實ニ變挺ナ物ガ出來テ來ル、彼ノ工場法如何數年前ニ出來タ所ノ工場法、名前ダケハ工場法ト云テ、世界共通ノ名稱デアリマスケレドモ、之ヲ實施スルニ就テ、約十年程掛テ、其十年程ト云フノハ、資本家ノ集團タル所ノ彼ノ各地ノ商業會議所ニ廻シテ答案ヲ求メ、此答案ノ結果、ア、云フ骨拔ノ鰻ノヤウナ、殆ド體ヲ成シテ居ナイヤウナ工場法ガ今日出來テ居ルデアリマス、斯ノ如ク國民參政權ノ立法部ヲ民衆化セナイ所ノ總テノ法案ト云フモノハ、眞ニ權威ノ無イモノデアリマス、私ハドウシテモ先ヅ此立法部ヲ民衆化シテ、普通選舉ハ施カネバナラヌ、世界ハ今ヤ舉ゲテ我國ヲ排斥シテ居ル(内容空疎ナリ)ト呼フ者アリ)國難ハ刻一ニ近ヅイテ居リマスルガ、私ハ八八艦隊ノ造營ヨリモ、或ハ要塞ヲ築クヨリモ、武器ノ充實ヨリモ、先ヅ國民思想ヲ充實シ、國民思想ヲ統一スルト云フコトガ、最も必要デアラウト考ヘルデアリマス、(ヒヤ—)ト呼フ者アリ)國民思想ノ統一ト云フコトハ、ドウシテモ此普通選舉ヨリ外ナイデアリマス、所謂思想上ニ就テ、此普通選舉ハ何等ノ關係有ルヤ無キカト云フコトヲ御尋シタイ、次ハ外務大臣ニ御尋致シマス(笑聲拍手起ル)

○議長(奧繁三郎君) 靜肅ニ—

○南鼎三君(續) 日英同盟ハ大正三年ノ九月ニ改訂ニナデ居リマス、是ハ恰度四十四年ニ布カレマシタ—(此方ニハ分ラヌヨ、私話ナラ官邸ニ行ケ、靜肅ニ)ト呼フ者アリ)ドウモ—(ソナモノニ構ハヌデドン—ヤリ給ヘ)ト呼フ者アリ、笑聲起ル)日英同盟ハ片務的ノ嫌ガアリマスガ、今我ガ日本ガ亞米利加ト開戰スルト云フ場合ニハ、英國ハ何等攻守同盟ノ契ガ、此日英同盟ニ依テ爲サレテ居ラナイト思フ、國民ノ多クハ日米ガ開戰スレバ、英國ガ參加スルト云フコトハ、大抵サウ思フデ居ル、日本ハ其理由ニ依テ彼ノ獨逸ニ宣戰ヲ布告シタ、宣戰布告ハ文章ガ既ニサウナッテ居

ル、同盟ノ契ニ依テシタノデアル、サウシテ彼ノ青島ニ向テ軍ヲ進メタノデアリマス、故ニ國民ノ多クハ左様ニ思フデ居ルガ、現在ノ日英同盟ハ片務的デアル、之ヲ國民ノ多クハ知リマセヌ、最も徹底スルヤウニ、此如何ナル程度デアルカト云フコトノ言明ヲ願ヒタイデアリマス、次ニ英國ハ申スマデモナク、形ダケデモ同盟デアアル、此英國ノ下院ノ議員ガ十數名集リマシテ、サウシテ朝鮮人同情會ト云フモノヲ英國ニ設ケタ、サウシテ朝鮮人ヲ自分等ノ邸宅ニ引入レ、或ハ朝鮮ニ其支部ヲ置イテ、不逞鮮人ヲ煽動シテ居ルト云フコトガ新聞紙ニ依テ傳ヘラレテ居リマスガ、我ガ外務大臣ハ斯ウ云フ事ニ就テ、如何ナル御意見ヲ有シテ居ラレタ、ソレカラ米國ノ資本家團ノ或者等ガ、彼ノ西伯利ニ於テ富源多大ノ土地ヲ永久ニ涉テ租借シテ居ル、即チ物資交換ノ條件ノ下ニ租借シタト云フコトハ、吾ニハ新聞紙ニ依テ知ツタノデアル、我國ハ二千ノ生命ト、大枚六億ノ大金ヲ投ジテ、寸土尺地モ得テ居ラナイ、サウ云フ米國ガ西伯利ニ於テ多大ナル土地ヲ得タト云フコトノ眞偽ヲ御尋シタイデアリマス、先ヅ外務大臣ニ對シテハ是ダケ、次ニ内務大臣ニ御尋シタイ、昨年ノ臨時議會開院式ノ其當夜丁度九時頃、我ガ帝國ノ立法部タル此衆議院ノ正門ハ、爆裂彈ニ依テ破壊サレタコトガアリマス、ソレデ其犯罪人ガアルニ定マデ居ルガ、其犯罪人ハ既ニ檢舉サレタルモノデアルカ否カト云フコトヲ御尋致シマス(笑聲起ル)獨逸ニ於キマシテハ、三回斯ウ云フ事ヲ繰返サレタ、彼ノ「ビスマルク」ハ官僚式政治家トシテ、非常ニ立派ナ手腕ヲ有サレタ人デアリマス、反問苦肉ノ謀ヲ以テ、所々ノ官署ニ獨逸政府者自ラ爆裂彈ヲ投ジテ、サウシテ斯ノ如ク危險デアルト云フ口實ヲ自ラ作テ、サウシテ民衆ヲ壓迫スル爲メニ警官ヲ殖シタ、或ハ交通ヲ嚴重ニ取締ツタ、斯ウ云フ事ヲ獨逸ノ「ビスマルク」ガ往々ニシテ行ツタノデアリマス、從來我國ニ於キマシテ爆彈事件ノアツタ時ニハ先ヅ新聞紙ノ記事ヲ差止メタ、サウシテ犯罪人檢舉ニ便ナラシメタ、是ハ當然ノ事デアリマセウガ、彼ノ衆議院ノ正門ニ限テ記事ヲ差止メヌバカリカ、丁度九時ノ出來事デ、夕刊ガ出テシマッタ後デアリマスカラ、朝刊ニ依テ紹介シヤウト斯ウ思フデ居タ各新聞紙ニ、寸時モ早ク號外ヲ以テ之ヲ市民ニ知ラシメヨト云フコトヲ、我ガ官憲ガ慈惠シタト云フコトデアリマス、犯罪人ガ今ニ舉ラナイ、一體多數ノ警官ハ何ヲシテ居ルデアルカ、他ノ所ナラバ宜シイガ、苟モ國民ノ民意ヲ代表スル所ノ立法府ガ斯ノ如ク脅威サレタノデ

アル、ドウシテモ質問セザルヲ得ナイノデアリマス、而モソレハ
盛夏ノ丁度夜ノ九時頃デアリマス、夏ノ午後九時ト申セ
バ涼ミニ往復スル人、而モ日比谷公園ガ近ク、南佐久間町
ノ停留所ハ、僅ニ此正門カラ四十間許リノ所デアル、其角
ノ所ニ制服警官ガ二名立ッテ居、而モ日比谷公園ノ西
ノ角ノ所ニハ制服巡査ガ二名、其一名ハ交通警察ノ腕章
ヲ卷イテ、自動自轉車ヲ持ッ、アツタ、爆發ノ其時ニ
私ハ此附近ノ人々ニ依ッテ確ニ聞イタノデアル、サウデアラウ
冬ノ夜ノ九時頃デアラウナラバ、猫一匹通ラヌト云フ形容ガ
申サレマス、ケレドモ、夏ノ午後九時頃ノ出来事、人通りハ多
イ開放的ノ夏ノ夕ニ於テ爲サレタル彼ノ爆發犯人ガ、未ダ
捕縛ニ至ラヌト云フコトデアッタナラバ、此犯人ハ永久ニ捕
縛スルコトハ出来ナイノデアラウト考ヘル、ケレドモ何人ガ之
ニ投ジタ者ノアルニ極ッテ居ル、若モ無イト云フナラバ永久ニ
無イ、是ハ或ハ我當局者ハ、彼ノ獨逸「ビスマルク」例ヲ採
テ、政府者自ラ爲シタコトデアラウカ知ラヌト考ヘル、若モ犯
罪人ヲ捕縛スルコト云フナラバ、先ヅ内務大臣ヤ警視總監ヤ
捕縛シナケレバナラヌコトニナルノデアル、此犯罪人ハ捕縛
シ得タカ否カト云フコトヲ御尋シタイノデアリマス本員ノ質
問ハ是ダケデアリマス

○議長(奥繁三郎君) 原總理大臣

○國務大臣(原敬君) 只今南君ノ御質問ガアリマシタ、

隨分長キ御演説デアリマシタケレドモ、ト邊ガ御質問デア
ルカ能ク分リ兼ね、大部分ハ御議論ノヤウニ承ッテ、御議
論ニ就キテハ無論御答フスル必要ハ無イノデアル、ソコデ
ト邊ガ御質問デアラウカト段々勘考致シマシタガ、要スルニ
普通選舉ヲ何故ヤラヌカト、斯ウ云フ事ヲシ、ソレナラバ
最早議論ノ定ッテ事デアアル、第四十二議會ハ之ガ爲メニ解
散セラレタ、總選舉ヲ行ヒ、第四十三議會ヲ既ニ經過シテ
居ル、漸次選舉權擴張セラレテ、終ニハ所謂普通選舉ニモ
ナリマセウケレドモ、今日ノ時代ニ於テ何故之ヲ許サヌカ
ト云フコトハ、國論一定シテ居ル、此邊ニ就テ御提案デモ
アルト云フナラバ別段デアリマスガ、政府ニ向ッテト邊ヲ御
尋ニナルノカ分ラヌ、又外國デモ多クヤデ居ルカラ、日本ニヤ
ラヌノハ惡イデヤナイカト云フ御議論デアリマシタケレドモ、
是モ申スマデモナク外國ガ然ルガ故ニ、日本モ亦然ラザルヲ
得ズト云フコトハ、國情ヲ顧ミテハ其論ニ敬服ハ出来ヌ、又
直接國稅ヲ拂フ者ダケ認メテ、間接國稅ヲ認メナイ理由ハ
ドウ云フ譯カト云フ御説モアリマシタ、是モ御議論デアリマ
ス、御議論ナラバ強テ争フ必要ハナイノデアリマス、ケレドモ
サウ云フ論ハ、先般普通選舉ヲ論セラレル時ニモ出タコト
デアリマス、併シ間接國稅ヲ拂フ者ヲ認ムルト云フナラバ、

老人モ、子供モ、女モ、男モ、總テ間接國稅ハ拂フノデアリマ
スカラ、總テノ國民ニ權利ヲ與ヘルト云フコトニ歸著シナケ
レバナリマセヌガ、是ハ何處デモ行ハレテ居ル法制デハナイ
ノデアリマス、斯ウ云フヤウニ考ヘマスルト、無論御議論ニハ
敬服モ出来マセヌガ、更ニ又質問ノ要點ヲ了解スルニ苦シ
ムノデアリマス、私ハ唯タ長イ御演説中ニ、此邊ガ御質問デ
アラウカト思フ一二ノ點ニ於テ、御答ヲシタ次第デアリマ
ス、尙ホ足ラザル所アリトスレバ、何カノ形式ニ於テ明瞭ナ
ル御質問ヲ下サルコトヲ願ヒマス、(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 外務大臣

○國務大臣(伯爵內田康哉君) 唯今南君ヨリ、日英同

盟ノ事ニ就テ御質問ガアリマシタ、日英同盟ハ片務的デア
ルト云フ御質問ノヤウニ聽取リマシタ、其御答ノ前ニ、大正
三年ニ改訂セラレタコト云フヤウニ御話デアリマシタガ、ソレ
ハ或ハ違ッテ居ラダラウト思フ、私ノ記憶スル所デハ明治四
十四年デ即チ、今年ガ十年目ニナル、大正三年ニ改訂セラレ
タル日英同盟ナラモ、私ハ存ジナイ、明治四十四年ニ依ッ
テ御答致シマス、(拍手起ル)(南君三君四十四年ト言ッ、
速記録ニハサウアル答ダ「下呼フ」サウデヌガ、ソレハ私ガ聽
違...

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ...

○國務大臣(伯爵內田康哉君)(續) 此日英同盟ハ決シテ

片務的デアリマセヌ、多分日英同盟條約ノ第四條ニ關シテ
言ハレタコトデアラウト思フ、第四條ニ、兩締盟國ノ一ガ、第
三國ト總括的仲裁條約ヲ結ンダ場合ニ於テハ、此同盟ニ
於ケル援助ハ適用シナイ、同盟國ノ一方ガ第三國ト交戦ヲ
スル場合ニ於テハ援助ヲシナイ、斯ウ云フコトニナッテ居ル、
是ハ日本ニモ適用サレル譯デアアル、日本ガ總括的仲裁裁判
ヲ結ンダ場合ニ於テハ、恰モ英吉利ガ他ノ三國ト總括的
仲裁裁判ヲ結ンダ場合ト少シモ變リハアリマセヌ、日英同
盟ハ總テ對等ノ基礎ニ於テ締結セラレテ居ル次第デアリマ
スカラ、左様御承知ヲ願ヒタイ、ソレカラ第二ノ點ハ何カ英
吉利ノ下院議員ガ不逞解人ヲ養テ、煽動ヲシテ居ルト云
フ御質問ノヤウデアリマシタガ、サウ云フ報告ニハ接シテ居
リマセヌ、又私ハ我が同盟國ノ下院議員トモアラウ人モガ、サ
ウ云フ事ヲスルト云フコトヲ信ズルコトハ出来マセヌ、恐ラ
ク各地ニアリマス通り、朝鮮人ニ同情ヲ表シテ、世話スル人
ハ一二アルコトデアリマス、朝鮮人ノ世話ヲシテ居ル團
體デアルカモ分ラナイ、ソレカラ最後ニ亞米利加人ガ西伯
利ニ於テ莫大ナル土地ヲ得タカ、利權ヲ得タカ云フ御
質問デアリマシタガ、是ハ例ノ「ヴァンダーリッヅ」ノ獲タト稱
セラレル所ノ利權ニ關シテノ話デアラウト思フ、是ハ今日ハ

モウ殆ド音沙汰ハアリマセヌガ、一時ハ歐米ノ新聞等ニ喧
傳セラレテ評判ノ種ニナツタ、其當時諸種ノ報告ニハ接シテ
居リマス、ケレドモ、何レモ確タル報告ハアリマセヌ、或ハ「レ
ニ」政府ガ日米ヲ離間スル爲メニ斯ウ云フ事ヲ企テタノ
デアリマス、或ハ「ヴァンダーリッヅ」ノ得タ所ノ利權ハ、確カナモ
ノデハナイトカ、其條約書ヲ見タイト追ッテモ、條約書ヲ見セ
ナイ、斯ウ云フ報告ガアル、兎モ角モ亞米利加ノ當局ニ於
テハ、此事柄ヲ承認シテ居リマセヌ、確カ國務省カラ何カ聲
明見タヤウナモノヲ出シタヤウニ覺エテ居リマスガ、詰リ亞
米利加ニ於テハ、未ダ勞農政府ハ認メテ居ナイノデスカラ、
此勞農政府ト亞米利加ノ一個人トノ間ニ結ンダ契約ナン
カハ、取上クベキ筈ノモノデハナイト、斯ウ云フ意圖ヲ發表
シタヤウニ覺エテ居ル、是デ御質問モ答ヘタコト、思ヒマス、
(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 陸軍大臣

○國務大臣(床次竹二郎君) マダ爆發事件ハ檢舉ハ出

來テ居リマセヌ、何カ御推測ガアツタヤウデヌガ、貴方ハ絶對
自由平等說ヲシク承リマスガ、又階級闘争ヲスベキモノ、
如キ御考ヲ持ッテ居ラレル、ノデハナイカノヤウニ思フ、或ハ
租稅ハ緩取ルモノデアルカノ如ク御考ノヤウデアリマスガ、私
ハ此邊ハ意見ガ違フノデ自然御推測ニハ御同意ハ出来ナイ
(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 下岡忠治君

○下岡忠治君 陸軍大臣ノ御出席ヲ要求致シマス

○議長(奥繁三郎君) 何大臣デスカ

○下岡忠治君 陸軍大臣

○議長(奥繁三郎君) 今通知シマシタガ、他ノ大臣ニ對

スル質問演説ガアルナラバ、演説ヲ御始メ下サタラ如何デ

スカ

○下岡忠治君 御出席下サルコトガ分ッテ居レバ、御出席

ヲ待ッテ致シマス

○議長(奥繁三郎君) 下岡君、陸軍大臣ハ今直チニ出

席ニナルヤウデヌ、ソレデ尙ホ總理大臣、海軍大臣、文部大

臣ニ對スル御質問モアルヤウデスカラ、是等ノ大臣ハ出席ニ

ナッテ居リマス、登壇ニナッタラドウデス

(下岡忠治君登壇、拍手起ル)

○下岡忠治君 本員ハ田中陸軍大臣ノ進退ニ關スル問
題及近頃世ニ八釜シキ學校ノ昇格ニ關スル問題、此二ツ
ノ點ニ就テ質問ヲ試ミル積リデゴザイマス、先ヅ第一ニ陸相
ノ進退問題ニ關係シテ御尋ヲシテ見タイト思ヒマス、凡ソ
我國開闢以來事端ヲ外ニ構ヘテ、兵隊ヲ異域ニ出シタコト
ハ古來數十百回ノ多キニ上ッテ居ルノデゴザイマスガ、殆ド
例外ナク我國威ヲ海外ニ輝カシ、又我國運ノ進展ニ貢獻

スルコトが出来タノハ、御互ニ大和民族ノ誇リトスベキ所デア
アラウト信ジマス、然ルニ悲シイ哉大正ノ御代ニナッテ、西伯
利ノ出兵事件ハ、徹頭徹尾失敗ニ終テ居ルノデゴザイマス
(拍手)我光輝アル日本ノ歴史ヲ確ニ汚シテ居ル、殆ト空前
ニシテ又絶後トモ謂フベキ程ノ大失敗、大不利益ヲ齎スニ
至タコト云フコトハ、我々國民ト共ニ甚ダ遺憾ニ存ズル所デア
アリマス(拍手)此事件ノ失敗ノ一伍一什ト云フモノハ、殆
ト今日天下公知ノ事實デゴザイマシテ、私ガ茲ニ喋々スル
必要ハ無イ位デアリマスガ、公平ナル第三者ノ目カラ見レバ
殆ト何人モ是ガ成功ヲシタト見テ居ル者ハ無イ、海軍、陸軍
ノ軍人諸君ニ聞キマシテモ、殆ト軍人社會ノ輿論トシテ、實
ニ散々ナル失敗ニ了タコト云フコトハ、誰モ言フテ居ル所デア
リマス、現内閣ノ擁護者ノ人モト雖モ、實ニ此點ハ、困タ事
デアルト云フコトハ、誰シモ言フテ居ルコトデ、例ヘバ最モ忠
實ナル擁護者トモ謂フベキ、元「オムスク」政府ニ駐在シテ
居タ全權大使ノ加藤恆忠君ノ如キハ、明ニ此出兵ノ失敗
ナリシ事ヲ自白サレマシテ、一日モ早ク之ガ撤兵ヲ斷行ス
ルト云フコトハ、必要デアルト云フコトハ公然ト言フテ居ル位
デゴザイマス、斯ルガ故ニ如何ニ堅固ノ辯ヲ弄スルニ巧
ミナル原總理大臣ト雖モ、恐ラクハ此西伯利出兵ト云フコ
トニ就テハ十分ニ之ヲ辯護スルノ勇氣ト御言葉トハ無カラ
ウト、私共ハ信ジテ居ル所デアリマス(拍手)第一ノ過失ハ
何所ニアラカト云ヘバ抑、出發點ヲ誤タノデアリ、出兵ノ發
端ニ誤リガアタノデゴザイマス、出兵ノ起リマシタノハ、申
迄モナク、大正七年ノ八月、即チ前寺内閣ノ時デアタノ
デハアリマス、併シナガラ免ニ角現總理大臣モ、當時ハ外
交調査會員トシテ、所謂應機啓沃ノ大任ヲ持テ居リマシテ、
寺内内閣ノ此施設ノ方針ニ就キマシテハ、協賛ヲ與ヘテ居
タト云フコトハ疑フコトハ、出來ヌノデアッテ、前内閣ノ時代ノ
事柄デアラカラ、隨テ自分ニ責任ガナイト云フヤウナ口吻ハ、
決シテ申サルベキ筋合ノモノデアハナイト私共ハ信ジテ居リマ
ス(拍手)言フ迄モナク兵ハ國ノ大事存亡ノ道、隨テ此初
ヲ慎重ト云フコトハ、非常ニ肝要ナコトハ申ス迄モナイノデ
アリマシテ、所謂名正シク勢已ムヲ得ザルニ至テ始メテ
兵ヲ出スト云フコトハ、是ハ苟モ局ニ當ル者ノ、爲サナクテハ
ナラヌ事デアラウト思ヒマスガ、昔カラ無名ノ師ヲ起シ、或ハ
勢ニ逆ウテ事ヲ起シテ成功シタ例ト云フモノハ、會テ聞イタコ
トハナイ譯デア、然ルニ西伯利ノ出兵ト云フコトニ就テ考ヘ
テ見レバ、抑其ノ起リノ動機原因ト云フモノガ、何レニ在
タカト云フコトヲ考ヘテ見ルノニ、名ハ所謂米國ヨリ提議シタ
所ノ「チエック」援助ト云フコトニ在、タコトハ、相違ナイコトデ
アルケレドモ、其實ハ——其實ハ何レニ在、タカト申シマスレバ、

詰リ過激派ヲ抑ヘテ反過激派ヲ援ケ、所謂西伯利ノ秩序
ヲ維持シテ我ガ日本ノ勢力——或一部ノ勢力ヲ其方面ニ
扶植シヤウト云フ考ガアタコトハ爭フコトノ出來ナイ事實
デア、アルデアリマス、(拍手起ル)本員ハ列國ガ頻リ日本ニ
領土ノ野心ノアツタモノデアルト云フコトヲ疑フテ居ルコトヲ
非常ニ遺憾ニ思フ、如何ニ無謀ナル軍閥者流ノ人モト雖モ
日本ガ西伯利ヲ併吞シヤウト云フヤウナ、大ソレタ考ノナカラ
タコトデアルト云フコトハ、私共信ジテ居ルデアリマス、併
ナガラ免ニ角軍閥方面ノ人モカラ言ヘバ所謂自主の出兵、
西伯利ノ内治ニ干渉シ、過激派ヲ抑ヘテ反過激派ヲ援ケ
ヤウ、即チ是ハ内政ニ干渉スルコトニナル、一種ノ自主の出
兵デアルト云フコトデア、タコトハ、疑フコトが出来ナイノデア
リマシテ、當時ノ外交ノ當局者ハ幾分其ノ説ニカブレテ居
タコトハ事實デア、併シ免ニ角外交調査會ニ於テ、原現
總理大臣モ調査會ノ一員トシテ自主の出兵ハイカヌ、何
處迄モ亞米利加カラ要求スル所ノ、協調の出兵デナクテハ
ナラヌト云フ主張ヲセラレテ、此水ト油、全ク柄鑿相容レザル
所ノ二ツノ方針ヲ無理無體ニ捏合ハシテ、而シテ
國家ノ大事ヲ決定シタノデアリマスカラ、是カラ先ヤ
ル事、スル事、爲ス事、始終所謂政令ニ違ヒ出デマシテ、
總テノ點ニ於テ、二重外交ノ弊ト云フモノヲ起スニ
タノハ、即チ此發端ヲ誤シタカラデアラウト信ジテ居リ
マス、(拍手起ル)第二ノ過失ハ出兵後ニ於ケル所ノ至
對西伯利方針ガ始終動搖シテ居ルト云フ點ニ在、タ
吾々ハ究極ニ於テハ、必ズ此出兵ノ事ガ失敗ニ終ルニ違ヒ
ナイト云フコトヲ、豫想ヲ致シテ居リマシタカラ、終始一貫シ
テ、撤兵ヲ一日モ早ク行ハナクテハナラヌト云フコトヲ主張
シタノデアリマス、併ナガラ政府當局者ノ目カラ見レバ、善カ
レ惡カレ既ニ一旦國ノ方針ヲ定メテ海外ニ兵ヲ出シテ居ル
上ハ、寧ロ思切テ、或ハ非常ナル犧牲ヲ拂フ必要ハアルカ
ハ知レヌケレドモ、何所マデモ過激派ヲ抑ヘテ、反過激派ヲ
援ケルト云フ方針デナラ行クデ、斷乎トシテ其方針ヲ
貫徹スルベク努力スルト云フコトガ、順序デアタノデアラウ、
然ルニ初ハ脱免ノ如ク、終リニ至テハ所謂處女ノ如キモノ
デアリマシタ、非常ニ勢ヲ以テ出兵ノ方針ヲ決定シテ之ヲ
行ヒナガラ、後ニナッテカラ所謂躊躇逡巡ヲシテ、右ヲ見タ
リ、左ヲ見タリ、始終出兵ノ方針ガ動搖シテ居、タコト云フコト
ハ、疑ヲ容ル、コトノ出來ナイ事實デアリマス(拍手起ル)
外務省側ノ人モハ、諸外國カラ色ニナ横槍ヲ入レテ、非常ニ
非難ヲ蒙ルガ爲メニ、何所マデモ内政ニ干渉スルト云フヤウナ
コトハ之ヲ避ケテ、而シテ一日モ早ク撤兵ヲ行ハナクテハナラ
ヌト云フコトヲ考ヘル、一方軍人側ノ方カラ申シマス、遣

タコトハ遣タガ、治マリガ付カナイ、僅カノ兵隊デ非常ナル
廣イ區域ノ治安ヲ維持シヤウト云フコトデアリマスカラ、勢
ヒ其作戰上ニ無理ナル事ヲヤラザルヲ得ナイト云フコトハ、
當然ノ事デゴザイマス、サ其結果ハ如何デア、アルカト云ヘバ、
過激派ノ方ノ側デハ一旦日本ヲ敵ニシテ居ルガ、日本ノ兵
隊ガ出テ來ル所ノモノハ割合ニ少ナイノデア、アルカラシテ、勢
ヒ日本ニ與ニシ易シト云フ考ヲ持ツノハ當然、即チ日本ニ對
シテ非常ナル輕侮ノ念ヲ以テ之ヲ迎ヘルト云フ結果ヲ生ム
ニ至タコトデアリ、一方ニ於テハ反過激派ノ人モカラ見レ
バ折角類ニ思フテ居タ所ノ日本ガ援ケテ呉レルヤウデア
テ、中途デハ其援ヲ止メル、援助ヲシナイ、實ニ類ニ甲斐ノナ
イ所ノ國デアルト云フ感ジヲ起シマシテ、又此方面カラモ、
非常ニ日本ヲ怨ムト云フヤウナ結果ヲ生ズルニ至、タノデゴ
ザイマス、所謂蛇蜂取ラス、半上落下、實ニ拔キモ差シモナラ
ズト云フヤウナ、慘況ヲ呈スルニ至、タノガ、即チ是ガ第二ノ
過失デアリマス(拍手起ル)更ニ第三ノ過失トシテハ、昨年
ノ十一月ニナッテ既ニ「オムスク」政府ハ倒レ、到底日本ノ僅
カノ兵隊ノ力ニ依テ過激派ヲ壓服スルト云フヤウナ事ハ、
思モ寄ラヌ事ダト云フコトガ分タガ爲メニ、流石ノ軍閥ノ
方面ニ於テモ最早匙ヲ投ゲマシテ、遠カラズ之ガ撤兵ヲ行
ハウト云フ方針ヲ決定スルニ至、タノデゴザイマス、併ナガラ
此方針ヲ決定シテ置キナガラ、尙ホ此空前ノ失敗ヲ糊
塗スルガ爲メニ、未ダニ御承知ノ通り滿洲ニ、滿洲附近ノ
爲メニ二個師團ト云フ大兵ヲ駐在セシメテ居ルト云フヤウ
ナコトニナッテ居ルノハ、即チ私共カラ考ヘレバ、所謂失敗ノ
上塗リヲナシツ、アルモノダト云フコトハ、斷言シテ差支ナイ
ト信ズルデアリマス(拍手)何ナレバ日本ノ兵隊ノ居ル間
ハ、流石其近邊ノ過激派ノ人モト雖モ、幾分カ穩カナル桃
色ノ態度ヲ執テ居、タコト云フコトハ事實デア、例ヘバ齊多
方面ニ於キマシテモ、色々日本軍ト向フノ政府ノ者トノ交
渉ニ依テ、比較的温和、即チ共產主義マデハ奉ズルニ至ラ
ナイ態度ヲ執リツ、アタコト云フコトハ事實デアリマス、併ナ
ガラ一旦日本ノ兵ガ齊多ヲ引イテシマフ、「ハバロフスク」ノ
方ヲ引イテシマフ、又元ノ奎阿彌、過激派ニ戻ルト云フコ
トハ當然ノ事デアリマス、「レーニン」政府ト常ニ氣脈ヲ通ジ
テ居ル、狐ノ子供ハ何所マデモ狐ノ子供デアリマス、故ニ僅
カノ日本兵ニ依テ之ヲ壓服シテ赤化スルコトヲ防クト云フ
コトハ、是ハ到底出來ナイ事デアルト云フモノハ、現ニ齊多「ハ
バロフスク」カラ兵ヲ引イタ後ノ狀況ニ依テ、明ニ判テ居ル
事實デゴザイマス、今日滿洲方面ニ二個師團居ル、二個師
團ガ滿洲方面ニ居ルガ爲メニ、アノ方面ノ政府、アノ方面ノ
人達ハ、マダ桃色デアルト謂テ宜イ位デアリマス純然タル

過激派ノ態度ヲ執テ居ラスコトハ、詰リ日本ニ對シテ或ル遠慮ヲ行テ居ルト云フ結果、斯ウ云フコトニ於テ居ルノデアリマシテ、固ヨリ日本兵ガ撤退スルナラバ、(レニ)政府ガ願フセザル限リニ於テハ、西伯利全體ノ惡化ト云フ事ヲ防グコトハ、是ハ到底出來ナイ相談ト謂ハナケレハナラヌ譯デアリ、彼等ガ赤色デアラウガ、桃色デアラウガ、苟モ日本ガ西伯利ノ内政ニ干渉シナイト云フ方針ヲ執ル以上ハ、何ヲ苦シニテ二個師團ノ大兵ヲ滿洲ニ駐留セシメテ、向フ果シテ何時ニテ撤兵スルカ判ラヌト云フヤウナ、無方針ノ現狀ヲ維持スルコトハ、斷ジテ許サズコト、存ジマス(拍手起ル)昨日總理大臣ガ貴族院ニ於テ、加藤子爵ノ質問ニ對シテ御答ニナタ所ノ言葉ニ依テ見マスルト、二個師團ノ駐兵ト云フコトハ、滿洲ニ居ル所ノ我七千ノ居留民ヲ保護スルコトヲ事、及滿洲ノ方面ニ對シテ、過激派ガ侵入シテ來ルコトヲ防グ爲メニ、據ロナク駐兵シテ置クノデアルト云フコトノ御趣旨ノ演說ガアツタヤウニ記憶シテ居リマスガ、私共ノ目カラ見レバ、七千ノ滿洲ノ居留民、勿論成ベクハ其處ニ滞留シテ、貿易ナリ商賣ナリ行フト云フコトハ、結構ナ事ト思ヒマスレドモ、現在ノ狀況ニ於テハ、滿洲デ我ガ居留民ガ立派ナ商賣ヲスルト云フコトハ、出來ナイ、獨立ノ生計ヲ營ンデ居ルニ於テ云フ言葉ガアリマシタガ、詰リ唯ダ軍隊ノ力ニ依テ、所謂軍隊ノ方ノ商賣ナリ、出入ナリヲスルト云フコトニ依テ行テ居ル者ガ大部分、他ノ一部ハサウニ云フ人デナイト云フコトハアリマスレドモ、併ナガラ其人々ヲ保護セザルベカラザルガ爲メニ、二個師團ノ大兵ヲ此先何時マデモ分ラヌ間駐在セシメルト云フコトハ是ハ利害ノ上カラ考ヘテモ、ドウシテモ爲スカラザル事ト信ズルノデアリマス、又滿洲ノ方面ヘ過激思想ガ侵入スルカラ、ソレヲ防ガン爲メニ、西伯利ニ二個師團ヲ置イテ置カネバナラヌト云フコトハ、是ハ殆ト意味ヲ爲サヌ、泰ノ始皇ガ萬里ノ長城ヲ築イテ、夷狄ヲ防イダト同ジヤウナ筆法ノ愚策ト言ハザルヲ得ナイ、吾ハサウ云フ主義ニ於テ滿洲ニ駐兵スルト云フコトハ、得策ナリトハ信ゼナイノデアリマス(拍手起ル)殊ニ丁度今日——丁度今日齊多ニ於テ憲法會議ヲ開クコトニナテ居ル、其憲法會議ノ様子如何ニ依テ、又一ツ考ヘテ見ヤウト云フヤウナコトヲ、田中陸軍大臣カラ直接ニ私ハ聴イタコトガゴザイマス、隨分迂濶ナ話ト謂ハザルヲ得ナイ、此憲法會議ガ赤化シタル(レニ)政府ト全ク氣脈ヲ通ジテ、所謂西伯利ヲ全然赤化セシメル所ノ政府トナルコトハ、判リ切テ居ルノデアリマス、中央ノ政府ガ倒レヌ以上ハ、ドウ云フ形式ヲ執ルカハ知ラヌレドモ免ニ角共產主義ニ依テ、西伯利ヲ治メテ行カウト云フ考

ヲ有テ居ルト云フコトハ、判リ切テ居ル、ソレヲ憲法會議ノ結果如何ヲ見テ、而シテ後ニ又徐ロニ謀リ講ジテ見ヤウト云フガ如キハ、私カラ言ヘバ、實ニ迂濶千萬ナル違方ナリト確信ヲ致ス次第デアリマス(拍手起ル)斯ノ如ク西伯利出兵ニ關シテハ、徹頭徹尾三重ノ失敗ヲ行テ來テ居ル、初ヲ誤リ、中頃ヲ誤リ、又最後ニ於テ大ナル失敗ヲシテ居ル是ダケノ失敗ヲ重ネテ居テ、御承知ノ通り既ニ金ヲ使ツタコトハ約五億、又人命ヲ損フコトモ數千以上ニ上テ居ルト云フ狀況デアデ、得ル所果シテ何物デアリマスガ、唯ダ列國ノ猜疑及露西亞民衆ノ日本ニ對スル反感、是レ以外ニハ何モ無い、此列國ノ猜疑ト云フコトハ、中ニ日本ニ取テハ非常ナリ不利益ヲ醸スコトハ判リ切テ居ル、今日世界ニ於テ排日思想ガ非常ニ盛シト云フ最大原因ハ、恐ラクハ西伯利出兵ニ關スル彼等ノ誤解デアラウト思ヒマス(拍手起ル)又露西亞一億ノ民衆ガ我日本ニ對スル反感、中ニ是ハ容易ニ恢復スルコトガ出來ナイ、日本ノ損害デアリマシテ、他日露西亞ノ秩序ガ本當ニ維持スルコトガ出來デ——恢復スルコトガ出來テ、ソレニ依テ日本ガ露西亞ト間ニ通商貿易ヲ始メ、經濟上ノ關係ニ於テ元ノ通り、或ハ元ノ通り以上ノ位置ヲ占メヤウト思ウタ所デ、恐ラクハ斯ノ如ク非常ナリ大キナ溝ヲ築イテシマツ間柄デアルカラシテ、日本ニ取テハ非常ニ不利益ナル立場ニ立ツコトハ判リ切タ事デゴザイマス、此損害ヲ考ヘテ見テモ、非常ニ永久ニ互テ大ナル損害ヲ被ラザルヲ得ナイト云フコトハ、吾ハ覺悟シナケレバナラヌ譯デアリ(拍手起ル)扱右ノ如ク所謂百害アツテ一利ナシ、總テノ點ニ於テ非常ナル散々ナ失敗ヲシテ、尙ホ其失敗ノ副産物トシテ、尼港事件ト云フモノガ起ツタノデアリマス、尼港事件——殆ト日本ノ從來ノ歴史ニ於テ、未ダ見ザル大凌辱ヲ受ケタコトデアリマシテ、當局者ニ言ハセテ見マス、配兵ノ上ニ於テ——兵ヲ配置スル上ニ於テモ、或ハ救援ノ上ニ於テモ、之ヲ救テヤル手段ニ於テモ、何等ノ過失モナシ、怠慢モナカッタノデアルト云フコトヲ申シテ居リマス、寔ニ白々シイ申分、過失モ過失、怠慢モ怠慢、大ナル過失怠慢ガアルニ拘ラズ、何等之ニ對スル責任ノ無いヤウナコトヲ申シテ居ルト云フコトハ、實ニ怪シカラヌ事ト思ヒマスガ、吾ハ併シ今其事ニ論及ヲシテ、彼此申サズトモ殆ト世間總テノ人ガ十分ニ承知シテ居ル事デアラウト思フカラ其點ハ重ネテ申スコトヲ避ケマスガ、此一事ガアツテモ——恐ラク此尼港事件ト云フ事ダケヲ考ヘマシテモ、一切西伯利問題ニ就テハ成功ヲシテ居タ、日本ハ他日非常ナル名譽ヲ以テ、凱旋ヲスルヤウナ結果ヲ得テ居タモノダト假定シテモ此尼港事件、此一事件アルガ爲メニ、確ニ當局者ハ上

陛下ニ對シ、下國民ニ對シテ、十分ナル責任ヲ負フベキ等ノモノデアルト私共ハ信ジテ居ルノデゴザイマス(拍手)然ルニ今日西伯利問題ヲ通ジ、尼港問題ニ關シ、何人モ之ニ對シテ責任ヲ負フ者ガ一人モ無い、一人モ之ニ對シテ責任ヲ負ハザルノミナラズ、甚ダ遺憾ナ事デアリマスレドモ議論ノ上デ據ロナク言ザルヲ得ナイノデアリマスガ、却テ論功行賞ガアル、或ハ降爵、或ハ授爵ノ恩典ニ浴スル人ガアルト云フニ至テハ、倒行逆施恐ラク是ヨリ甚シイ事ハ無カラウト私ハ信ズルノデアリマス(拍手)外交當局者ニ行テ聽クベ、何分軍閥者流ガ跋扈シテ、吾ハ餘リ感心セナカッタレドモ、無暗矢鱈ニ出兵ヲシヤウト云フコトヲ斷行シタ結果、斯ノ如キ羽目ニ陷タノデアリ、即チ吾等ノ素志デナカッタノデアリ、斯ウ云フ事ヲ申シテ責任ヲ免レヤウトシテ居リマス、又軍人社會ノ人ニ聽イテ見ルト、ドウモ外務省ノ奴等ガ膽甲斐ナイ、腰拔タ、洵ニ豎子國ヲ誤ルト云フモノハ外務當局者、實ニ關デアアルノデアリ、一旦矢ハ弦ヲ離レタノデアルカラ一旦國家ノ大事ガ決定シタ以上ハ、何所々々マデモ相當ナル兵ヲ出シテ、所謂過激黨ヲ壓迫スルコトヲ云フ方針ヲ持續スルナラバ、當初ノ目的ヲ達スルコトガ出來タノデアリニ拘ラズ、ソレヲ行ハナカッタト云フコトハ、外務省ノ奴等ガ實ニ腰拔タタ結果デアリ、斯ウ云フ事ヲ申シテ居ルノデアリマス、恐クハ外務大臣、陸軍大臣、參謀總長、出先ノ軍司令官、總テ各、責任ノ推諉ヲナシ、内閣總理大臣殆ト之ニ對シテ關セズ焉ト云フ態度ヲ執テ居ラレルト云フコトハ、獨リ陛下ヲシテ國民ノ怨府ト爲シ、獨リ——至尊ヲシテ社稷ヲ憂ヘシメルト云フ結果ニナルノデゴザイマシテ、吾ハ此點ニ對シテ、非常ニ痛嘆措ク能ハザル次第デアリマス、昨年ノ特別議會ノ際ニ於キマシテ、陸軍大臣ハ貴衆兩院ニ於テ、ドウ云フ御言葉ガアツタコト云フコトヲ言テ見ルト、衆議院ニ於テハ、尼港事件ニ關シテハ何等ノ過失モ無ケレバ、又責任モ無カッタノデアルト云フコトヲ斷言セラレテ居リマシタガ、貴族院ニ於テハ何ト仰シヤタ、貴族院ニ於テハ初ハ此問題ニ關シテハ陸軍大臣ニ於テ、全責任ヲ負フノデアルト云フコトヲ申サレタノデアリマス、後ニ貴族院議員ヨリ段々質問ヲ重ネラレタ結果、「臣節ヲ全ウスルコトヲ誓ヒマス」ト云フ言葉ガアリマシタ、諸君、臣節ヲ全ウスルコト云フコトハドウ云フ意味デアリマスガ、閣臣タルノ節義ヲ誤ラナイ、即チ自分ハ其點ニ關シテ十分ナル責任ヲ負ウテ、進退ヲ決スルト云フコトヲ婉曲ニ言ハレタモノニ過ギナイコトハ判リ切テ居ル(拍手起ル)其前ニ水戸ニ於キマシテ、或ル弔祭、即チ亡クナタ所ノ軍人ノ英魂ヲ弔フベキ式ガアツタノデゴザイマス、其折ニ陸軍大臣ハ其式ニ參ラレマシテ

「不肖義」深ク自ラ期スル所アリ」ト云フコトヲ言ハレタコトヲ記憶シテ居リマス、「不肖義」深ク自ラ期スル所アリ」ノ此意味ヲ、マトモニ解釋ヲシテ御覽ナサイ、平易ニ解釋シテ見レバ、此問題ニ就キテハ實ニ自分ニ於テモ非常ナル責任ヲ負擔シテ居ルコトヲ感ズルノデアル、(拍手起ル)隨テ之ニ對シテ深ク自ラ期スル所ガアルノデアル、大ナル決心ヲスル所ガアルノデアルト云フコトヲ言ハレテ居ル譯デアリマス、貴族院ニ於テ「臣節ヲ全ウスル」ト云フコトヲ言ハレタコトト、此事トヲ照シ合セテ見レバ、確ニ本問題ニ對シテハ、自ラ責ヲ負ウテ骸骨ヲ乞フコトヲ決心ノアルト云フコトヲ表明シテ居ラレタモノニ違ヒナイ、(拍手起ル)而シテ衆議院ニ於テハ、御承知ノ通り何等ノ過失モ責任モ無イト云フコトヲ言ハレタノデアルカラ、詰リ此問題ニ關シテハ、陸軍大臣ハ確ニ二重人格ノ人デアアルト云フコトヲ世間デ批評ヲシタノハ、此點ヲ謂フ譯デアリマス、洵ニ私共陸軍大臣ノ一身ニ對シテ斯ウ云フコトヲ申スコトハ、甚ダ失禮デアリマス、ケレドモ、當然議會ニ於ケル態度ニ於テハ、確カサウ云フ結果ニナラセ居ルト云フコトヲ信ズルノデアリマス、而シテ特別議會終了ノ後ニ於キマシテ、流石ハ陸軍大臣、私共非常ニ見上ケタル態度ヲ執ラレタコトヲ感謝致スノデアリマス、洵ニ此問題ニ就テハ、畏多イ事デアル、陛下ニ對シ國民ニ對シ、此儘デハ相濟マヌト云フ考ヲ持タレマシテ、辭表ヲ閣下ニ捧呈ニナタト云フ事ハ、公然ノ事實デアル、是デナクテハナラヌコトデアリマス、立憲國ノ大臣トシテ、少クトモ斯ノ如キ立派ナル態度ヲ執ラレルト云フコトハ、當然ノ事ト信ズルノデアリマス、併ナガラ此問題ハ獨リ陸軍ノ一局部ニ限局スベキ筈ノモノデハナイ、西伯利ノ出兵ト云ハズ、或ハ其副産物トモ謂フベキ尼港事件ト云ハズ、内閣ノ諸公總テニ於テ、大ナル責任ヲ負擔シテ居ルモノデゴザイマスカラ、此問題ニ關シテ引責辭職ヲスルト云フ場合ニ於テハ、陸軍大臣ガ獨リ罷メテ、ソレデ濟ムベキ性質ノモノデアリマス、必ズヤ内閣全體ニ於テ責任ヲ負擔スルト云フコトハ、是ガ當然ノ事デアアルト謂ハザルヲ得ナイ、(拍手起ル)隨テ議會ハ無事閉了シマシタガ、議會ノ無事ニ閉了シタ後ニ於テ、誰レ言フコトナク、現内閣ハ既ニ總辭職ノ期ガ近ヅイテ居ルト云フコトヲ當時申シタノハ、即チ此點デアッタノデアリマス、當然ノ事デアリマス、(當然デヤナイ)ト呼フ者アリ笑聲起ル

○議長(奥繁三郎君) 靜肅ニ……

○下岡忠治君(續) 吾ハ九重雲深ウシテ、宮中ノ事ヲ此處デ推測シテ申スト云フコトハ、甚ダ畏多イ事ダカラシラハ申シマセヌガ、免ニ角幾クモナクシテ陸軍大臣ノ辭表ハ、

聖諭ニ依テ之ヲ撤回スルト云フコトニナタノモ、公然ノ事實ト謂フテ宜イ譯デアリマス、諸君、若シ陸軍大臣ガ衆議院ニ於テ申サレタ如ク、尼港問題ニ關シテハ、何等ノ過失無ク、責任無シト云フコトデアッタ致シマスルト、何ガ故ニ辭表ヲ 陛下ニ捧呈スルト云フ結果ニ立至ラレタノデアアルカ、其點ガ甚ダ吾々疑ハシイ、又一旦自分ニ責任アリト認メテ辭表ヲ捧呈シタ以上ハ、陛下ノ御言葉ニ依テ其辭表ヲ撤回スルトニ至ラタト云フコトハ、果シテ是ガ臣節ヲ全クスル所以ノモノデアリマセウカ、私ハ斷ジテ其然ラザルコトヲ信ズルノデアリマス、(拍手起ル)或ハ曰ク 陛下ニ辭表ヲ捧呈シテ置イタ後ニ、聖諭ニ依テ之ヲ撤回シタト云フ例ガ度アルデハナイカ、陸軍大臣ガ 陛下ノ御命ニ依テ辭表ヲ撤回スルト云フコトハ、決シテ不都合ノ事デモ何デモナイ事デナイカ、斯ウ云フヤウナ先例ヲ持テ來テ、御答辯ニナル方ニ於キマシテ、大藏大臣ト通信大臣ト間ノ議ガ合ハズシテ、衝突ガ起リテ、兩大臣ガ辭職ヲセザレタ事ガゴザイマシタガ、其時ニ西園寺侯ハ監督宜キヲ得ザルト云フ責任ヲ以テ、辭表ヲ捧呈セラレマシタガ、特ニ 陛下ノ思召ニ依テ、其辭表ヲ撤回セラレタト云フ先例ガゴザイマス、又大隈内閣ノ時ニ於キマシテモ、諸君ノ記憶ニ新ナル所デアリマセウガ、所謂高松事件——此事件ガ起リマシテ、大浦内務大臣ガ辭職ヲセラレタ、大隈内閣總理大臣モ、監督其宜キヲ得ザルト云フ趣意ニ於テ、辭表ヲ閣下ニ捧呈セラレタト云フ事モアルト云フコトヲヤラレタノデアリマス、辭表ハ一旦捧呈ハシタケレドモ、陛下ノ思召ニ依テ之ヲ取下ゲラレタト云フ先例ハ確ニゴザイマス、ゴザイマスケレドモ、是等ノ先例ト此度ノトハ、餘程趣異ニシテ居ル、免モ角モ當時ニ於テハ責任者ハ他ノ大臣デアッテ、其大臣ノ一人ガ辭職ヲシテ、唯ダ監督其宜キヲ得ナカト云フ意味ニ於テ辭表ヲ出サレタノデアアルカラ、他ニ責任者ハ取敢ヘズアッタノデアリマス、餘程此度ノモノトハ趣異ニシテ居ルノデアリマス、殊ニ況ヤ大隈侯ノ辭表ヲ捧呈シテ之ヲ撤回セラレタ際ニ於キマシテハ、政友會ノ諸君ハ何ト云フ態度ヲ執ラレマシタカ、之ヲ理由トシテ内閣彈劾ノ決議案ヲ出サレテ、而シテ其說明ハ現ニ原總理大臣ガナスタ位デゴザイマス、其時ノ言葉ニ「現内閣ハ演職ノ獄起ルニ際シ罪ヲ閣臣ノ一人ニ嫁シテ責ヲ回避シ口ヲ聖旨ニ藉リテ留任ヲ敢テセルハ立憲ノ大義ニ反ス」云々ト云フ決議文デアッタノデアリマスガ、即チ咎メテ他ノ輩ニ倣フト云フ事ハ、君子ノ爲スベカラザル所デゴザイマス、其善惡ノ論ハ別トシテ、免ニ角政

友會ノ諸君ハ口ヲ 陛下ノ御命ニ藉リテ其辭表ヲ撤回スルト云フヤウナ事ハ、憲政ノ大義ニ反スルモノダト云フコトヲ唱ヘラレタコトハ事實デアアルノデアリマス、而シテ今回ノ如キ空前ノ大失態起リナガラ、殆ド何人モ之ニ對シテ責任ヲ持タナイ、偶、殊勝ニモ田中陸軍大臣ガ全責任ヲ負ウテ辭表ヲ捧呈スルト云フコトデアアルノヲ、甚ダ薄志弱行ノ爲メニ、遂ニ其辭表ヲ撤回スルト云フコトニナタ、是ト同時ニ内閣總理大臣ハ、輔弼ノ責任ヲ有テゴザル方デアアルノニ、之ヲ公然ト御是認ヲナスタ結果ニナラセ居ルト云フコトハ、私共甚ダ遺憾千萬ノ事ダト思フノデアリマス、(拍手起ル)一步ヲ進メデ申シマスレバ、田中陸軍大臣ハ身重政ノ要衝ニ居ラレテ、數十萬ノ軍人ヲ監督スルノ立場ニ在ル人デアアル、武士道ノ責任ハ少クトモ、同君邊リニ於テ、之ヲ荷ウト云フ覺悟ヲ持タナイデアラヌ立場ニ居ルノデアアルノニ拘ラズ、苟且ニモ帝國議會ニ於テ、二重人格ノ人デアアルト云フヤウナコトヲ疑ハレルヤウナコトデナク、モットハキリシタ事ヲヤルベキ筈デアアル、少クトモ二重人格デアアル如キ疑ノアル如キ態度ヲ爲シ、一旦辭表ヲ捧呈シテ置イタナガラ、衰龍ノ袖ニ隠レテ、其責任ヲ回避スルト云フ態度ヲ執ラレタト云フ如キコトハ、責任觀念ト云フコトヲ以テ、一番大事ナ事トシテ居ル軍隊教育ノ將來ニ對シテ、非常ナル惡影響ヲ與ヘルモノデアアルト云フコトヲ私ハ信ズルノデアリマス、(拍手起ル)原首相ガ本年新年ノ劈頭ニ於テ、國民一般ヲ警醒シテ、ドウモ近來衰頹シツ、アル所ノ此義勇奉公ノ念、之ヲドウシテモ十分ニ喚起シテ、國家ノ爲メ公共ノ爲メ、何人モ身ヲ犠牲ニスルト云フ覺悟ヲ以テ振起シテ貴フト云フコトガ、當今ノ一大急務デアアルト云フコトヲ申サレタノデアリマス、併ナガラ輔弼ノ重責ニ在ル所ノ閣臣ノ方ミガ、相率テ此責任ト云フ觀念ニ就テ、甚ダ薄イヤウナ態度ヲ執ラレテ、所謂義勇奉公ノ精神ヲ裏切ルト云フガ如キヤウナ有様ニナタト云フコトハ、千百ノ諭告モ戒告モ、殆ド何等ノ役ニ立タヌ空文ニ過ギナイト謂フモ宜イト思ヒマス、(拍手起ル)隨テ之ガ爲メニ我ガ帝國ノ精神界ニ及ボス所ノ惡影響ハ、恐クハ五億ノ金、數千人ノ人命ト云スモノニ較ブレバ數十倍ノ損失ナリト斷言シテ差支ナイト思ヒマス、(ヒヤ)ト呼フ者アリ、(拍手起ル)斯ウ云フ結果デアリマスカラ、私ハ右ノ事實ト事由トニ依リ、爰ニ此第一問ニ就テ御質疑ヲシヤウト思ヒマス、第一ハ政府ハ西伯利出兵ニ關シテ、前申シタ如キ三段ノ過失ヲ重ネテ居ルト思フガ、ソレヲ承認スルノデアアルカ、若シ之ヲ承認セザルモノトセバ、西伯利出兵ニ依テ臚チ得タル所ノモノハ果シテ何モノデアリマスカ、具體

的ニ說明ヲシテ貴ヒタイ、唯今駐兵スル必要ガ有ルトカ無
イトカ云フ問題デハアリマセヌ、ソレハ昨日貴族院ニ於テ色
色應答ガゴザイマシタガ、此澤山ノ兵ヲ遣テ、而シテ澤山ノ
犧牲ヲ拂テ結果、總勘定シテ獲テ居ル所ノモノヲ具體
的ニ說明ヲ願ヒタイ、第二、田中陸相ガ尼港問題ニ就キ貴
衆兩院ニ於ケル答辯ニ於テ、何等ノ矛盾ナシト認ムルカ、若
シ此點ニ於テ矛盾ガ無イト云フコトデアレバ、其點ニ就テ説
明ヲ求メルノデアリマス、第三、若シ田中陸相ガ衆議院ニ於
テ言明セラレタル如ク、尼港問題ニ關シ、當局者ニ於テ何
等ノ過失怠慢ナキモノトセバ、議會開會後閣下ニ辭表ヲ捧
呈シタル事由如何、ドウ云フモノデ辭表ヲ捧呈シタノデアリ
マスカ、其理由ヲ承リタイ、立憲國ノ大臣ハ出處進退ト云
フコトヲ最モ國民ニ明白ニスベキモノト思ヒマスカラ、其御
答ニ於テハ一點曖昧ナルコトヲ許シマセヌ、又第四、一旦辭
表ヲ捧呈シ置キナガラ、聖諭ニ依リシ之ヲ撤回シタルハ、自己
ノ怠慢過失ノ責任ヲ陛下ニ轉嫁シタルモノニシテ、立憲治
下ニ於テハ寛恕スベカラザル罪惡ニシテ(拍手)固ヨリ臣節
ヲ全ウスル所以ノ道ニ非ザルモノト認ム、政府ノ所見如何、
是ガ即チ私ガ田中陸軍大臣ノ進退ニ關スル質問ノ要點デ
ゴザイマス、次ニハ學校昇格問題ニ就キマス、中橋文部大
臣ニ御問シタイ考デゴザイマス、近頃我が日本ノ教育界ヲ
見テ見マス、有形ノ上ニ於テハ、種々ノ學校ノ設備、其他
有形ノ上ニ現ル、所ニ於キマシテハ、確ニ當局者苦心ノ效ガ
現レテ、著々進歩シツ、アルト云フコトハ私感謝スル所デ
ゴザイマス、併ナガラ是ト同時ニ、無形ノ方面精神訓育ト云フ
方面ヲ見マス、甚ダ苦シキ現象ガ屢、現レテ、十數年前ノ
教育界ノ狀態ニ比スレバ、確ニ退步シツ、アルト云フコトハ
爭フコトノ出來ナイ事實デアルト信ジテ居リマス(拍手)其
斯ノ如クナレル所以ノモノハ固ヨリ其原因ハ甚ダ多イ、種々
ノ原因ハアルケレドモ、國民道德ノ儀表タルベキ文部大臣
ノ行動ガ何カ世間カラ彼此批評ヲ受クルヤウナコトガアッ
テハ、此精神訓育ノ上ニ非常ナル影響ヲ與フルト云フコトハ勿
論ノ事デアリマス(拍手)昨年ノ特別議會ニ於ケル貴衆兩院
ト對中橋文相トノ關係、色々應答ガゴザイマシタガ私ハ其事
ヲ此處デ記憶ニ喚起スサヘ甚ダ不快ノ念ヲ持ツヤウナ事柄ガ
アッテデゴザイマスガ(拍手)サウ云フ事柄ハ免角傳ハリ易イモ
ノデ、津ノ浦ノ寒村僻地ノ小學校ノ生徒ト雖モ、能クサウ云
フコトヲ記憶シテ居ルト云フ事實ヲ認メテ居ルノデアリマス
テ、甚ダ是ハ遺憾千萬ノ事ニ思ウテ居ルノデアリマス(拍手)
然ルニ此度學校昇格問題ガ起ツタニ就キマシテ、又文部省
ヲ呪フガ如キヤウナ風聞ガ屢、起テ居ル、洵ニ之ガ事實デ
アルト云フコトデアレバ、實ニ聖代ノ不祥事ナリト謂ハザル

得ナイノデアリマシテ、私共甚ダ心配ニ堪ヘナイノデアルカラ
シテ、茲ニ以下述ベント欲スル所ノ質問事項ニ就キマシテハ
ドウゾ明瞭ニ世間ノ疑問ヲ一掃スルベク、明瞭ナル御答辯
ノアランコトヲ希望スル次第デゴザイマス、此頃世間デ言
テ居ル所ノ學校昇格問題ハ、言フ迄モナク專門學校及高
等師範學校ヲ大學ニ引直スト云フ問題、政府ハ之ヲ第二
期計畫ト稱シテ居リマス、第四十一議會ニ於テ決定セラレ
タル所ノ所謂六年計畫、是トハ全然切離シテ、先ツ六年計
畫ト云フモノ、遂行ハ、豫定ノ如ク進行シテ居ルノデアリ
向ホ新ニ第二期計畫トシテ、昇格問題ト云フコトヲ八釜シ
ク言ヒ出シテ來タコトデアル、併ナガラ此問題ノ由テ來タ
源ハ六年計畫ヲ行ウテ——此六年計畫ノ中ニハ御承知ノ
通り、高等商業學校ヲ大學ニスル、或ハ醫學專門學校ヲ大
學ニスルト云フ事柄ガアルモノデアルカラシテ、是ト同一ノ
利益ノ均霑ヲ欲スルモノト云フ所カラ、我モ——其選ニ當ラウ
ト云フ考ヲ以テ、學校昇格問題ガ勃然ト四方ニ起ツノデ
アリマシテ、文部大臣ガ或點ニ於テ愛嬌ヲ振廻シタ結果、
學校昇格手形ノ濫發ト云フコトガ餘程多クタツト云フ現況
テ、之ト相呼應シテ此火ノ手ガ非常ニ高クナツト云フ見
テ、アルノデアリマス、例ヘバ藏前ノ高等工業學校ノ此昇格問
題ト云フコトヲ八釜シク言出シタノハ、大正八年ノ一月以
降ノ事デアル、學校ノ生徒、職員及本校ニ關係アル所ノ有
志ノ人モ相寄ツテ、大正八年ノ一月頃カラ、是非共之ガ
昇格ヲ望ムト云フ運動ヲ始メテデアル、大正九年年度ノ
豫算ニハ略、載ル見込デアルト云フ彼等ハ諒解ヲ得テ、一
時ノ運動ヲ中止シテ居タノデアルガ、大正九年ノ一月ニ
ナツテカラ、愈々昇格スルコトガ出來ナイト云フコトガ彼等ニ
分ツタ、而シテ彼等ハ非常ナ騷ヲ起シ出シタ、生徒ハ大會ヲ
ヤリ、彼方此方デ非常ナ騷ヲ始メルト云フコトナリマシテ、
文部大臣ニ迫ツテ、是非共大正九年年度ノ豫算ノ中ニ之ヲ編
入シテ吳レト云フコトヲ要求致シタ、而シテ段々其要求ガアッ
テ、大正九年年度ノ豫算ニハドウシテモ入レルコトガ出來ヌ
ケレドモ、十年年度ノ豫算ニハ必ズ之ヲ入レル積リデアルト
云フコトヲ口約ナサイマシテ、而シテ此口約ニ基イテ生徒ヲ
鎮撫シヤウト思ツタケレドモ、中ニ生徒ガ肯カナイ、屢々文部
省ノ言フコトハ當ニナラヌト云フ經驗ヲ持テ居ルカラ、何カ
モツト具體的ノ證據ヲ握テ置カナクチャ困ルト云フ話ガ出
マシテ、學校ノ商議員ノ諸君ガ文部省ト生徒ト間ニ立ッテ、
是非共萬障ヲ排シテ大正十年年度カラ實行スルト云フコト
ヲ斷言スルカラト云フノデ、先ツ是レデ納リガ著クト云フコ
トニナツタノデアリマス、而シテ今日ニ至ツタト云フ譯合ニ

ナツテ居ル、其色々ノ經緯ハ雜誌ニ詳シク書イテゴザイマ
ス、特ニ此處デ述ブル必要ハナカラウト思ヒマスカラ、ソレハ
省イテ置キマス、ソレガ即チ藏前ノ高等工業學校ニ就テノ
昇格問題ノ經緯デアリマス、神戸ノ高等商業學校、之ニ就
キマシテハ、中ニ御丁寧ニ、中橋文相ハ大正八年十二月一
日、地方視察ノ途中同校ニ寄ラレマシテ一場ノ演說ヲナサ
タ、其時ニ學校ノ昇格トイフコトヲ誓約ナスコト云フ譯ニ
ナツテ居リマス、其御言葉ノ要點ヲ見テ見マスルト、專門學
校昇格ノ順序ニ就テハ、南文部次官ガ先日東京ニ於テ言
明シタヤウニ、規模設備ノ適當ナル數校ヲ擇ンデ、大正十
年度ニ於テ昇格ニ著手スルモノデアッテ、其擇バレタル數校
中ニハ、無論神戸高等商業學校ヲ含ンデ居リマス云々ト云
フノデ、是ハ學校ニ於テ御演說ヲナスコト際ニ、神戸ノ高等
商業學校ハ、大正十年度カラ確ニ之ヲ昇格セシムルト云フ
コトヲ言明ナサツタ譯ニナツテ居ル、又秋田ノ鑛山專門學校、
是ハ私モ元秋田ニ居リマシタ折ニ、此學校ノ創立ノ際ニ關係
シテ居タノデアルカラ、其經緯ヲ十分能ク承知シテ居リマ
ス、此學校ハ我國ニ於ケル鑛山專門學校トシテハ、唯一ノ
モノデアリマシテ、其創立ノ初カラシテ、若シ將來單科大學
ト云フモノ、制度ヲ許ス時代ニ於テハ、先ツ第一ニ此學校
ヲ大學ニ引直ス考デアルト云フコトハ、當時此事ニ關係シ
テ居タ主ナル者ガ皆ナ知ツテ居ルンデアリマス、隨テ政府ノ
總テノ設備ガ其方針ニ依ツテ出來テ居タ譯デアル、而シテ
高等教育會議ニ於テ、單科大學ノ制度ヲ認ムルト云フコト
ニナツタノデアラカラシテ、隨テ此學校ガ單科大學トシテ取
扱ハレデアルアウト云フコトヲ考ヘテ居タガ、大正九年年度
豫算ノ中ニハ、文部大臣トシテハ之ヲ計上スル考デアツタ、
現ニ計上スル考ヲ以テシテ、大藏省マデ其案ヲ廻シタノデ
アリマス、所ガドウ云フ理由デアツタカ、是ガ否決ニナツタ、其
否決ニナツタ當時、隨分學校モ騷ギマシタシ、又之ニ關係ス
ル人モ種々ノ運動ヲシ、現ニ此處ニゴザル所ノ田中陸三
君——秋田選出代議士ノ田中陸三君ノ如キハ、進退ヲ賭
シテ之ガ實行ヲ迫ラレタト云フコトハ、公然ノ秘密デゴザ
イマス、併ナガラ大正九年年度ノ豫算ニハ、之ヲ載セルト云フコ
トハ出來ヌト云フ結果ニナツタガ、大正十年年度ニ於テハ必ズ
之ヲ實行スルト云フコトヲ略々、公約同様に形式ニ於テ
承知セラレタト云フコトハ、是モ間違ガナイコトニナツテ居
ル事デゴザイマス、斯ノ如クシテ始終學校ノ昇格ニ關スル
手形ヲ澤山出サレテ居ルト云フコトハ疑フコトハ出來
ヌ、而シテ大正十年年度ニ於キマシテ、文部大臣ガ此豫
算ヲ編成セラル、ニ當リマシテハ、秋田鑛山學校ハ之ヲ
除外ヲシテ、藏前ノ高等工業學校ト、大阪ノ高等工業學

校ト、神戸ノ高等商業學校、之ニ又別ニ東京ト廣島ノ高等師範學校、此二ツノモヲ加ヘテ、所謂五校昇格案ト云フモノヲ作成シテ、大藏省ニ提案シナタト云フコトモ、是モ間違ノナイ事デゴザイマス、此報ガ新聞ニ洩レルニ及ビマシテ、各方面カラ非常ナ昇格運動ガ起テ來タ、此五校以外選ニ洩レタ所ノ秋田鑛山專門學校ヲ首メトシテ、盛岡ノ高等農林學校、鹿兒島ノ高等農林學校、或ハ山口ノ校デアルトカ云フ、各地ノ專門學校ガ昇格運動ヲ始メテ別ニ專科ヲ置ク——專科ヲ別ニ置クト云フコトニ就テ、各校カラソレヲ置イテ貰フト云フ運動ガ盛ニナリ、ソレト相和シテ所謂學校昇格問題ノ大騒ガ起テ來タ、或ハ學生ノ會トナリ、職員ノ躍起運動トナリ、若クハ有志者ガ狂奔ヲスルト云フウナ結果ヲ來タシテ、教育界未ダ會テ有ラザル大混亂ヲ呈スルヤウナコトニナタノデアリマス、然ルニ一方ニ於テハ教育界ノ者宿ハ固ヨリ有識階級ノ人ミデ、ドウモ學校職員生徒ガ斯ウ騒出スト云フコトハ、怪シカラヌ事ダト云フコトヲ唱出シ、又寺内閣ノ際ニ出來タ所ノ此臨時教育會議ニ於テ決定シタモノヲ、サウ易ニ變ヘルト云フコトハ甚ダ宜シクナイト云フ議論ガ起タノデアリマス、即チ寺内閣ニ於ケル臨時教育會議ニ於キマシテハ、高等師範學校ハ現在ノ設備ヲ以テ、現在ノ制度ヲ其儘ニ繼續スルガ宜イト云フコトニ決マリ、又專門學校ニ就テモ、大體ニ於テハ現狀ヲ維持スルガ宜シト云フコトニ決メテ居タノデアリマシテ、此二ツノ決議ト云フモノハ、日本ノ教育會ニ於テハ相當ノ權威アル決議ト見ザルヲ得ナイ譯デアル、然ルニ唯今ノ文相ノ五校昇格案ト云フモノハ、此決議案ヲ裏切ルト云フ結果ニナルノデアラカラシテ、勢ヒ此方面カラシテ非常ナル議論ノ起ルト云フコトハ、當然ノ結果ト謂ハザルヲ得ナイノデアリマス、之ガ爲メニ臨時教育調查委員ノ會長タル久保田男爵、及副會長タル所ノ一木博士ノ辭表ヲ出シタト云フコトハ、是モ公然ノ秘密デアル、久保田男爵ハ前カラ辭表ヲ出シテ居タ譯デアリマス、併ナガラ此問題ニ關シテハ確ニ當局者ノ措置ニ對シテ、甚ダ宜シクナイト云フ考ヲ持テ居ラル、コトハ事實デアリマス、而シテ此臨時教育調查會ト云フモノハ、六年計畫ヲ遂行スル際ニ、貴族院ニ於テ必ズ此機關ニ諮詢ヲシテ、而シテ之ヲ實行シテ貴ヒタイト云フ條件ニ出來テ居タルデアラカラシテ、隨テ六年計畫ニ準ズベキ第二次教育計畫ノ遂行ト云フ上ニ於キマシテモ、當然此臨時委員會ニ諮詢ヲスベキコトハ、當然ノ手續トシテ居ル譯ニナシ居ルノデアリマス、サウシマス既ニ會長副會長ハ此點ニ就キ反對ノ意見ヲ持テ居ル、委員會ニ於テハ果シテ之ヲ可トスルカ否トスルカ判リマセヌケレド

モ、少クモ教育界ニ於テ中ニ是ハ重大ナル問題ニナタト云フコトヲ考慮セラレテ、原内閣總理大臣ハ事ノ重大ナルニ鑑ミテ、先ツ考慮ト云フ名ノ下ニ此第二期計畫ノ進行ヲ中止スルト云フコトニ爲サレタト云フコトハ、是ハ殆ド公然ノ秘密ト云ウテ宜イ譯ニナシ居ルノデアリマス、即チ此處デ私ガ問ハント欲スル所デアル、本員ハ此昇格問題ニ就テ昇格セシムルガ宜シイカ、惡イカト云フコトノ問題ヲ聽ク積リデハナイ、其問題ハ先ヅ姑ク別問題トシマシテ、臨時教育會議ト云フモノハ、御承知ノ通り我國屈指ノ教育關係者ガ集ッテ、學制ニ關スル根本方針ヲ定メルト云フコトデ出來タモノデアリマシテ、此會議ニ於テ決定シタコトハ、少クモ教育界ノ一大權威ト謂ハナクテハナラヌノデアラカラシテ、最モ此會議ヲ尊重スル必要アリト認ムルノデアリマス、殊ニ高等師範學校ノ存續論、及專門學校ノ現狀維持ノ決議ト云フモノハ、之ヲ發表シテ以來、マダ四圍ノ狀勢ガサウ變テ居ルノデハナイ、大シタ變更ノ起テ來ナイ以上ハ、政府ハ大體ニ於テ此決議ノ精神ヲ尊重シテ、之ヲ實行スルト云フコトハ當然デアアルカモ知レナイト思ヒマス、政府ハ時勢ノ要求ニ應ジテ、更ニ進ンデ高等教育會議ノ決議ヲ無視スルガ如キヤウナ態度ヲ以テ、昇格案ヲ決定スル御考デアアルカ、ドウデアアルカ、是ガ第一ノ點デアリマス、第二ニハ高等師範學校ト云フモノハ、御承知ノ通り是ハ特別ノ機關デアアル、我ガ日本ノ國民教育ヲ掌ルベキ中樞ノ機關トナテ、從來カラ我ガ教育界ニ貢獻スル所、非常ニ多クカトコト、信ジマス、將來若シ之ヲ大學ニ直ス必要ガアリトシテ見テモ、從來ノ特色ヲ其儘ニ維持シテ、從來ノ特色ヲ其儘ニ置イテ、其資格ヲ上ゲルト云フコトハ、是ハ一ツノ方法デアアラウト思ヒマス、併ナガラ全然是迄ノ高等師範學校ト云フモノヲ廢シテシマテ、別ニ新ナル大學ヲ起スト云フコトハ、餘程考ヘ物デナカラウカト思ヒマス、文部大臣ノ考ニ依ルト、高等師範學校ハ之ヲ廢メシテ、全ク別ノ文科或ハ理科ノ大學ヲ設ケル、設備ハ元ノ高等師範學校ノ設備ト違フケレドモ、其性質——學校ノ性質ハ全ク別ナモノヲ置イテ、新ニ二ツノ大學ヲ立テル方針ヲ執ラレル、斯ウ云フ御考ノヤウニ聞キマシタガ、果シテ是ハ事實デアアルカドウカ、若シソレガ事實デアルトスルト、我ガ教育界ノ將來ニ取テ、高等師範學校ノ現狀ヲ存續スルコトガ惡イカ善イカ、此點ニ對スル御意見ノ程如何ト云フコトヲ聽キタイ譯デアリマス、第三、文部大臣ハ大正九年ノ初頭ニ於テ計畫案ヲ御定メニナッテ、又大正十年度ニ至テカラ更ニ前ノ計畫案ト違ウタモノヲ御持ニナッテ、僅カ一年ノ間ニ非常ニ計畫ガ變タ、例ハ秋田ノ鑛山專門學校ノ如キ、大正九年度ノ案ハ大學ノ昇格案デアッタガ、大正

十年度ニハ之ヲ廢メニスル案ニナスッテ、高等師範學校モ大正九年度ノ案ニ於テハ、大學ニスルト云フ案デハナカッタガ、大正十年ニ至テハ之ヲ大學ニスルト云フ案ニ御變ヘニナッテヤウデアアル、其理由ハ何所ニアルカ伺ヒタイ、第四ハ文部大臣ハ過去ノ口約ニ基イテ、大正十年度ヨリ實行スル目的ヲ以テ、前期ノ昇格案及專攻科設置案ヲ、今期議會ニ追加豫算トシテ、御提出ニナルト云フ御考デアリマス、カドウデアリマス、最早議會モ開會セラレテ、吾々豫算案ニ關シテ審議ヲ爲スト云フ時ニナシ居リマス、此宿題タリシ昇格案ニ就テ、今尙モ熟考ト云フコトハナカラウト思ヒマス、最早御決心ガ著イテ居ルベキ答ノモノデアリマス、或ハ何か手續上ニ於テ、モウ暫ク時機ヲ要スルト云フコトガ御有リニナルカモ知レマセヌ、大體ニ於テ此追加豫算ニ御提案ニナル積リデアアルデアラカ、サウデナイノデアリマス、ソコヲ一ツ明瞭ニ承テ置キタイ次第デアリマス、大體私ノ昇格問題ニ就テ質問ヲ致シタイト思フ所ノ要領ハ即チ是レデアリマス(拍手起ル)

(國務大臣男爵田中義一君登壇 拍手起ル)

〔臣節ヲ全スルノ人「默レタ」ト呼フ者アリ〕

○國務大臣(男爵田中義一君) 唯今下閣君ヨリノ御尋デアアル第一、西伯利ニ出兵ヲシテ、何物カ效果ヲ齎シタカト云フ事デアリマス、此出兵ノ事柄ニ就キマシテハ、昨日モ總理大臣ヨリ御述ニナリマシタノデ、其理由、又今日ノ狀態ハ私ガ此處デ申ス必要ハアリマセヌ、其效果如何ト云フコトニ就テハ、陸軍大臣トシテ私ガ申スコトガ適當デアラウト思ヒマス、即チ日本軍隊ガ出動シテ、二年以上多大ノ心勞ヲ致シマシタ爲メニ、今日ノ極東ハ治安ヲ維持シテ居ルノデアリマス、即チ大ナル赤化ヲセヌノデアリマス(拍手起ル)之ガ效果デアアル、又滿洲斯德ニ於テハ、多數ノ國民ガ今日ハ彼等ガ營業ヲ續クテ居ルノデアリマス(詭辯「モウ少シ具體的ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ)次ニ今度ハ私ノ進退問題ニ關スル直接ノ御質問デアリマス、曩ニ特別議會ニ於テ、貴衆兩院ノ間ニ、何等カ二重ノ人格ヲ疑ハシメルト云フヤウナコトガ、アッパノデハナイカト云フコトデアリマス(其通りト呼フ者アリ)二重ノ人格ト云フ事ハ、如何ナル事デアリマス、貴族院ニ於テハ、皆樣樣速記ヲ能ク御覽ニナルト分ルノデアリマス、其責任ハ參謀總長ガ持ツノカ、陸軍大臣ガ取ルノカ、誰ガ——外務大臣ガ取ルノカ、斯ウ云フ御尋デアアル、苟モ國民ニ對シテ、又總テノ事柄ヲ國務大臣トシテ、陸軍大臣ガ全責任ヲ取ルノデアアル、斯ウ答ヘタルデアアル(「取ツカ」ト呼フ者アリ)而シテ又其事柄ガ果シテ過失怠慢ト云フコトハ、何等無イト云フコトヲ衆議院ノ諸君ニ申シタノデアアル

○議長(奥繁三郎君) 靜肅ニ……

○國務大臣(男爵田中義一君)(續) 次ノ問題ハ(「默テ聴ケ」默レ)「ト呼フ者アリ」何ノ爲ニ辭表ヲ出シタカ云々ノ事デアリマス、私ハ貴族院デ臣節ヲ全ウスルト云フコトハ申シタノデアアル、又今日私ハ臣節ヲ全ウシテ居ルノデアリマス(拍手起ル)「ノウ」ト呼フ者アリ、而シテ其手續云々ハ、此處デ諸君ニ説明スル限リデナイト思フノデアアル(拍手起ル)「厚顔無耻」ト呼フ者アリ、次ニ凡ソ閣臣ノ進退ト云フモノハ、私ハ陛下ノ命令ニ依テ進退スルモノデアルト考ヘル(拍手起ル)「ソシナコトハ分デルト呼フ者アリ」若シモ、陛下ノ留レト云フ御命令ガアレバ、如何ナル事ガアツテモ、水火ノ中ダモ尙ホ辭セヌト云フコトガ、臣節デアラウト思フノデアアル(生意氣ナコトヲ言フナ)「鈍ラ武士」ト呼フ者アリ、而シテ之ヲ以テ衰龍ノ袖ニ隠レル云々ト云フコトハ(其通リ)ト呼フ者アリ、即チ政治的觀察ヲ以テスル僻目デアルト思フ……

(「拍手起ル」ノウ)「是レ二重人格デアアル」默テ聴ケヌノカ「聴カナイ」ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 靜肅ニ……

○國務大臣(男爵田中義一君)(續) 然ラバ、陛下ニ對シテハ、唯今申シマシタ如ク過失怠慢ハナイトシテモ、宸襟ヲ惱シ奉タト云フコトニ於テハ、洵ニ恐懼ノ至リニ堪ヘヌノデアアル(誰ノ責任ダ)ト呼フ者アリ、而シテ此事柄ハ即チ私ガ臣節ヲ全ウシテ居ルト云フコトヲ、此處デ明言スル所以デアル(拍手起ル)「良心アリヤ」ト呼フ者アリ

(此時發言スル者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 靜肅ニ……

○國務大臣(男爵田中義一君)(續) 此事アツテ始メテ下岡君ノ言ハレル如ク、其心得ガアツテ、始メテ幾十萬ノ軍人軍屬ヲ統率スルコトガ出來ルノデアアル、(「ノウ」)「我ガ武士道ハ亡ビタ」ト呼フ者アリ、是ダケヲ以テ私ハ御答ガ十分デアルト思ヒマス(拍手起ル)

(「武士道ノ賊デアアル」ト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 中橋文部大臣——靜ニ——一寸諸君ニ注意シテ置キマス、演説ニ對シテ批評ヲ試ミル人ガアツテ、ソレガ非常ニ妨ニナル場合ニハ、議長ヨリ制止シマス、諸君相互ニ制止スルコトハ一切禁止シマス、是ダケ注意シテ置キマス(拍手起ル)

(「議長公平」ト呼フ者アリ)

○國務大臣(中橋德五郎君) 下岡君ノ御質疑ニ御答致

シマス(「謹聴」ト呼フ者アリ)御質疑ノ要點ハ、臨時教育會議ノ決議ヲ無視スルカドウカト云フノガ第一デアット思ヒマス、ソレカラ第二ガ高等師範學校ヲ大學ニ變ズルナラバ、其特色ヲ有セナクチャイカヌデヤナイカ、ソレハドウスルカ、斯ウ云フ意味ノヤウニ聴取リマシタ、ソレカラ九年度ノ案ト十年度ノ案トノ相違ノ理由ハドウダ、最後ニ追加豫算トシテ提出スルカドウカ、斯ウ云フ四箇條ト記憶シマシタ、ソレニ就キマシテ御述ニナル理由ノ中ニ、或ル學校ニ向ッテ口約ヲシタカ、若クハ秋田ノ鎮山學校ハ單科大學令ヲ發シタ場合ニハ、必ズ之ヲ大學ニスルノダト云フコトデアット云フヤウナ御話ガアリマシタ、ソレニ對シマシテハ御答ヲシテ置キマスガ——御答ハ要ラヌカモ知レマセヌ、私ノ方ノ辯明ヲ致シテ置キマスガ、一體此學校ノ組織、計畫、規模ニ就テ世間ニ話ヲ致シタコトガアリマス、貴族院デモ致シタコトガアルケレドモ、マダ約束ヲ致シタト云フコトハ無イノデアリマス(拍手起ル)「ソレカラ秋田ノ鎮山專門學校ヲ、單科大學令ガ出タナラバ大學ニスルト云フコトハ、其時分ノ關係者ハ多分皆ナ熱心ニ希望シテ居リタ人モアルノデセウ、ソレハ別問題デス、私共ハ知リマセヌ、ソレカラ此質問ハ四ツアルノデスガ、此四箇ノ御質疑共ニ今日世ノ中ニ噂シ、新聞ニ出テ居リマスル昇格トカ、或ハ專攻科設置トカ(公會ノ席デ言ッタノデハナイカ)ト呼フ者アリ」云フ事柄ハ、當局ガ之ヲ既ニ案トシテ出シタモノ、如ク、御考ニナシタカラシテ起タノデアアル……(約束ハドウシタ)ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ……

○國務大臣(中橋德五郎君)(續) 當局ハマダ案ヲ提出シテ居リマセヌ——案ヲ提出シテ居リマセヌ……

(「原サンニモ似合ハヌ」ト駄目ダ落第ダ)ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 靜肅ニ……

○國務大臣(中橋德五郎君)(續) 此案ガ臨時教育會議ノ決議ニ反スルヤ否ヤト云フコトハ、案ガ出テカラノ話デアリマスカラ、此御返事ハ致シマセヌ、ソレカラ高等師範學校ヲ大學ニスルト云フコトモ、マダ當局ハ言ッテ居リマセヌ、不明デアリマス、調査中デアリマス、隨テ九年度ト十年度トノ案ノ相違ナド、云フコトハ、當局トシテハ是ハ御返事スルニ甚ダ迷惑ヲ感ズル譯デス、況シテ追加豫算ヲ提出スルカドウカト云フコトハ、マダ能ウ決メテ居リマセヌ、將來ノ事デス(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 下岡忠治君

(「下岡忠治君登壇 拍手起ル」)

○下岡忠治君 唯今ノ陸軍大臣ノ御答辯ハ、立憲大臣

トシテ驚入ッテ御答辯デアルト思ヒマス(「ヒヤ」)「ト呼フ者アリ、拍手起ル」吾々御互ニ、陛下ノ御命デアアルナラバ、水火ノ中タリトモ踏ムコトヲ辭サヌト云フコトハ勿論ノ事デアアル(「ヒヤ」)「ト呼フ者アリ」併ナガラ苟モ立憲大臣トシテ輔弼ノ責任ヲ有テ居ル者ガ、君命ニ藉口シテ、其罪ヲ免レルト云フコトハ怪シカラヌ(「ヒヤ」)「ト呼フ者アリ、拍手起ル」何事ヲ言フノデアアル、憲法義解ニドウアリマス、是ハ伊藤公爵ノ憲法義解デアリマス……

(「元ノ政友會總裁ダ」ト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 中野君靜ニ……

○下岡忠治君(續) 「大臣ノ君ニ於ケルハ務メテ獎勵匡救ノ力ヲ致シ」——獎勵匡救ト云ヘバ申スマデモナク、君ノ美ハ之ヲ獎勵シ、其非ハ之ヲ匡救スルト云フ意味デアリマス(「拍手起ル」)「務メテ獎勵匡救ノ力ヲ致シ」若シ其ノ道ヲ忽ルトキハ君命ニ藉口シテ以テ其ノ責任アルコト、シテ陛下ニ罪ヲ乞フ以上ハデス、陸軍大臣ハ自ラ勿論、其意思ノ貫徹ヲ願フノガ當然デアアル、又、陛下ヲ輔弼シテ居ラレバ一切合切善イ事デアラウガ惡イ事デアラウガ、皆ト其君命ニ順フト云フコトハ、立憲大臣ノ爲スベカラザル事柄デアリマス(拍手起ル)「憲法義解ニ明ニ其事ヲ言ウデアアル、立憲政治ハソレデナクテハナラヌ、陸軍大臣ハ「サーベル」下ゲテゴザルケレドモ、一方カラ言ヘバ國務大臣デアリマス、國務大臣デアアル以上ハ、國務大臣ノ進退ニ就テハ苟且ニモ君命ニ藉口シテ其罪ヲ免レント欲スルハ何事デアリマスカ(拍手起ル)「實ニ怪シカラヌ御答辯デアルト思ヒマスガ、併シ是レ以上ハ申シテモ、唯ダ議論ニ涉リマスカラ、甚ダ不都合ナル答辯デアルト云フコトダケヲ斷言シテ置キマス、又文部大臣モ甚ダ怪シカラヌデス、何モ約束シテ居ラヌト言ッテゴザル實ニ文教ノ中心ニ在ル人ガ、サウ云フ嘘ヲ御吐キニナッテハ困ルデハナイカ(拍手起ル)此ノ特別議會ニ於テ、甚ダ失禮デアリマスルケレドモ、世ニ嘘吐文相ダト云フコトヲ申シマシタ、其事柄ハ今私ハ申シマセヌガ、又矢張同様な事ヲ仰シヤル、神戸ニ於キマシテ高等商業學校デ御話ニナッタコトハ、私ハ直接ニハ聴キマセヌデシタガ、間接ニハ種々ノ人カラ聞イテ居リマス、例ヘバ貴族院議員ノ勝田銀次郎君ナドモ其席ニ居リマシタ(市長モ居タ)ト呼フ者アリ、市長モ居リマシタ、其折柄(ドウダ文部大臣)ト呼フ者アリ、演説シタ所ヲ讀ンデ見マセウ「專門學校昇格ニ關シ研究調査ノ結果、第一次ノ昇格ガ大正十年度ニ於テ完結スレバ、第二次ニ屬スルモノハ大正十年度ヨリ著手シ、大正十三年度ニ於テ

完結スルノ便ナルヲ認メシニ依リ、大正十年度ヨリ之ヲ著手スルコト云フコトニスルノデアル。斯ウ云フ趣意ノコトヲ先ヅ前置ニ仰シヤテ、更に進シテ斯ウ云フ事ヲ仰シヤテ居リマス。本校ニ來ルコトハ、關西旅行ノ序デハナク、態、來校シタノデアル。一ニ昇校問題ノコトガ主要ノ要件デアル、而シテ昇格ノ順序ハ今申ス通りニ、大正十年度ニ於テヤル積リデアルガ、本校ハ豫テ校長始メ職員諸君ガ熱心ニ本問題ニ努力セラル、縣市當局、商業會議所ニ於テモ屢、文部當局ト交渉アリ、又有志諸君ヨリ多額ノ寄附ガアリ、又寄附サレントスル方モ多クアルヤウニ承テ居リマスガ、是ハ國家教育ノ爲メ喜ニ堪ヘナイ次第デアリマス云々、斯様ニ御話ニナツタ、是デモ生徒ハ甚ダ怪シイト思ヒ、嘘ヲ言ハレテハ困ルコト云フ考ヲ以テ、委員ヲ選シテ直接文相ニ面會シテ、文相ハ更ニ斯ウ言ハレテ居ル、諸君ノ希望セラル、如ク、大正九年四月ト云フコトハ出來サクナク、世ノ中ノ事ハ十中ノ八九マデ思フ儘ニナラヌコトガ多イカラ、諸君モ遺憾デアラウガ一年待テ給ヘ、政府トシテハ大正十年度カラ昇格ニ著手スル、學生ハ校長教授ニ信頼シテ御勉勵ナサシ、明ニ約束ナスタノデアル、確ニ是ハ約束ト謂ハザルヲ得ヌ、又藏前ノ高等工業學校ニ就テモ同様デアアル、大正十年度ニ於テハ確ニ著手スルト云フノデ、尙ソレニ御念ノ入タコトガ書イテアリマス。前記藏前外數校ノ昇格ヲ大正十年度ノ豫算ニ計上スルコトハ、實ハ十二月十一日高等教育會議ヲ終リタル後發表ノ豫定ナリシモ、本大臣責任ヲ以テ發表スルコトニセリ、尙政府ハ來年度ニ必要ナル設備ヲ爲スニ足ル十分ノ資金ヲ有ス、此資金ハ教育機關以外全然他ニ使用スルコトヲ得ザルモノナレバ、例令政府ハ更迭スルモ、昇格増設計畫確定セル以上、此目的ニ使用スルノ外ナシ、故ニ昇格ハ確實ニ成立スルモノト認ムルヲ得ヘシ。九年度ニハ遺憾ナガラヤレヌカラ、先ヅソレハ辛抱ヲシテ呉レ、併ナガラ大正十年度ニ至タナラ、確ニ實行スルコトヲ誓フント云フ御趣意デアリマス、然ルニ之ニ就テ生徒ハマダ甚ダ不安ニ思ウタカラ更ニ學校ノ商議員ガ文相ニ面會シテ色々交渉ヲ重ネタ結果、此商議員等ガ「文部當局今日ノ聲明ハ徹頭徹尾誠意アルモノト承認セラレタシ同時ニ吾等仲介者ハ何レモ責任ヲ帶ビ當局者ヲシテ必ズ實行セシムベキコトヲ約シ是レ以上運動ヲ繼續スルニ於テハ社會ノ同情ヲ失フノ虞アレバ此邊ニテ教員及生徒ノ諒解ヲ得タシ」生徒モ之ニ宥メラレテ運動ヲ中止シタコトニナツテ居リマス、是ハ明ニ文部大臣ガ公約ヲナスタモノト言ハズシテ何ゾヤ、私ハ昇格スルコトノ是非ト云フコトニ就テハ留保シテ居ルノデアリマス、殊ニ斯ノ如キ問題ニ就テ、學校ノ生徒ガ大騒ヲシテ、職員ガ其

運動ノ渦中ニ入ッテ狂奔スルト云フヤウナコトハ、實ニ教育界ニ取ッテハ甚ダシイ事ト思ヒマスカラ、成ベク斯様ナ事ノ起ラヌコトヲ希望スル、併ナガラ免ニ角、苟モ文相ガ公々然トシテ各方面ニ約束ヲシテ置イテ、今日ニナツテハ何等サウ云フ約束ヲシタコトハナイイト云フヤウナコトヲ御言ヒナサノハ、全ク白ヲ黒ト做ナシ、無ヲ有ト做ス、實ニ不都合千萬ナル答辯ナリト信ジマスガ、尙ホ此上追窮シテ見テモ、餘リ效能ノ無イ事ト思ヒマスカラ、私ノ質問ハ是デ打切ルコトニ致シマス

〔國務大臣中橋德五郎君登壇〕

○國務大臣(中橋德五郎君) 質問ハ打切ニナリマシタガ、其打切ノ御言葉ノ中ニ就テ申上ゲテ置ク方ガ必要ト思ヒマスカラ、一言致シマス、唯今御朗讀ニナリマシタノハ、多分某學校ノ關係ノ人ガ報告書ヲ配タモノダラウト思ヒマス、其報告書ノ中ニモ大抵ハ事實ニ合フテ居リマスガ、中ニハ多少事實ヨリ進シタヤウナ記事モアリマス、ト云フノハドウシテモ學校關係ノ同窓若クハハレニ關係シテ御方ノ報告ハ、多少話ガ進シテ行クコトハ、是ハ免レヌ次第デアリマス、ソコデ頻リニ約束ヲシタコト云フ話デアリマシタケレドモ、是ハ明ニシテ置カヌト行違ガ生ズルト思ヒマス

〔此時發言スル者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 中野君、靜ニ...

○國務大臣(中橋德五郎君) (續) ソコデ文部當局ハ其當時ニ於キマシテ、自分等ノ計畫ト云フモノヲ世間ニ向ッテ話シタノデアリマス、是ハ單リ學校ダケデアリマセヌ、諸方ニ於テ此話ヲシテ居リマス、高等教育機關擴張案ノ實施ニ著手シタ時デアリマスカラ、其計畫、即チ學生ノ收容力總體ニ就テ、各地ニ於テ其計畫ヲ御話シテ居ル譯デアリマス、其内ノ一節トシテ御話シテ居リマス、ソコデ計畫ヲシテサウシテ十年度ニ於テ或ルモノハヤルト云フコトニ著手シヤウト云フ話ヲシタノデアリマス、併シ文部當局ガ之ヲ實施シヤウトスルニハ、即チ先程御話ノアリマシタ如ク教育委員會モアリマスシ、ソレト機關ヲ通ラナクテハ完成シナイノデアリマス、文部當局ハ之ガ調査ヲ終レバ、實施スル積リデ居ルノデアリマス、然ルニ色々言葉ヲ御用井ニナリマシタケレドモ、事實ハサウ云フコトデアリマスカラ、是ハ質疑ノ御方ノミデナク全體ニ御話申上ゲテ置ク次第デアリマス

○議長(奥繁三郎君) 湯淺凡平君

〔湯淺凡平君登壇〕

○湯淺凡平君 私人質問ノ範圍ヲ朝鮮統治ノ問題ニ關係致シマシテ、之ヲ局限致シテ、政府ノ所見ノ在ル所ヲ二承リタイト思フモノデアリマス、併ナガラソレニ先ダッテ一

言御尋ヲ致サナケレバナラヌ事ハ、唯今ノ文部大臣ノ御答辯ノ一節デアリマス、下岡君ヨリ報告サレマシタル所ノ學校關係者、若クハ學生ヨリ吾等ニ屢、告白ヲ致シテ居リマスル所ノ事實ハ、確ニ下岡君ノ報告サレタル通りナノデアリマス(拍手起ル)然ルニ之ヲ文部大臣ハ事實ニ非ズ、斯ノ如キ約束ヲ爲シタルコトハ斷シテナイト仰シヤル、然ラバ今日學校ニ於ケル所ノ學生ナルモノハ、正シク文部大臣ノ言ハザル所ヲ言ッテアルト、吾等ヲ偽テ居ルコトニナル、(ヒヤ)ト呼フ者アリ、拍手起ル、尙且ツ學校關係者モ亦吾等ヲ欺イデ居ルト云フコトニナルノデアリマス、(ヒヤ)ト呼フ者アリ、此文部大臣ノ一言ハ、若シ文部大臣ノ申サレルコトガ正シイノデアルトスルナラバ、今日ノ學校教育ノ上ニ於テ重大ナル問題ト私ハ思フ(拍手起ル)若シモ文部大臣ガ左様ナ約束ヲ爲サレノニ、尙且ツ其文相ノ言ヲ偽テ天下ヲ騒ガスト云フコトハ、今日教育界ノ大問題ト思フ、(ヒヤ)ト呼フ者アリ、拍手起ル、文部大臣ハ果シテ之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ラレノデアルカ、私ノ虞レル所ハ今日ノ御說明ニ依ッテ此反響ニ依リマシテ、明日ヨリ恐ラクハ此學生ノ間ニハ、大ナル動搖ガ起ルモノト私ハ思フノデアリマス、無論々々ト呼フ者アリ、拍手起ル、故ニ此問題ニ對シテ、文相ハ果シテ如何ナル處置ヲ執ラントセラレノデアルカ、之ヲ承リタイ、一先ヅ私ガ朝鮮ニ就テ御尋シタイト申ス事ハ第一ガ政府當局者ハ今日朝鮮千七百万人ノ民心ノ傾向ヲ如何ニ御觀察ニナツテ居ルカト云フコトデアリマス、果シテ平穩無事ナリト御觀察ニナツテ居リマスルカ、或ハ不安險惡ナリト御觀察ニナツテ居ルノデアリマスルカ、此御尋ヲ致ス所以ノモノハ、若シ不安險惡ナリト御考ニナツテ居ッテ、平穩無事デアアルモノナラバ、ソレ程ノ弊害モアリマスマイ、併ナガラ之ニ反對ヲ致シテ、頗ル險惡ノ狀況ニ在ルモノヲ無事平穩ナリト御觀察ニナツテ、統治ノ方針ヲ御進メニナルト云フコトニナリマシタナラバ、必キ恐レベキ結果ヲ招徠スルモノデアナイカト憂ヘルノデアリマス(拍手起ル)朝鮮總督又ハ其屬僚ノ方々ニシテ近來頻ニ朝鮮ノ天下泰平ナルコトヲ御吹聴ナサレバ、恰モ民新政ニ悅服ヲ致シテ、誠腹擊壤ノ風アリト云フガ如キ樂觀の御宣傳ニ努メテ居ラレヤウデアリマスルガ、併ナガラ吾等ノ如キ朝鮮ニ特別ノ關係ヲ有スル者ヨリ觀察致シマスレバ、全ク之ト反對ナノデアル、反對ナリト云フコトノ一例ヲ申上ゲデ見マスレバ、現ニ密陽警察署ノ爆彈事件ナルモノガ起リマシタノハ、最近ノ事實ナノデアル、犯人ガ白晝公然ト警察署ノ建物ニ侵入シテ、勤務中ノ警察

官ニ向テ爆彈ヲ投付テ居ル、而モ其行動ノ跡ヲ調ベテ見マシレバ、恐ルベキモノガアルノデス、唯ダ一片ノ出來心ニ依テ之ヲ爲シタルデハナイ、一彈ヲ投ジテ其爆發セザル無効ナルコトヲ認ムルヤ、直チニ又第二ノ爆彈ヲ投付ケタト云フガ如キハ、餘程大膽ニシテ、決死ノ者デナケネバ之ヲ爲スコトガ出來ナイノデアリマス、是等ニ依テ見マシテモ、今日ノ朝鮮人ナルモノ、不穩ナル行動ニハ、如何ニ動カスベカラザル所ノ決心ト、奪フベカラザル所ノ根柢ガアルコト云フコトヲ、洞察スルニ難カラナイノデアリマス、(拍手起ル)又更ニ今日朝鮮ノ各地方ニ於キマスル所ノ所謂富豪ナル者ハ、此不安不穩ナル所ノ朝鮮人ノ脅迫ニ依リマシテ、所謂軍用金ナルモノヲ要求ニ依テ、一日モ枕ヲ高ウシテ眠ルコトハ出來ナイト云フヤウナ狀態ニ陥テ居ルノデアリマス、更ニ又一般的最モ著シイ所ノ例ヲ申上ゲマスレバ、日本ノ大祭祝日ニ當リマシテハ、會テハ申合セタルガ如クニ、旭日旗ヲ掲揚致シタルモノガ、近來ハ殆ド一人トシテ此旗ヲ掲ゲル者ハ無イノデアリマス、若シ或諒解ヲナシテ居ル者ガ、此旗ヲ掲ゲルコトガアリマシタルハ、忽チ多數ニ依テ非常ナ脅迫ヲ蒙ラネバナラヌト云フ狀態ニ陥テ居ルノデアリマス、是等ノ事實カラ考ヘテ見マシテモ、決シテ總督府ノ方ニ宣傳セラル、ガ如ク、左様ニ朝鮮ガ泰平無事デアルト云フコトハ申サレマセヌノデアリマス、而シテ斯ノ如キ狀態ヲ呈シテ居リマスル所ノ、其原因ヲ尋ネテ見マシレバ、色ミアルデゴザイセマウ——色ミアルデゴザイセウガ其主ナルモノハ、所謂日韓合邦當時ノ、合邦ヲナシマシタル所ノ趣旨ト云フモノヲ、彼等朝鮮人ガ誤解ヲシテ居ルノニ基クデアリマス、日韓合邦ノ趣旨ハ、炳トシテ詔勅ニ明カナノデアリマス、決シテ日本帝國ハ朝鮮ヲ征服シタルモノナケラレバ、屬國トナシタルモノデモナイ、所謂日韓兩國ノ共存ニ基イテ行ハレタルノ此合邦デアリニ拘ラズ、其當時朝鮮人ハ詔勅ノ文意ヲ如何ニ解釋致シマシタルカ、洵ニ恐懼ノ至リデゴザイマスルガ、彼等ハ斯ウ解釋シタル、如何ニ詔勅ノ文面ハアルトモ、日本帝國ノ真意ハ憤激ヲ致シタル、此誤解ハ獨リ朝鮮人バカリデハナイ、日本人ニ於キマシテモ、殊ニ又其當時ノ總督府ノ官吏ノ多數ニ於テモ、確ニ朝鮮人ト同ジヤウナ錯誤ニ陥テ居ルノデアリマス、是ハ官民ヲ舉ゲテ、矢張朝鮮人ト同ジヤウニ、日本帝國ハ朝鮮ヲ屬國ニナシタルモノデアルト誤解致シタル、而シテ總督府ノ行ヒマシタル所ノ統治方針ハ、恐ラクハ事實ニ於テハ、此朝

鮮人ニ對シテ屬國ノナ、朝鮮人ヲ見ルコト征服者ノ如キ態度ヲ以テ進メタルト云フコトガ一ツノ原因デアリマセウ、今一ツノ原因ハ彼等ハ非常ニ此合邦ト云フモノニ不滿ヲ抱イテ居タル——不滿ハ抱イテ居リマシタケレドモ、免ニモ角ニモ多年ノ惡政ニ苦シミマシタル所ノ朝鮮ノ人民ハ、日本ノ政治ニナリマシタルナラバ精神のニハ免モ角モ實際上ノ政治ノ方面ニ於テハ、何等カ朝鮮人ニ對シテ幸福利益ヲ與ヘルヤウナ治績ヲ舉ゲラレルモノデアルト信ジタ、彼等ガ其最初ニ於テ旭日旗ヲ掲揚致シマシタルハ、僅ニ此一縷ノ望ヲ有シテ居タルカラデアリマス、然ルニ合邦以來十年、總督政治ノ方針ハ相變ラズ此朝鮮ヲ見ルコト、尙ホ屬國ノ如キ方針ニ依テ進メラレ、而シテ彼等ガ事實ノ上ニ期待致シマシタル所ノ統治ノ治績モ、全ク彼等ヲシテ失望セシメタルデアリマス、若シ朝鮮總督政治ニ於テ治績トシテ見ルベキモノガアルナラバ、私ハ舉ゲテ見テ賞ヒタイ、合邦以來十年ノ間ニ、私共ハ何一ツ治績トシテ舉ゲタルモノハ無イト思ヒマスガ、強テ之ヲ求ムレバ、教育ノ方面ニ於テ普通學校ガ建設ヲ致サレタ、交通ノ方面ニ於テキマシテ鐵道ガ延長シタル、道路ガ改修サレタ是ダケデアリマス、又更ニ誤ラレタル所ノ總督政治ノ方針ヲ改メテ、文化政策ヲ行フコトニナリマシタル以來、是モ既ニ二年有餘ノ歲月ヲ經過致シテ居ルノデアリマシタケレドモ、此二年ノ間ニ果シテ如何ナル事ガ行ハレタカ、憲兵ガ巡查ニ代リ、朝鮮人官吏任用ノ範圍ガ擴張ヲ致シタルト云フコトガアリマス、是レ以上ニハ取立テ、見ルベキモノハ無イ、而シテ普通學校ノ成績ハ如何デアリマスカ、是ハ計畫トシテハ洵ニ結構デアリマス、結構ナ事デアリマシタケレドモ、事實ニ於テ今日ノ普通學校ナルモノハ、殆ド排日團ノ本部デアルガ如キ、悲ムベキ有様ヲ呈シテ居ルモノデアリマス、又更ニ鐵道ニ就テ見マシテモ、成程十二年間ノ成績デアリマシタケラ、幾分延長ハ致シテ居リマシタケレドモ、日鮮人ノ非常ニ熱望致シテ居リマス所ノ京元線ノ如キモノモ、中止ノ已ムヲ得ザルニ際會シ又今日ノ鐵道ノ經濟モ、甚ダ悲ムベキ狀態ニ陥テ居ルト云フノガ事實デアリマス、又政府ハ此私設鐵道ヲ補助スル、私設鐵道ノ補助ニ努メラレテ居ルヤウデアリマスガ、此私設鐵道ノ補助ニ就テモ頗ル非難ガ多イデアリマス、現ニ或ル私設鐵道ノ如キハ、年八朱ノ補助——隨分過大ナル所ノ補助ヲ受ケテ居ルニ拘ラズ、其會社ノ株券ガ、今日十圓ノ拂込ノ物ガ、其二十分ノ一五十錢ノ値ヲ有シテ居ラヌト云フヤウナ狀態ガアルノデアリマス、之ヲ尋ネテ見マス

レバ、其會社ノ重役ナル者ニ信用ガ無イノデアリマス、或ル會社ノ計畫ニ於テ甚ダ不確實ナモノガアルト云フノデアリマス、斯ノ如キモノヲ莫大ナ補助ヲ與ヘテ居ル總督府ハ、何故ニ取調ヲ爲シ、監督ヲ爲サヌノデアルカ、斯ノ如キモノモ即チ朝鮮人ガ、甚ダ不快ノ觀念ヲ以テ眺メテ居ル一ツデアリマス、更ニ又道路ニ至テハ、道路ハ出來マシタル、道路ハ出來タガ、此道路ハ多ク朝鮮ノ夫役ニ依テ出來テ居ル、此夫役ト云フコトガ又朝鮮人ニ取リマシタルハ、甚シキ苦痛デアタルデアリマス、併シ此道路ノ出來ルコトモ惡クナイガ、併シ道路ガ出來テモ橋梁ガ無イ、朝鮮ノ道路程甚ダ不思議ナモノハナイ、ソレ故ニ折角出來上リマシタル道路モ餘リ用ニ立タナイデ、却テ牛馬ノ牧場ニ供サレテ居ルヤウナ有様ニナッテ居ル、斯様ナ次第デアリマス、併シ又憲兵ガ巡查ニ代ッタルコトモ、是ハ甚ダ喜バシイ事デ、吾々ノ贊成スル事デアリマスガ、是トテモ未ダ大ナル效果ヲ示シテ居ラス、是ハマダ日ガ淺イノデアリマスカ、已ムヲ得ナイノデアリマセウケレドモ、朝鮮人ノ目ニハ眞正ノ治績デアルトハ認メテ居ラス、又鮮人ノ任官ノ範圍ガ廣クナタト云フコトモ結構デアリマセウ、アリマセウケレドモ、官吏任用ト云フガ如キハ、治績トシテ見ル上カラハ、洵ニ是ハ些細ナモノデアリマス、斯様ナ次第デアリマシテ、彼等ガ折角萬一ノ希望ヲ致シテ居リマシタル所ノ事實上ノ治績モ、少シモ舉ゲテ居ラヌト云フ狀態デアルカラ、茲ニ彼等ハ大ナル失望ヲ感ジタルデアリマス、恐ラクハ合邦ノ詔勅ニアルガ如キ文化政策ナルモノモ、宣言ハ甚ダ美ナリト雖モ、其實行ニ就テハ彼等ハ信用ヲ置クコトガ出來ナイト云フノガ、即チ今日ノ不平ヲ起シテ居ル重ナル原因デアルト私ハ思フノデアリマス、政府當局ハ果シテ是等ノ不穩ナル現狀アリトスルナラバ、其原因ハ斯ノ如キモノデアルトハ御認ニナラヌノデアリマセウカ、固ヨリ文化政策ト云フコトハ結構ナ事デアル、政府ガ朝鮮統治ノ方針ヲ文化政策ニ御求メニナタト云フコトハ、吾々雙手ヲ舉ゲテ贊成ヲスル事デアリマス、併ナガラ此文化政策モ徹底的ニ實行ヲ爲サヌケレバ、却テ彼等ガ疑感ノ的トナルニ過ギナイト私ハ思フノデアリマス、此文化政策ヲ實際ニ御行ヒニナラウト云フニハ、朝鮮人ニ對シテ精神のニモ、物質的のニモ、必ズ見ルニ足ルベキ、彼等ヲシテ承服セシムベキ、施設經營ヲ爲サヌケレバナラヌ、固ヨリ國費ノ關係モアリマシタルカ、之ヲ現實ノ問題トシテ御實行ヲナサルト云フコトニハ、相當ノ時日ヲ要スルデアリマセウ、アリマセウガ、計畫ダケハ御發表ニナ

ルコトが必要デハナイカ、精神的ニ彼等ノ希望ニ向テ光明ヲ點ズルガ爲メニハ、彼等ガ最モ熱望シテ居ル所ノ自治ヲ認メル完全ナル自治ヲ認メルト云フコトニ就テハ、如何ナル方法ヲ御執リニナルデアアルカ、更ニ進シテ所謂一視同仁、内鮮無差別ノ精神カラ、朝鮮ニ於キマシテ帝國憲法ノ實施ヲ御斷行ナサルト云フコトガ當然ノ歸結デアアル、此完全ナル自治ヲ許シ、憲法ノ實施ヲ御斷行ナサルノハ今年ヨリ何年ノ後デアアルカ、之ヲ御聲明ニナル必要ガ無イカ、御承知ノ通り我ガ帝國ノ憲法モ、發布ニ先ダツコト十年ニシテ詔勅ガ下テ居ルデアリマス、朝鮮人ニ對シマシテモ斯ノ如キ方法ヲ御執リニナルト云フコトガ、洵ニ必要デハアリマスマイカ（拍手）又物質ノ方面カラ申シマスナラバ、第一非常ニ苦境ニ陥テ居ル所ノ多數朝鮮人ノ生活ノ安定ト云フモノヲ保障スルニ就テハ、御計畫ヲ御發表ニナラナケレバイカヌ、此生活ノ改善ト云フコトヲ申シマス、餘程是ハ廣汎ナル問題デアリマセウ、アリマセウケレドモ、先ツ差當テハ産業ノ刷新ト云フコトデナケレバナラヌ、今日朝鮮ノ産業ノ刷新ニ關シテ、如何ナル施設ガ行ハレテ居リマスカ、殆ド見ルニ足ルベキモノガ無イ、日韓併合ノ際ニ於キマシテ、帝室ヨリ御下賜ニナリマシタル所ノ恩賜金ナルモノガアル、此恩賜金ヲ基礎ニ致シテ、頻リニ養蠶ノ蠶業ノ獎勵ニ努メテ居ラル、ヤウデアリマスガ、是ガ甚ダ不徹底ナノデアリマス、現ニ各道ニ於テ養蠶ノ獎勵ヲナサンガ爲メニ、桑ノ栽培ヲ寧ろ強制サレテ居ルヤウナ傾ガアル、又棉花ノ栽培モ同様デアリマス、然ルニ桑ガ出來テモ、繭ハ出來テモ、之ヲ販賣スル途ニ於テ何等適當ナル指導ガ行ハレテ居ラヌ爲メニ、桑ハ出來テモ養蠶ノ途ナク、養蠶ヲ爲シテモ繭ノ販賣ノ途ガナク、殊ニ近年ノ如キ繭ノ價ノ下落致シマシタル時ニ於テハ、農民ノ困難ハ著シモノデアリマス、現ニ此勸業ノ主任トモ謂フベキ技師ガ各地方ニ參リマスル、朝鮮ノ農民ハ桑ノ根ヲ拔イテ持テ來ル、是ガ何ニナルノダ、吾ガ穀物ヲ作テ居ル其場所ニ、斯ノ如キ物ヲ強テ植エサシテ、今日是何程ノ價ガアルカ、是ガ何ニナルカト云フコトヲ説明ヲ求メラレテ、非常ニ苦シメテ居ルト云フノガ事實デアリマス、又棉花ノ如キモ、是ハ我國ノ紡績業ニ對スル根本ノ政策トシテモ、結構ナ事デアリマスルガ、此棉花ヲ栽培セシメテ、其生産シタル所ノ棉花ハ、或ル一二ノ會社ガナケレバ買収ガ出來ナイト云フヤウナ組織ニナテ居ルガ爲メニ、非常ニ彼等ハ不便ヲ感ジテ居ルト云フヤウナ是ハ一二ノ例デ

アリマス、斯ノ如キ有様ニ陥テ居ルノガ、今日ノ産業ノ狀態デアリマス、其次ハ私ハ治水事業ヲ是非斷行ナサラヌケレバナラヌト思フ、此事ニ就キマシテハ既ニ三十九議會ノ豫算委員會ニ於テ、私ヨリ詳シク述ベテ置イタルデアリマスガ、今日ノ朝鮮ノ産業及交通、人文ノ發達、總テノ上ニ治水事業ノ舉ラザルガ爲メニ、非常ナル損害ヲ被テ居ルト云フコトハ申スマデモナイ、現ニ鐵道ノ如キモ年々數百萬圓ノ損害ヲ被テ居ル其他人畜田畑、總テノモノ、被ムル所ノ損害ハ非常ナモノデアリマス、唯今申シマシタ道路ノ橋梁ガ無イト申シマスノモ、畢竟ハ此治水政策ガ確立シテ居ラヌ、爲メニ川ノ位置ガ定マラナイカラ橋梁ノ架ケヤウガナイデアリマス、又朝鮮ニハ多數ノ荒蕪地ガアリマス、此荒蕪地ノ開墾モ治水事業ガ舉ラザルガ爲メニ、空シク荒廢ニ委シテアルデアリマス、將來我ガ帝國ノ食糧問題ノ解決ニ對シテモ、非常ニ考慮シナケレバナラヌ所ノ朝鮮ノ耕地ガ斯ノ如キ有様ニ陥テ居ルノモ、治水事業ノ舉ラザル結果デアリマス、嘗テ私ハ御尋シタ事ガアル、治水ナルモノハドウ考ヘテ見マシテモ、朝鮮總督府ノ施政方針トシテハ第一著ニ掲ゲラレナケレバナラヌモノデアアル、是ガ閣下シテアルノハ如何ナル理由デアアルカ、或ハ根本的ニ河川ノ整理ヲ爲スニハ、先ツ山林ノ荒廢カラ防ガナケレバナラヌト云フコトヲ唱ヘルガ、若シ山林ノ整理ヲ爲シテ、而シテ後ニ河川ノ改修ヲ爲スト云フコトデアラタラ、ソレコソ百年河清ヲ待ツト云フモノデアテ、到底今ノ朝鮮人ハ其恩惠ニ浴スルコトハ出來ナイデアリマス、山林ノ整理ハ宜シイガ、是ト同時ニ治水ニ對シテモ相當ノ設備ヲナサラヌケレバナラヌト私ハ思フガ、ソレモ出來テ居ラヌ、斯様ナ有様デアアル、惟フニ此朝鮮總督府ノ政治ト云フモノハ、相變ラズ傳統の官僚政治デ唯、行政組織ノ形式ニ因ハレ、繁文縟禮ノ弊ヨリ起ル所ノ内ノ組織ニ沒頭致サレテ、ソレガ爲メニ外ニ向テ、豫定ノ統治方針ヲ御進メニナルト云フヤウナ餘裕ガナイノデアリナカ、既ニ吾々ハ此帝國ノ行政及財政ト云フモノニ向テハ、大整理ヲ加ヘナケレバナラヌト云フコトヲ建議致シテ、政府モ既ニ其計畫ヲ進メラレテ居ルニ、其整理ヲ要スベキ百弊ノ件ウテ居ル所ノ行政組織ヲ、ソツクリ其儘朝鮮ニ持ッテ行テ居ル、ソレハ其筭ナデス、朝鮮ニ於ケル官吏ト云フモノハ、内地ノ古手官吏ヲ採用サレテ居ルカラ、勢イ此型ヨリ外ニ出ルコトヲ知ラナイデアアル、之ガ爲メニ朝鮮人ニ聞イテ見ルニ、成程新シイ所ノ政治ハ宜シイケレドモ、其趣旨ハ免毛角モ其手續ガ甚ダ煩瑣ヲ極メテ、國

民ハ非常ニ苦シムト云フコトヲ申シテ居ルデアリマス、斯様ナ次第デアリマスカラ、此場合ニ於テハ一刀兩斷、既ニ舊イ政治ヲ改メテ、文化政策ヲ行ハレルト云フコトデアアルナラバ、徹底的ニ總テノモノヲ改メテ、新シク進シテ行クト云フ方針ニ依テ、此朝鮮人ニ向テ大ナル治績ヲ舉ケルト云フ計畫ヲ御發表ニナテ、彼等ヲシテ安ンジテ其業ニ就クト云フコトヲ御計畫ニナル御考ハアリマセヌカ、更ニ又生活ノ安定ニ對シテ缺クヘカラサルモノハ、彼ノ社會政策デアリマス、社會政策ハ弱者ヲ扶ケル所ノ唯一ノ途デアルトスナラバ、朝鮮ノ國民ノ生活狀態モ、弱者ノ苦シメテ居ル狀態ハ外ニ無イデアアル、之ニ向テ果シテ我ガ當局者ハ、朝鮮ノ社會政策ト云フモノニ向テ、如何ナル方法ヲ執ルト云フ御考ヲ有テ御在デニナルデアリマスカ、唯一ツ認ムベキモノハ、彼ノ濟生病院ノ設備ガアリマスガ、是トテモ洵ニ言フニ足ラヌデアアル、是ハ朝鮮全島ニ速ニ普及サレルト云フコトモ必要デアラウト思フ、此等ノ點ニ就テハ御意見ヲ承リタイ、更ニ又租稅ノ政策デアリマス、朝鮮ノ國費ハ年々逐ウテ膨脹スルコトハ免レナイ、其國費ハ果シテ何レニ求メントセラレルデアアルカ、恐クハ今日ニ於マシテハ、地租ノ外ニ續テタル收入ヲ得ル途ハゴザイマスマイ、故ニ増稅ト云フ場合ニハ、大抵此地租ニ向テ賦課サレテ居ル、既ニ合邦以來今日マデ私ノ信ズル所ニ依レバ、三回ノ增稅ガ行ハレテ居ル、尤モ是迄ノ朝鮮ノ地租ト云フモノハ頗ル輕カッタデアアル、内地ノ地租ノ率ニ比較致シマシテ、頗ル輕微ナモノデアアル、數字ハ左様ニ違ヒナイ、併ナガラ是モ實際ニ考ヘテ見マスト云フ、左様ニ輕イ負擔デアナイ、御承知ノ通り成程此地ノ租稅ハ朝鮮ヨリハ重イデアリマセウ、其租稅ノ重イ代リニハ租稅ニ依テ施サレル所ノ恩澤ハ中々少ナイモノデアナイ、治水事業モ起レバ、交通ノ便利モ、金融ノ便利モ、市場ノ便利モ、此地租ニ依テ生ズル所ノ其金ニ依テ、ソレトノ恩惠ヲ被テ居ルニ拘ラズ、朝鮮デハ唯タ負擔ハ致スケレドモ、今日ノ耕作地ト云フモノハ、唯ダ天ノ爲スガ儘ニ抛擲サレテ居ル、雨ガ降レバ洪水ニ襲ハレル、雨ガ降ラナケレバ旱魃ニ苦シム、斯様ナ狀態ニ居ルノデアリマスカラ、其恩惠ダケハ先ツ其儘ニシテ置イテ、唯ダ負擔ダケ強ユルト云フヤウナ方法ヲ執ラレタナラバ、是以テ又朝鮮ノ民心ト云フモノヲ安定ニ導ク所以デナイト思ヒマス、然ラバ之ヲ適當ナル方法ニ依テ課稅シ、或ハ朝鮮ノ國費ト云フモノヲ、左程本國ニ迷惑ヲ被ルコトナクシテ、徵收サレルト云フコトニ就

テハ、如何ナル御考ヲ有シテ居ルノデアリマスカ、今日ノ朝鮮人ハ此點ニ於テ深く心配ヲ致シテ居ル、或ハ今後日本ノ新政策ニ依リテ、彼等ノ負擔ガ非常ニ過重スルノデハナシカト云フコトヲ虞レテ居ルノデアリマス、先ヅ文化政策、即チ朝鮮内地ノ事ニ就キマシテハ、斯様ナ有様ニテ居ルガ、之ヲ朝鮮人ノ不安ヲ除キ、彼等ノ満足ヲナス爲メニ、徹底的ノ文化政策ヲ行フコトニ就テハ、如何ナル御考ヲ持テ御在デニナルカラ承リタイ、更ニ進シテ私ハ朝鮮國境ノ國防、此事ニ就テ御等ヲ致シタイ、日本帝國ノ國防ノ事ニ就テハ、吾等同志ノ間ニハ大ナル意見ガアルノデアリマス、意見ガアリマスガ、是ハ他日ノ問題トシテ、同志ヨリ更ニ論議スル事トガゴザイマセウカラ私ハ止メマス、併シ吾等ノ國防ノ目的及標準ヲ考ヘテ見マスレバ、少クモ東洋ノ平和ヲ保持スルコト云フコトヲ超越シテハ相成ラヌモノデアアル、東洋ノ平和ヲ保持スルコト云フ上ニ於テハ、將來東洋禍亂ノ中心トナルベキモノハ何物デアアルカ、將又何レノ場所デアアルカト云フ事ヲ考ヘナケレバナラズ、露國ハ將來如何ニナルカト云フコトハ、何人ト雖モ今豫言スルコトハ出來マス、唯ダ此過激派ノ勢力ト云フモノハ、今後當分ノ間ハ彼等ハ其勢力ヲ逞ウシテ止マナイモノデアアル、恐ラクハ將來ニ於テモ過激主義ハ獨リ露國バカリデハナシ、他ノ國ヲモ侵スモノデアアルト云フコトハ何人モ疑ハナイ、而シテ其最も憂ヲ被ル所ノモノハ、西伯利ニ接近シテ居ル所ノ我が國境ノ地方デアアルト云フコトハ疑ハナイ、將來東洋禍亂ノ中心ハ朝鮮國境、若クハ之ニ近イ所ノ場所デアアルト云フコトハ明言シテ憚ラナイト思フノデアリマス、然ラバ此國防ノ大目的デアアル所ノ禍亂ヲ未前ニ防グガ爲メニハ、相當ノ設備ヲ爲サナケレバナラズ、然ルニ今日朝鮮國境ノ國防ト云フモノハ、如何ナリテ居ルカ、憲兵ヲ引揚ゲテ、警察官ヲ以テ朝鮮ノ警察ヲ掌ルト云フコトハ結構デアリマス、併ナガラ此警察官ト云フモノヲ主力トシテ、之ニ依リテ朝鮮ノ國防ヲ安全ナリト考ヘルコトニ依リテハ如何ナモノデアアル、若シ又此重大ナル地方ガ何等ノ國防ノ施設ヲ爲サズシテ、警察官ニ一任シテ安全ナリトナスナラバ、今日ノ堂々タル二十一個師團ハ果シテ何處ニ用キルノデアアルカ、昨日陸軍大臣ノ御演說ヲ承レバ、當分ノ間二十一個師團以上ニハ擴張ハシナイ、併ナガラ其内容ノ充實ヲ努メナケレバナラヌト云フコトヲ申サレテ居リマス、果シテ内容ノ充實ヲ圖ララルナラバ、此二十一個師團ノ能率ト云フモノハ、益々高メテ參ラナケレバナラヌ答ノモノデアアル、然ルニ將來

東洋禍亂ノ中心トナレ、東洋ノ平和ノ脅カサル、ト云フ其場所ヲ聞却致シテ、内地ニ此二十一個師團ヲ置カナケレバナラヌト云フ必要ヲ私ハ認メナイ、假ニ必要アリシテモ、此朝鮮ノ國防ヲ今日ノ儘ニ爲シテ置クコトハ、甚ダ不安千萬ナ事デナシカ、朝鮮人ガ不安ノ原因モ一ハ此ニ在ルノデアリマス、何時彼ノ露國或ハ支那ノ過激主義ノ勢力ガ及ンデ、朝鮮ガ脅カサレハシナイカト云フ此不安ノ念モ、朝鮮人ガ今日安ンゼザル所ノ一ノ原因トナレ居ルノデアリマス、故ニ政府ハ是等ノ事情ニ鑑ミテ、二十一個師團ノ中ノ或ル部分ヲ、英斷ヲ以テ朝鮮ノ國境ニ移轉ヲサスルコトヲ御考ヲ御持チニナラヌカ、是ハ非常ニ重大ナル事ト考ヘマスカラ、陸軍大臣ノ御答辭ヲ希望致スノデアリマス、更ニ又進シテ御尋致シタイノハ、先日來ノ總理大臣ノ御演說ニ依リマシテモ、又陸軍大臣ノ御演說ニ依リマシテモ、唯今派遣サレテ居ル所ノ間島及琿春地方ニ於キマシテハ、近日撤兵ガ行ハレル、即チ全部ノ我が軍隊ハ引揚ゲラレルノデアリマスガ、此軍隊ヲ引揚ゲマシテ後ノ一百万人ノ吾等ノ同胞ノ生命財產ノ安固ハ、如何ニナサルノデアアルカ、ドウ保護セラレルノデアアルカ、或ハ支那ノ官憲トノ間ニ諒解ガアツテ、總テ支那ノ官憲ニ信賴ヲ致シテ、其保護ヲ委スト云フヤウナ説モ傳ハツテ居ルノデアリマスガ、政府ハ果シテ之ニ依リテ、吾等ノ同胞ハ安全ニ保護サレルモノト御考ニナルノデアリマスガ、彼ノ尼港事件ハ如何ニシテ起リタカ、色々ナ關係モアリマスガ、我が當局者ガ、彼ノ頼ムベカラザル所ノ過激派ト妥協ヲ致シテ、之ヲ救援スルコト云フコトニ就テ、過失ノアツクト云フコトニ依リテ起リタカデアリマス、更ニ又琿春事件ハドウデアアルカ、過激派同様に是モ頼ムベカラザル所ノ、信用スベカラザル所ノ、支那ノ官憲ノ保護ヲ餘リニ信用シ過ギタ爲メニ起リタ所ノ悲惨事デアリマス、既ニ斯ノ如キ頼ムベカラザル所ノモノヲ頼ンダ所ノ政府ノ過失怠慢ニ依リテ、我が同胞ノ上ニ非常ニ悲惨事ガ惹起サレタト云フコトデアラルナラバ、之ニ鑑ミテ更ニ一層大ナル所ノ國民ヲ包容シテ居ル所ノ地方、而モ彼ノ兇惡無殘ナル所ノ「バルチザン」、是ト聯絡ヲ有スル支那ノ馬賊、或ハ不逞ノ鮮人ヲ其跋扈跳梁ニ委セナケレバナラヌ、彼等ノ巢窟地デアリ、根據地デアアル所ノ是等ノ地方ニ於テ、全ク信用ノ出來ナイ所ノ支那ノ官憲ニ之ヲ委シテ、而シテ能ク彼等ノ安全ヲ疑ハナイト云フニ於テハ、吾等甚ダ不安ノ念ニ堪ヘナイノデアリマス、是等ノ點カラ申シマシテモ、此不安ヲ除キ、而シテ朝鮮ノ國防ヲ完ウスル意味合カラ

申シマシテモ、師團ノ移轉ヲ行ウテ、彼等ノ不安ヲ除クト云フコトガ最も必要デナシカ、斯クナレバ獨リ我が帝國ノ領土ヲ保全スルノミナラズ、又我領土ノ安全ヲ期スルノミナラズ、此國外ニ居ル百万ノ同胞ヲシテ、安シテ其勢力ヲ扶植セシメ之ニ依リテ西伯利ノ秩序ヲ恢復スル上ニ於テモ大ニ資スル所ガアル、更ニ又滿洲蒙古ノ治安ヲ保持スル上ニ於キマシテモ、重大ナル力ヲ備フルコトガ出來ルノデアリマス、或ル陸軍ノ有力ナル將校ヨリ私ガ承リマシタニハ、今日支那ニ於テ彼ノ張作霖ナル督軍ガ非常ニ勢力ヲ現シテ居ル所以ノモノハ、彼ハ他ノ督軍ニ超越致シテ、一旦支那ノ中原ニ事アル場合ニハ、彼ノ手兵ノ全力ヲ舉ゲテ之ニ應ズルコトガ出來ル、ソレハ要スルニ日本ノ軍隊ガ居ッテ、此滿洲ノ平和ヲ維持スルカラ、彼ハ後顧ノ憂ナクシテ、此活動ガ出來ルノデアアル、既ニ僅カノ滿洲駐屯軍ガ居リマシテサヘモ、此大ナル滿洲ノ領土ノ治安ガ保タレテ居ル以上ハ、更ニ五六個ノ師團ヲ朝鮮國境ニ駐屯スルコト云フコトニナリマシタナラバ、恐ラクハ東洋平和ノ爲メニ貢獻スル力ハ偉大ナルモノデアアル、私ハ確信シテ疑ハヌノデアリマス、果シテ政府當局ニ斯様ナル所ノ御計畫ハ無イノデアリマスカ、少クモ斯ウ云フ問題ニ對シテ、御考慮ノ値ハナイモノト御考ニナルデアリマスガ、私ノ問ハント欲スル所ハ以上ノ四點デアリマスガ、問フ私ハ甚ダ微力ナリト雖モ、答フル所ノ國務大臣ノ一言一句ハ、半島千七百万人、不安ニシテ動搖スル所ノ民心ノ上ニハ、非常ナル所ノ衝動ヲ與ヘルモノデアリマスガ故ニ、希クハ最も詳細ニシテ、而シテ眞摯ナル所ノ御答辭ヲ與ヘラレンコトヲ切望シマス(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 中橋文部大臣

(國務大臣中橋德五郎君登壇、拍手起ル)

○國務大臣(中橋德五郎君) 湯淺君ノ御質疑ニ御答ヲ致シマスガ、先程申上ダ言葉ガ或ハ足ラナクタクカモ知レマセスカラ、茲ニ申上ダ次第デアリマス、彼ノ神戶ニ於テ話ヲ致シマシタル、又高等工業學校ノ或ル人ニ話シタ事柄ヲ、私ガ否認シタヤウニ或ハ御取リニナツタカモ知レヌト思ヒマスガ、是ハ決シテ否認ハ致シマセヌ、其通リデアリマス(「噓ヲ言フナ」ト呼フ者アリ)總テ其處ニ行キマシテ、話ヲシ、演說ヲ致シタ譯デアリマス(「七面鳥」ト呼フ者アリ)サウ云フ事デアリマスカラ、ソレヲ約束ト御考ヘナサツテモ一向差支アリマセヌ、其計畫ヲ話ヲシタノデアリマスカラ(「スルドウナル」ト呼フ者アリ)而シテ先程モ御話申上ダマシタ通り

ニ、唯今此案件ハ調査ノ類ニ進行シテ居ル次第デアリマシテ、マダ十分ニ是等ハ纏ルト云フ所マデ至ラズ居ナイ譯デアリマス(十年度ニ出スノデスカ)ト呼フ者アリ)ソコデ是ガ之ヨリ纏リマス順序デアリマス(教育委員會ニ掛ケナイカ)ト呼フ者アリ)サウ云フ順序ニナラズ居ル譯デアリマスカラ、モウ少シ精シク先程御話ヲ申上デレバ宜カッタガ、當局ハ出來ルダケ之ヲ委員會ニ掛ケルヤウニシタイト云フ考ヲ持ッテ、唯今進行シテ居ル次第デアリマス(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 原總理大臣

(國務大臣原敬君登壇、拍手起ル)

○國務大臣(原敬君) 朝鮮ノ事ニ就テ御尋デアリマシタガ、大體ノ方針ヲ私ヨリ御答致シテ置キマス、是ハ朝鮮人ニモ大分誤解ノアル事デ、洵ニ好機會ト存ジマスカラ、其誤解ヲ去ルガ爲ニ、大體ノ事ヲ御話致シテ置キマス、朝鮮ノ改革ナルモノハ、今日カラ申セバ一昨年ノ秋デアリマス、爾來一年半ニナルカナラヌカノ事デアリマス、斯様ナル短期日ノ間ニ十分ノ效果ヲ見ルト云フコトハ、何事ニ於テモ不可能デアリマスルガ、併シシレガ爲ニ責任ヲ逃避スルノデハ無論アリマセヌ、併シ物ハ左様ニ速ニハ結果ヲ見ルコトハ六ヶシイ、併シ其改革ノ際ニ、一視同仁ノ詔勅ヲ煥發セラレマシテ、之ニ基イテ私ヨリ政府ノ意見ヲ發表致シマシタ、更ニ總督ガ——新總督ガ赴任致シテ、朝鮮ニ對スル統治ノ方針ヲ詳細宣布致シタデアリマス、此詔勅、政府ノ意見、總督ノ方針等ヲ精シク翫味致セバ、決シテ朝鮮人ニ誤解ハ無イ筈デアアル、併シ往々朝鮮ノ人ガ誤解ヲ致シテ、種々ナル事ヲ私共ニ申シテ參ル、喜ンデ之ヲ承テ、其誤レルハ正シテ居ルノデアリマスルガ、今日甚ダ徹底セザルヲ遺憾ト思フ居ル、併シ其趣意ハ如何ナル事デアアルカ、固ヨリ一視同仁、内地人モ朝鮮人モ何等區別ナク、無差別ナル域ニ達スルト云フコトハ、大方針トシテ宣布セラレテアル、唯ダ諸般ノ進歩ノ程度ヲ顧ミナケレバナラヌ、ソレニ依テ相當ナル時ヲ費スノデアリマス、内地ト同様ノ總テノ文化ノ程度デアリマシタラ、即日ニモ内地同様ノ制度ヲ施カレマスケレドモ、今日何人モ常識ヲ判斷シテ、内地同様トハ謂ハレヌノデアアル、故ニ多少ノ時ヲ費サナケレバナラヌ、ソレガ爲メニ朝鮮人ガ初メ發布致シタ趣意ノヤウニナラヌト云フ種々ナ誤解モアリ、苦情モ申スノデアリマスガ、是ハ無理ナル注文デアアル、内地同様ニ朝鮮ヲ致スト云フ所謂一視同仁ノ聖旨ヲ奉體シテ、如何ナル事ヲ致セバ宜イカ、成ルベク速ニ朝鮮ノ内地同様ニ爲

サネバナラヌノデアリマスカラ、先以テ朝鮮ニ於ケル制度ノ改正ヲシナケレバナラヌ、第一著ニ諸君ニモ朝鮮人ノ目ニモ見エタノハ、憲兵制度ヲ警察制度ニ變ヘタ事デアリマス、内地ニ於テ憲兵ヲ以テ警察事務ハ多少執リマスケレドモ、是ハ範圍ノ自ラ異ナタモノデアアル、故ニ朝鮮ノ内地ニ於ケル普通ノ警察ニ變ヘル方針ヲ執リ、實行致ス、國境ノ必要ナル場所ヲ除クノ外ハ、普通ノ警察官ヲ以テスル、又地方制度等ノ改正ヲ致シ、此警察ニ就キマシテモ、從來ノ總督府ノ直轄ノ下ニ總テ在ッタノデアリマスルガ、是等ハ矢張内地ノヤウニ——内地ノ府縣知事ガ警察事務ヲ管轄スルヤウニ致スガ適當ト考ヘテ、朝鮮ノ道長官——道知事ト申シマスガ、道知事ニ警察事務ヲ管轄セシメル、是等ハ一例ニ過ギマセヌケレドモ、斯ウ云フ方針ヲ執ッテ、更ニ朝鮮人ヲ段々教育致スニハ、即チ教育ノ方針ヲ變ヘナケレバナリマセヌ、故ニ先般既ニ現在ノ儘出來得ル範圍デ改正ヲ企テマシタケレドモ、之ヲ以テ完全ナリト致サヌノデアリマスカラ、更ニ教育令ヲ改正シテ、内地同様ノ教育ヲ段々致サウト考ヘテ居ル、既ニ此事ハ著手ヲ致シテ居ルガ、唯今朝鮮ノ自治ノ話モアリマシタ、即チ或ガ府縣市町村ノ如キ地方制度ヲ施カナケレバナリマセヌガ、一足飛ニ内地同様ノ制度モ施カノナイノデアアル故ニ先般道——此方デ申セバ縣市町村ニ丁度當ルモノデアリマスサウ云フモノニ向ッテ諮問機關ヲ設ケル、其諮問機關ノ委員ナル者ハ如何ナル者カト云ヘバ、多クハ官選デアリマスケレドモ、一部ハ又民選ニ致シテ宜イ地方ハ民選ニ致シテ居ル段々之ガ地方自治ノ發達ヲ促ス爲メニ著手致シタ次第デアリマス教育ハ既ニ斯クノ如ク、地方制度ハ斯ノ如ク、段々朝鮮ノ自治ノ點ニ於テモ、教育ノ點ニ於テモ、内地同様ニ致シタイト考ヘルノデアリマス、遂ニ段々朝鮮ガ其等ノ事ヲ完成致スヤウニ相成リマシタナラバ、帝國議會ニ議員モ參ルト云フヤウナル時期モバザイマセウケレドモ、是等ノ事ヲ何レノ日ヨリ實行スルト云フコトヲ發表シタナラバ、朝鮮人モ大ニ安心スルダラウト云フコトハ、湯淺君ノ言ハル、通り御尤デアリマス、併シ何レノ日ト云フコトヲ期スルニハ、内地ニ於ケル憲政施行ニ就テ、十年モ期間ヲ置カレマシタ、斯様ニスル譯ニハ參リマスマイ、何故ト申セバ朝鮮ノ狀態ガ異リ、朝鮮ノ文化ノ進ム程度ニ依ッテ、府縣市町村制ノ自治モ行ハレ、遂ニ又議員選舉法モ施行スルト云フヤウニ相成ルノデアリマスカラ、何時何年ヨリ實行スルト云フヤウナルコトヲ豫メ示スコトガ、假令朝鮮人ノ満足スル手段ナリトシテモ、容易ニ左

様ナル事ノ期限ヲ定ムルコトハ出來ナイノデアリマス、要スルニ朝鮮人ノ自覺心如何ニ依ル、速ニ左様ナル域ニ達スルコトヲ吾等ハ希望スルノデアリマスカラ、朝鮮人モ段々はカラ左様ニナルデアラウト思ヒマス、又官吏登庸ナドハ、是ハ極メテ瑣事デアルト仰セラレル、内地ニ於テハ瑣事ニ違ヒアリマセヌ、併シ朝鮮ニ於テハ瑣事デナイ、成ベク朝鮮教育ヲ受ケ、相當ナル力ヲ具ヘタル者ヲ官吏ニスルト云フコトハ、朝鮮人ニ取ッテハ餘程大ナル希望デアリマス、又段々左様ニ致シテ宜シイ、單リ是ハ朝鮮ノ教育ヲ受ケタル者ヲ、朝鮮總督府ノ管内ニ於テ採用スルバカリデナイ、内地ニ於テモ朝鮮人ヲ用キテ宜イノデアリマスカラ、既ニ用キテ居ル所モアル、何等内地朝鮮ノ差別ナキニ至ルノガ本意デアリマスカラ、單ニ朝鮮ニ於テ用キルノミナラズ、内地ニ於テモ用キテ居ル、又近頃ハ滿洲方面ニ於テモ、朝鮮語ニ熟達シタル者、即チ朝鮮人ノコトデアリマスガ、朝鮮人ヲ副領事等ニ採用スル制度ヲ、ツイ此頃發布サレタコトハ御承知ノ通りデアリマス、故ニ官吏ニナルト云フコトハ、洵ニ重大ナ事デアリマスマイケレドモ、朝鮮人ノ身ニ取リ、竝ニ制度ヲ朝鮮無差別ニスルト云フコトニ致スコトハ、左迄小ナル問題デアリマセヌ、是モ實行致シテ居ル、其他百般ノ事、總テ此方針ヨリ割出シテ居リマスケレドモ、サウ俄ニ改革ノ實行ヲ進メルコトハ出來ナイ、一年半位デ非常ナル改革ノ出來ヤウガアリマセヌガ、併シ此方針ハ中外ノ認ムル所デアリマス、彼地ニ於ケル宣教師ナドモ色々、非難致シマシタガ、満足シテ居ルト云フコトノ段々結果ヲ見テ居ル、又朝鮮ニ於テモ多數ノ朝鮮人ハ満足シテ居ル、幾分ノ人ハ尚ホ不滿ヲ唱ヘテ、一時ニ突飛ニ、直グニモ内地人同様ニ至ルト云フ主張シテ居ル者モアリマスケレドモ、ソレハ左様ニ參ラヌ、且ツ多數ノ國民ノ希望スル所デアリマセヌ、斯様ナル方針ニ依ッテ朝鮮ニ施行致シテ居リマスガ、私ノ申スマデモナク、朝鮮農民ノ資力ナルモノハ十分ナルモノデアリマセヌ、農民バカリデナイ、朝鮮人ノ資力ハ裕カナモノデアリマセヌ、併シ是ハ數年來、段々或ハ肥料ノ改正ヲ企テ、水利ノ便ヲ十分デアアリマセヌガ、多少國ルト云フヤウニ、色々内地ノ水田、或ハ内地ノ米穀ヲ穫ルヤウナ事ヲ教込ミマシタ結果、大分收穫モ多クナッテ、以前ノ朝鮮人ニ比スレバ、朝鮮人ノ富ノ程度ハ雲泥ノ差ト申シテ宜シイノデアリマス、併ナガラ内地人同様ノ負擔ニ堪ヘル程度ニハ達シテ居リマセヌ、故ニドウシテモ一般會計ヨリ補充致サナケレバナラヌ、昨年ハ一千萬

今年ハ一千五百萬ト云フヤウニ、内地ノ一般會計ヨリ補充致サナケレバ、到底マダ朝鮮人ノ負擔力ガ十分デアリマセヌカラ、何ヲ致スニシテモ一般會計ヨリ金ヲ補充シナケレバナラヌ、併シ其一般會計ハ御承知ノ通り、種々ナル事ニ使用致サナケレバナラヌデアリマスカラ、朝鮮統治ニ必要ナリトシテ取りマスモ、意ノ如ク朝鮮ニ金ヲ注グコトハ出来マセヌ、内地ヨリ十分ナル金ヲ注グコトガ甚ダ困難デアル、假令一千萬、一千五百萬ニシテモ、多少公債財源ニ依ルモノデアリニシテモ、十分ニハ參ラヌ、而シテ朝鮮人ハ負擔力十分ナラズ、此ニ於テ改革ヲ俄ニ一年ヤ一年半デ實行出来ナイコトハ、常識上明瞭ニ判斷ガ出来ル幾ラカノ時ヲ待タナケレバ、十分ナ效果ハ見ラレナイデアリマス、故ニ朝鮮人ハ多クハ誤解致シテ、種々ナル陳情モアリマスケレドモ、大體ニ於テ斯ノ如キ趣意デアル、又政府ノ此方針ハ、今日カラ見テ、一昨年ノ秋ニ執ツタコトハ決シテ誤ナラズト考ヘテ居ル、斯様ナル方針ヲ執ツテ進マナケレバ、所謂一視同仁ノ聖旨ニモ副ハナイ、又折角朝鮮ヲ——日鮮合併ヲ致シテ、併合致シタ所ノ目的ヲ貫徹スルコトモ出来ヌデアリマスカラ、漸次唯今申シタ如キ方針ニ依ツテ、内地朝鮮無差別ノ域ニ達スルコトヲ熱望シテ、今日ノ制度ヲ執ツテ居ルデアリマス、其外色モ御尋ガアリマシタガ道路ハドウデアルトカ、水利ハドウデアルトカ、其他種々ナル御尋ガアリマシタガ、是ハ私ノ間知シテ居ル事モナイデアハアリマセヌケレドモ、幸ニ朝鮮當局者モ出席致シマシタカラ、御希望デアレバ是等ノ人ヨリ詳シク申上ゲテモ宜シイデアリマス、大體ノ方針ハ唯今申シタヤウナ次第デアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ間島方面ノ兵ヲ引揚ゲル事、是ハ朝鮮人危惧ノ念ヲ抱イテ或ハ居ルカモ知レマセヌガ、ソレヨリモ間島方面ニ於ケル内地人、並ニ朝鮮人ガ危惧ヲ抱イテ陳情ガ澤山參ル、併ナガラ間島地方ハ申ス迄モナク支那ノ領土デアリマス、支那ノ領土デアツテ、支那ノ政府ニ於テ治安ニ任ズルト申ス以上ハ、我國ハ最初ノ聲明通りニ撤兵スルハ當然ノ事デアリマス、凡ソ他國ノ領土ニ兵ヲ出シテ居ルト云フコトハ、必要已ムヲ得ザル事情ガアツテノ上デアツテ、其國ニ於テ責任ヲ以テ治安ヲ任ズルト云フナラバ、何ヲ苦シンデ兵ヲ置ク必要ガアリマセウカ、最初ノ聲明通り撤兵致スノハ當然ナリト考ヘテ、政府ハ其措置ヲ執ツタデアリマス、僅カナ部隊ヲ除クノ外、今日ハ撤兵ヲ致シテ居ル、僅カナ部隊モ亦去レデアリマセウ、去ツタ後ハドウ

デアル、無論大體ニ於テハ支那政府ノ責任ニ歸スルノデアリマス、併ナガラ從來御承知ノ通り、警察官其他領事館支官居留民保護ノ爲メニ、是ハ或ハ増加スル必要ハアラウト思ヒマス、ケレドモ出兵ヲ致シテ置クト云フ事ハ、臨時ノ措置ニシテ、長ク此處ニ兵ヲ置クトハ出来ナイデアリマス、間島方面ニ於ケル内地人並ニ朝鮮人——不逞朝鮮人ナラザル者ハ、成ベク兵隊ニ居ッテ貫ヒタイト申スケレドモ、ソレハ國際上ノ關係デ、左様ニ參ラヌデアリマスカラ、撤兵ヲ致シタ、多少警察官ヲ増スコトハ或ハ免レマイト考ヘル、斯ウ云フ次第デアリマス、大體ニ於テ今日ハ色モ朝鮮ヨリ通報モアリマス、ケレドモ大體ニ於テ朝鮮ハ段々平穩ニ歸シテ居ルデアリマス、固ヨリ唯今申シタ如ク、一年ヤ一年半僅カノ期間ニ於テ非常ナル朝鮮ノ進歩ヲ致シ様モアリマスマイシ、平穩ニ歸シタト申シテモ、サウ速ニ平穩ニモナリマスマイ、併シ今日ハ大體ニ於テ甚ダ無事ニナツテ居ル、恐ルベキヤウナ事ハ無イデアリマス、爆裂彈ヲ投ジタトカ、何カ投ジタト云フ事ハアリマスケレドモ、是ハ何所ニモ度アル事デアル、ソレヲ以テ朝鮮ガ直チニ亂レテ居ルトカ、平穩デナイト云フナラバ、日本内地ニ於テモ同様デアリマス、笑聲起ルソレハ常識デ判斷シテ、其位ノ事ハ幾ラ防イデモアルカ知レマセヌガ、ソレヲ以テ朝鮮地方ガ不穩ナリトハ結論ガ出来ナイデアリマス、朝鮮ハ大分今日ハ靜穩ニ傾イテ、何カ彼此不平ガマシイ事ヲ言ハヌ者ガ多數デアリマス、是等ノ者ハ其業ニ安ンジテ、其幸福ノ進シテ參ルコトヲ喜ンデ居ル次第デアリマス、大體斯ノ如キ次第デアリマス、尙ホ詳細ノ事ハ御都合ニ依レバ政府委員ヨリ御答致シマス

○議長(奥繁三郎君) 田中陸軍大臣

〔國務大臣男爵田中義一君登壇(拍手起ル)〕

○國務大臣(男爵田中義一君) 唯今湯淺君ノ御尋ニ對シマシテハ、大體私ハ湯淺君ト同一ナ考ヲ持ツテ居リマス、實ハ本年モ此國境防備ノ事ニ就テ、尙ホ進シテ施設ヲ致シタイト思ツテ居リマシタガ、何分國費膨脹ヲ致シマスル爲メニ、遂ニ已ムヲ得ズ今年ハ之ヲ施設スルコトモ出来ナカッタノヲ私自分ガ遺憾ニ思ウテ居リマス、今後爲シ得ラル、ダケノ努力ヲ致シマシテ、今少シ朝鮮、殊ニ國境方面ニ軍隊ヲ配置致シタイト思フデアリマス、幸ヒ朝鮮ノ人々ハ軍隊ト相親ミ、之ヲ愛スルト云フ風ノアルノハ、洵ニ私共喜ブデアリマス、之ヲ敦クスルト云フコトハ、朝鮮ノ人々ノ幸福ヲ増ス所以デアルト云フコトモ、能ク諒解ヲ致シテ居リマス、國費

ニ餘裕ガアリ得ル程度ニ於テ、漸次其目的ヲ達シヤウト思フテ居リマス、此處デ此軍隊ヲ配置シマスノモ、亦湯淺君ト同様、私モ内地ノ軍隊ヲ向フヘ移シテ宜シイト考ヘテ居リマス、新ニ茲ニ増スコトハ要セヌ、サウ致シマスルト、内地ト朝鮮トニ於テハ、唯ダ給與上ノ差額ガ經常部ニ於テ増スバカリデアル、跡ハ維持費デアリマス、即チ兵營ナドノ設備費デアリマスカラ、其方法ヲ執ツテ行カウト云フコトヲ私モ考ヘテ居リマス、ソレニ向シテ將來漸次努力ヲ加ヘテ行ク積リデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○岩崎勳君 國務大臣ニ對スル質疑ハ、本日モ此程度ニ止メ、明二十六日ハ定刻ヨリ特ニ本會議ヲ開キ、更ニ質疑ヲ繼續セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、諸君、ソレデハ明日定時ヨリ本會議ヲ開キマス、其日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是デ散會

午後五時四十二分散會

衆議院議事速記錄第三號正誤

頁	段	行	誤	正
二三	中	五	興業資金、所謂興業	工業資金、所謂工業